

第1章 調査の概要

1. 調査の背景および目的

我が国における昨今のキャリア環境の激変に伴い、労働者の働き方、キャリア形成のあり方には大きな変化がみられる。特に、昨今の人口動態の大きな変化、非正規就労の拡大、雇用の流動化等を受けて、企業等で働く在職者と組織との関わり方は変質しており、以前にもまして重要な課題となっている。

こうしたなか、生涯キャリア発達およびその支援は、従来から継続的な政策課題として検討されており、「キャリア形成を支援する労働市場政策研究会（厚生労働省職業能力開発局，2002）」「生涯キャリア支援と企業のあり方に関する研究会報告書（厚生労働省職業能力開発局，2007）」「キャリア・コンサルティング研究会報告書（厚生労働省職業能力開発局，2008）」「キャリア健診研究会報告書（厚生労働省職業能力開発局，2009）」等の一連の報告が取りまとめられてきた。

海外でも OECD および EU 関連機関等において、公共政策としてのキャリアガイダンスの重要性が指摘され（OECD，2004；CEDEFOP，2011）、失業者を中心とした公共職業サービスとは異なる一般成人向けの生涯キャリア発達に向けたキャリアガイダンスサービスが手薄であり、何らかの直接的・間接的な政策的支援が不可欠であるという問題意識が示されている。

こうした一連の研究動向をふまえた上で、本調査では、成人のスキルと意識に関する基礎的なデータの収集を行うことを目的とした。

現在、スキル政策を立案する上で、どのような訓練を受けさせるか、どのような資格を取らせるかといった従来型の観点とは別に、労働者が実際にどのようなスキルを身につけているのかを実測し、その結果をもとに不足しているスキル、習得すべきスキルを考えていこうとするアプローチがある（例えば、PIACC など）。こうした実証的なスキル政策への志向性の背景には、国民のスキル形成に割ける公的なリソースは限られており、どのような対象層のどのようなスキルに優先的に投資すべきかであるとの判断がある（OECD，2012）。その際、職業に直結する「職業特殊スキル」のみならず、「対人スキル（コミュニケーションスキル、認知スキル、感情スキル含む）」「基礎スキル（読み書き計算）」等を含む生活面での様々な活動を含めたライフスキルも検討対象とし、幅広く一国のスキル形成を考えていこうとする観点がある。本研究でも、こうした問題関心を共有したいと考えた。

また、先進各国に共通する職業能力開発も含む成人の生涯学習を支える基盤として、現在、キャリアガイダンスが改めて注目されている。従来、キャリアガイダンスはおもにマッチング政策の1つとして考えられることが多かった。しかしながら、現在、諸外国で注目を集めているのはスキル政策の1つとしてのキャリアガイダンスである。必要とされているスキルは何か、どのような方向性のスキル形成を促すべきなのか、各人がもつスキルをいかに活性

化すべきか、具体的にどのような制度を利用し、どのような学習を行うべきなのか等について支援を行うものとして、改めて職業能力開発とキャリアガイダンスの関わりが注目されている。日本においても、職業能力開発行政におけるキャリアガイダンスの役割を再検討する必要があると考えた。

以上の問題意識から、本調査では、改めて成人の職業スキル・生活スキルの実態に関する基礎的な情報収集を行うことを企図した。特に、性別×年齢×現在の就労状況を均等にした成人サンプルを用いて、日本の成人のスキルの実態を明らかにすることを目的とした。あわせて、スキル政策とキャリアガイダンスの関わりを検討するにあたっては、そもそも成人がいかなる職業意識を抱いているのかも密接に関わる。そこで、成人の職業意識についても検討を行った。

2. 研究の方法

(1) 調査方法

調査会社のモニターを利用したインターネット調査

(2) 調査対象

- ・調査会社のモニターである一般成人 1,600 名
- ・内訳は、性別（男性・女性）×年齢（20代・30代・40代・50代）×状況（正規就労・非正規就労・求職者・無業その他）で均等に収集した（性別×年齢×現在の状況の2×4×4の各セルに50名ずつを均等に割り当てて1,600名を収集した）。
- ・なお、性別×年齢×現在の状況を均等に割り当てた有意サンプリングであるため、実際の母集団の性別×年齢×現在の状況の比率を反映したものではなく、むしろ、各要因の影響を統制した条件群のような形でサンプリングがなされたものとなる点に注意が必要である。

(3) 主な調査事項

- ・基本的属性（性別、年齢、扶養家族の有無、最終学歴、学校時代の専攻・学科、取得資格など）
- ・現在の状況（世帯収入、現在の身分、勤務先の業種・職業・従業員数、現在の職位など）
- ・学校卒業後のキャリア（転職経験、失業・休職期間の有無、職業能力の評価など）
- ・これまでの職業や学習に対する意識（満足感、職業生活で役立ったこと、これまでの後悔など）
- ・職業スキル、生活スキルおよび自尊感情、抑うつ

図表1-1 調査対象者の内訳

		20代	30代	40代	50代	合計
正社員	男性	57	55	55	56	223
		50.9%	49.1%	51.9%	51.4%	50.8%
	女性	55	57	51	53	216
		49.1%	50.9%	48.1%	48.6%	49.2%
非正社員	男性	55	55	57	57	224
		49.5%	51.9%	50.0%	51.4%	50.7%
	女性	56	51	57	54	218
		50.5%	48.1%	50.0%	48.6%	49.3%
求職者	男性	53	50	50	51	204
		50.0%	50.0%	46.7%	51.0%	49.4%
	女性	53	50	57	49	209
		50.0%	50.0%	53.3%	49.0%	50.6%
無業者	男性	54	57	57	55	223
		49.1%	48.7%	51.8%	46.6%	49.0%
	女性	56	60	53	63	232
		50.9%	51.3%	48.2%	53.4%	51.0%
合計		439	435	437	438	1749

3. 結果の概要

(1) 成人の職業スキルに関する結果概要

成人の職業スキルを測定するにあたって以下のような事柄を24個用意し、「あなたは、仕事上で、以下にあげるような事柄をうまくできる自信がありますか。うまくできる自信があるものを全てお選びください」という教示文を回答者に提示して評定を求めた。なお、24個の職業スキル項目は、労働政策研究・研修機構で公開していた「キャリア・マトリックス」、アメリカ労働省が提供する「(O*NET)において職業特性を示す属性として用いられているものに準拠し、調査を行うにあたって若干の改変を行ったものである。

図表1-2 成人の職業スキルに関する調査結果概要

	性別	年齢	学歴	家計負担者	収入	就労状況	職業	勤務先の規模	これまでのキャリア	職業能力は通用するか
書類を書くこと	女性> 男性>	50代> 20代	大卒> 高卒	自分> 親	600万 >なし	正社員> 無業者	管理的職業 事務的職業		特定の分野で いろいろな仕事	
書類を読むこと	女性> 男性>	50代> 20代	大卒> 高卒				管理的職業		特定の分野で いろいろな仕事	
人の話を聞くこと	女性> 男性>					正社員> 無業者				職業能力は 他社で通用する
人と段取りの調整をすること		50代> 20代		自分> 親	600万 >なし	正社員> 無業者		1000人以上	特定の分野で いろいろな仕事	職業能力は 他社で通用する
人に指示をすること		50代> 20代		自分> 親	600万 >なし	正社員> 無業者	管理的職業	1000人以上		職業能力は 他社で通用する
計算したり、データを扱うこと				自分> 親			管理的職業	1000人以上	特定の分野で いろいろな仕事	職業能力は 他社で通用する
人を説得したり、交渉したりすること				自分> 親			管理的職業			職業能力は 他社で通用する
人前で話すこと		50代> 20代			600万 >なし	正社員> 無業者				
人に教えること			大卒> 高卒					1000人以上		職業能力は 他社で通用する
英語その他の外国語を用いること			大卒> 高卒				専門的・ 技術的職業			
数学や科学の知識を使うこと			大卒> 高卒				専門的・ 技術的職業			
機械の操作やコントロールを行うこと	男性> 女性>						専門的・ 技術的職業			
機械や部品のメンテナンスを行うこと	男性> 女性>						専門的・ 技術的職業			
接客をすること	女性> 男性>						販売の職業 サービスの 職業			
人と協同で作業をすること	女性> 男性>								特定の分野で いろいろな仕事	
機械のトラブルを解決をすること	男性> 女性>									
作業に必要な道具、機材を選択をすること	男性> 女性>									
据付やインストールを行うこと	男性> 女性>									
特定の業界の知識を用いること					600万 >なし					
人にサービスをすること							サービスの 職業			
プログラミングを行うこと							専門的・ 技術的職業			
体力的にきつい仕事をする							運輸・通信 の職業			
異なる文化の人とやりとりをすること								1000人以上		
人材や時間の管理を行うこと								1000人以上		

①全般的に、成人が自信がある職業スキルは「人の話を聞くこと」「書類を読むこと」「人と協同で作業をすること」「計算したり、データを扱うこと」「書類を書くこと」であった。逆に、自信がない職業スキルは「危険な条件で作業をすること」「機械やシステムを修理すること」「体力的にきつい仕事をする事」「プログラミングを行うこと」「人やイベントのコーディネートを行うこと」であった。

⇒「読み書き計算」などの基礎スキルや人と働くための対人スキルには、約4割の人が自信をもっており、標準的なスキルとなっていると言える。

②「書類を書くこと」「書類を読むこと」「人の話を聞くこと」「人の段取りを調整すること」「人に指示をすること」「計算したり、データを扱うこと」「人を説得したり、交渉したりすること」「人前で話すこと」「人に教えること」は、人によって差が付きやすいスキルでもあった。これらのスキルは、概して、女性・50代・大卒・高収入・正社員・管理的職業・

大企業で働く者が高かった。

⇒上記スキルは、ある程度の収入を得て生計を立てている社会人であれば身につけているスキルであると解釈され、こうしたスキルが十分でない場合、キャリア形成上、問題が生じる場合が大きいと解釈される。これらスキルは「基礎スキル（読み書き計算）」や「対人スキル」が中心となっている点も改めて重視すべき点である。

⇒逆に、男性・20代・大卒以外・低収入・正社員以外・管理的職業以外・大企業以外で働く者の職業スキルは相対的に低いと言うことができ、スキル形成に向けた政策的な支援を行う主要な対象層となると考えられる。

③「特定の分野でいろいろな仕事」をしてきた場合、概して職業スキルに自信をもっていた。

⇒「1つの仕事」をずっと続けたと感じるキャリアよりも、「特定の分野」で「いろいろな仕事」をしたと感じるキャリアの方が、本人のスキル形成に役立つと感じられていた。

④「職業能力は他社で通用する」と考えている者は、おもに「人の話を聞くこと」「人と段取りを調整をすること」「人に支持すること」「人を説得したり、交渉したりすること」「人に教えること」などの対人スキルに自信をもっていた。

⇒職業移動が可能となるためのスキルとして「対人スキル」がかなりの重みをもっていることがうかがえる。

（2）成人の生活スキルに関する結果概要

成人の生活スキルを測定するにあたって、本調査では以下に例示するような40項目を用意した。これら40項目に対して「普段の生活であなたは次の事柄をどの程度うまく行う自信がありますか。また、どの程度苦手に感じますか。それぞれの項目について、あてはまるものをお選びください」という教示文を回答者に提示して評定を求めた。

図表1-3 成人の生活スキルに関する調査結果概要

	性別	年齢	結婚	学歴	収入	職業	勤務先規模	職位	職業能力	キャリア	転職経験	失業休業経験	満足感
社会人としてのマナーを守る	女性												
人と世間話をする	女性												
決まったやり方でゴミを出す	女性											過去に 失業・休業 失業中・休業中	
職場の目標やルールは大事にする	女性												
食事を決まった時間にきちんと取る	女性	50代											
朝、決まった時間にひとりで起きる		50代											
時間に遅れない		50代											
食事を自分で作る		50代	既婚										
あいさつをする			既婚										
苦手な人ともうまく働く			既婚	大卒・ 短大卒									満足して いる
将来の職業生活に備える				大卒・ 短大卒									
家計簿をつける				大卒・ 短大卒									
将来の計画を立てる				大卒・ 短大卒									
貯金をする				大卒・ 短大卒			1000人 以上						
ビジネスマナーを理解している		50代		大卒・ 短大卒	600万 ～	管理的 職業	1000人 以上	役員・部長	通用する	特定分野で いろいろな 仕事	転職4回 以上		満足して いる
人と交渉する					600万 ～	管理的 職業		役員・部長	通用する	特定分野で いろいろな 仕事			
定期的に適度な運動をする					600万 ～	管理的 職業							
困難にあってもあきらめない					600万 ～			役員・部長	通用する	特定分野で いろいろな 仕事			満足して いる
自分の能力を正確に把握する					600万 ～			役員・部長	通用する				満足して いる
自分の主張をはっきり言う								役員・部長	通用する				
職場で必要な技術を身につける									通用する			失業中・休業中	
友達をつくる										特定分野で いろいろな 仕事			
新しい道具や機能をうまく使いこなす										特定分野で いろいろな 仕事			
新たな職場環境になじむ										特定分野で いろいろな 仕事			
自分の長所・短所を理解する						販売の 職業				特定分野で いろいろな 仕事			満足して いる
必要があれば新たな職場を見つける											転職4回 以上	過去に 失業・休業	
必要があれば就職活動をうまく行う											転職4回 以上	過去に 失業・休業	
わからないことをたずねる				大卒・ 短大卒							転職4回 以上	過去に 失業・休業	満足して いる
なすべきことを一生懸命やる											転職4回 以上		
人に力を貸す												過去に 失業・休業	
職場で必要な事柄を勉強する												失業中・休業中	
パソコンでメールのやりとりをする												失業中・休業中	
パソコンで必要な情報を検索する												失業中・休業中	

①成人が自信がある生活スキルは「人との約束を守る」「社会人としてのマナーを守る」「あいさつをする」「パソコンで必要な情報を検索する」「朝、決まった時間にひとりで起きる」であった。一方、自信がない生活スキルは「将来の職業生活に備える」「自分の人生設計を立てる」「自分の悪いところを直す」「将来の計画を立てる」「人と交渉する」であった。
⇒「将来の職業生活に備える」「自分の人生設計を立てる」「将来の計画を立てる」などの回答から、将来の計画や人生設計を立てるキャリアガイダンス的な支援の必要性が示唆され

る。

②「女性」「50代」「既婚」「大卒短大卒」の回答者は概して生活スキルが高い。特に、マナーやルールを守る、生活リズムを守る、世間話・あいさつ・苦手な人と働くといったベーシックな生活スキルが高い。

⇒こうした対象層がもつ生活スキルは、職業スキルの基盤となるものと考えられ、職場における潜在的な職業スキルとして転用することが可能であり、適切な介入支援を行い、アクティベーションする可能性を考えたい。

⇒逆に、若年男性などを中心にこうしたスキルを欠いている対象層には生活スキル習得に向けた適切な介入支援が必要となる。(cf.ライフスキル・プログラム)

③「600万～」の高収入の回答者、「役員・部長」として「管理的な職業」についていた者、自らの職業能力が他でも「通用する」と考えている者は、共通して、より職場に直結した生活スキルが高い。

⇒特にビジネスマナーを理解し、人と交渉し、適切に健康管理し、困難にあってもあきらめず、自分の能力を正確に把握するといったスキルの高さは、適切な介入支援により、様々な形で有効活用・転用が可能となる。

④「特定の分野でいろいろな仕事」をしてきたと感じている者は生活スキルにおいても自信があるものが多かったが、特に友達を作る、新しい道具や機械を使う、新たな職場環境になじむなど、新たな場面・状況に自信をもっていることが示される。

⑤転職を多く経験していたり、過去に失業・求職を経験している者は、「必要があれば新たな職場を見つける」「必要があれば就職活動をうまく行う」など、就職活動そのものに自信をもっていた。また、「わからないことをたずねる」「なすべきことを一生懸命やる」などにも自信をもっていた。

(3) 成人の学習経験に関する結果概要

成人の学習経験を測定するにあたって、本調査では以下に示す7項目を用意した。これら7項目に対して「以下にあげる事柄は、これまでの職業生活やキャリアにどのくらい役立ったとおもいますか。あてはまるものをそれぞれお選びください」という教示文を回答者に提示して評定を求めた。

図表1-4 成人の学習経験に関する調査結果概要

	職業	学歴	大学の 学部	専門学校の 学科	高校の 学科	収入	性別	就労状況	職位	これまでの キャリア	年齢
学校で学んだ知識	専門的・ 技術的 職業	大学・大学院 > 高校・中学	医療系	医療関係、 衛生関係	商業科	～600万			係長・ 主任	特定の分野で いろいろな仕事	
学校でとった資格	専門的・ 技術的 職業	専門学校	医療系、 農学系、 教育系	医療関係、 衛生関係、 教育関係	商業科		女性			特定の分野で いろいろな仕事	
就職してからとった資格	専門的・ 技術的 職業					600万以上					50代> 20代
職場での実務経験	専門的・ 技術的 職業					600万以上、 ～600万		正社員> 無業者	役員、 部長	特定の分野で いろいろな仕事	50代> 20代
職場での人間関係						～600万	女性				
職場での研修や勉強							女性			特定の分野で いろいろな仕事	
職場外での研修や勉強	専門的・ 技術的 職業					600万以上		正社員> 無業者	役員、 部長		

①現状では、大学や専門学校で医療・衛生関係の学習をし、資格をとって専門的・技術的職業に就いて働く以外には、学校で学んだ知識が役立ったとは感じられておらず、この点に大きな問題がある。

⇒一部、高校の商業科で学んだ知識や資格は役立ったと感じられているが、高校段階から大学にかけてより将来の職業スキルと結びつきやすい学習を行う必要性が示される。

⇒PISAの結果では、ヨーロッパの一定割合の若者が職業に就き働く上で必要な基礎的スキル（読み書き計算）を持っていないとされるが、日本ではむしろ職業的スキルが欠けているという見方ができる。

②収入「600万以上」の者、「正社員」「役員、部長」「50代」は、就職してからとった資格、職場での実務経験、職場での人間関係、職場外での研修や勉強での学習が役立ったと回答しており、日本においては、職場に入ってから学習が優勢であること（あったこと）が改めて示される。

⇒職場における学習が中心の日本のスキル形成プロセスは、職場外にいる者に学習の機会が十分に提供されないことを意味する。職場外にいる者のスキル形成のための学習機会の確保が、日本におけるスキル政策の重要論点となる。

(4) 成人の後悔に関する結果概要

成人の後悔を測定するにあたって、本調査では以下に示す7項目を分析対象とした。以下の項目に対して「あなたは、以下にあげる事柄に後悔を感じていますか。あてはまるものを全てお選びください」という教示文を回答者に提示して評定を求めた。

図表1-5 成人の後悔に関する調査結果概要

	資格をとらなかつたこと	学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	学生時代に友達を多くつくらなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと
失業・休職	現在、失業中・休業中>失業・休業経験なし	現在、失業中・休業中>失業・休業経験なし	現在、失業中・休業中>失業・休業経験なし	現在、失業中・休業中>失業・休業経験なし	現在、失業中・休業中>失業・休業経験なし	現在、失業中・休業中>失業・休業経験なし
求職活動	次の就職先を探している		次の就職先を探している			次の就職先を探している
就労状況	求職者	求職者>正社員	求職者>正社員			非正社員・求職者>正社員・無業者
満足感	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない	満足していない
職業能力	あまり通用しない	あまり通用しない		ある程度通用する		あまり通用しない
収入	収入なし>600万円	収入なし>600万円	収入なし>600万円			~100万円>600万円
転職経験	転職4回以上>転職なし					転職4回以上
学歴	高卒>大卒	中卒>大卒				
職業能力	運輸・通信の職業、生産工程・建設・軽作業などの仕事					販売の職業、生産工程・建設・軽作業などの仕事
年齢					20代>50代	20代>50代
家計負担者		おもに親				おもに親
高校時代の学科	普通科>商業科					
学校時代の資格取得	資格取得せず>資格取得					

①成人が最も後悔しているのは「学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと」であり、以下、「資格をとらなかつたこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」と続いていた。なお、「後悔していることはない」も多かった。

②「現在、失業中・休業中」の求職者（または非正規社員）、収入が少ないもの、転職回数が多い者は「資格をとらなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔していた。

⇒「資格をとらなかつたこと」に対する後悔の背景には、『自らの職業能力を明確に示したい』『認証してほしい』『認証に値する職業能力を身に付けていない』といった様々な意識が伏在していると推測される。職業能力評価制度の充実、ジョブ・カード制度やそれに伴う職業訓練（職業能力形成プログラム）の必要性および適切なキャリア・コンサルティングの必要性が改めて示される。

⇒「就職活動がうまくいかなかったこと」は、後に長く後悔されていると推測されることから、就職活動時の適切なキャリアガイダンスは従来以上に充実させる必要がある。

(5) 成人の自尊感情、抑うつ傾向に関する結果概要

成人の自尊感情、抑うつ傾向を測定するにあたって、本調査では、桜井（2000）の自尊感

情尺度および Zung (1965) の SDS (自己評定式抑うつ尺度) を用いた¹。

図表1-6 成人の自尊感情・抑うつ傾向に関する調査結果概要

	自尊感情の高さ、抑うつ傾向の低さ
性別	男性>女性
年齢	50代>20代
結婚	既婚>未婚
学歴	大卒>中卒
家計負担者	「おもに自分」>「おもに親」
就労状況	正社員>求職者・無業者
年収	600万以上>収入なし
職業	専門的・技術的職業、管理的職業>販売の職業、サービスの職業
勤務先の従業員数	1000人以上>30人未満
職位	役員・部長>一般社員
失業・休職	失業・休職経験なし>失業中・休職中
求職活動	次の就職先を探していない>次の就職先を探している
これまでのキャリア	特定の分野でいろいろな仕事>いろいろな分野で1つの仕事orいろいろな仕事
職業能力	通用する>通用しない
満足感	満足している>満足していない

①自尊感情が高く、抑うつ傾向が低いのは、「男性」「50代」「既婚」「大卒」「正社員」「高収入」「専門的・技術的・管理的職業」「役員・部長」「失業・休職経験なし」「求職活動をしていない」「職業能力は通用する」「満足している」者であり、こうしたいわゆる「望ましい標準的」なキャリアルートから外れた場合、基本的には、自尊感情や抑うつ傾向に対するケアも必要になることが示唆される。

⇒特に、自尊感情が低く、抑うつ傾向が高い状態では、新規の学習は難しく、事実上、スキル形成に向けた介入支援に先立って、メンタル面での介入支援がなされる必要がある。

⇒一方で、メンタル面での介入支援をあまりに重視しすぎることによって、キャリア形成、スキル形成への支援が進まず、事態が一向に改善しないということも実践場面ではよくあるので、適切なバランスを引き続き検討する必要がある。

②自尊感情および抑うつ傾向に関しても、もっとも望ましい傾向がみられたのは「特定の分野でいろいろな仕事」をしてきたと感じる者であり、このように感じられるキャリア形成・スキル形成に一定の望ましさがあることがうかがえる。

¹ 桜井茂男 (2000). ローゼンバーグ自尊感情日本語版の検討 発達臨床心理学研究, 12, 65-71.
Zung, W.W.K. (1965). A self-rating depression scale. Archives of General Psychiatry, 63, 63-70.

4. 政策的インプリケーション

本調査結果から得られる政策的示唆は以下のとおりである。

(1) 若年層のライフスキル

第一に、若年層（特に男性）の職業スキル・ライフスキル（ソーシャルスキル、認知スキル、感情スキル含む）形成の必要性である。本調査の結果、若年層の職業スキル・ライフスキルは低いことが改めて示された。特に、従来、ライフスキルに関しては十分な注意が払われてきておらず、今後の職業能力開発行政においてよりいっそうの検討が必要となる。ジョブカード制度における「橋渡し訓練」（職業意識啓発、コミュニケーション能力の向上、自己理解と仕事理解、ビジネスマナー能力の向上等）や地域若者サポートステーションにおける「生活支援等継続支援事業」（生活支援、学習支援等）等、ライフスキルに関わる施策のよりいっそうの拡充の可能性を議論する必要がある。特に、海外では研究の進んでいるライフ・スキル・プログラム等の導入などの可能性の検討はある程度、現実的な示唆となる。

(2) 若年層の職業特殊スキル

第二に、若年層の職業特殊スキルも低いことが、この点については、学校教育段階における一定の対応が必要となる。特に、日本においては、従来、学校教育段階において何らかの職業特殊スキルを身に付けさせることに消極的であり、むしろ学校卒業後の職場内におけるOJTを過度に重視する傾向があった。この点について短期的に抜本的な改革は難しいとしても、中長期的に一定の職業特殊スキルを身に付けさせて社会に送り出すという方向は模索されるべきである。また、こうした中長期的な施策の方向性とは別に、現段階では、十分に職場におけるスキル形成の機会を与えられない若年層を中心に、公的なスキル形成プログラムの提供の必要性はかなり高いものとする必要がある。成人の職業能力向上施策においては、若年層を中心に上述したライフスキルと職業特殊スキルのベストミックスを模索する必要がある。

(3) 中高年の職業スキル

第三に、中高年の職業スキルのアクティベーション（活性化）も重要な示唆となる。本調査の結果、改めて中高年の職業スキルの高さが示された。企業内における即戦力として若年層を期待する場合があるが、むしろ、一定以上の蓄積がある職業スキルの高さを背景に即座の職種の転換が可能であるのは中高年であることが示唆される。中高年が持つ職業スキルの高さを可能な限り有効活用できる道筋を探り、社会全体で中高年の職業スキルを十分に使う方策を考える必要がある。本調査結果の随所で同一業種の異職種への転換は本人にとっても違和感なく、ポジティブに評価できる側面が高かったことから、同一業種異職種への転換がもっとも現実的な方向として考えうる。

(4) 女性の職業スキル

第四に、女性についても同様であり、特に、基礎的な生活習慣やルールやマナーを守るといった生活スキル面での一定以上のスキルの高さは、やはり社会全体での有効活用する道筋を考えたい。女性のスキルのアクティベーション（活性化）も、今後のスキル政策の重要な論点となる。

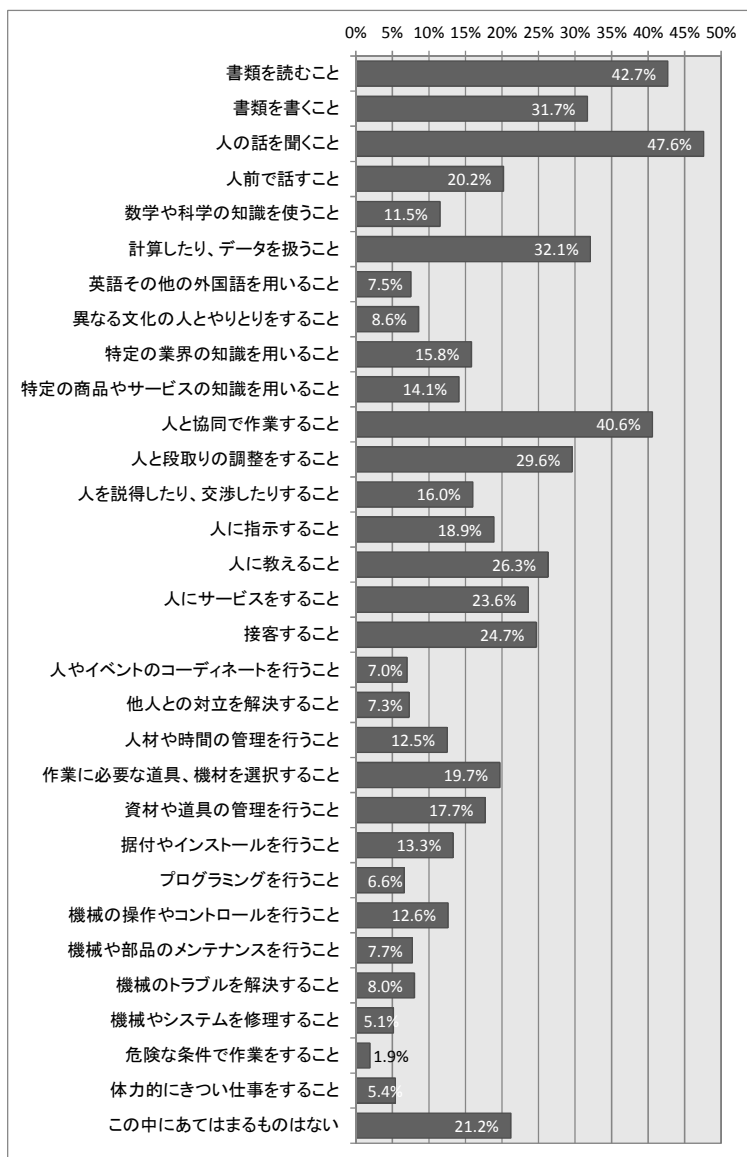
(5) 職業能力開発行政におけるキャリアガイダンス施策

最後に、上述の示唆は、いずれも従来以上に職業能力開発と一体化したキャリアガイダンス施策の展開を求めるものであり、職業能力開発行政におけるキャリアガイダンスのあり方を今後とも模索していく必要がある。特に、今後の課題として、スキル政策の一環としてのキャリアガイダンス施策の具体的な展開を日本の実情にあった形で考える必要がある。若者を人柄やコミュニケーション能力などを基準に採用を行い、企業内でスキル形成を行うという従来型の日本のスキル形成モデルの延長線上に、どのような現実的・具体的なナショナルスキル形成モデルを構想できるかが焦点となると思われる。

第2章 成人の職業スキル—仕事上で自信のある事から

調査回答者が「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が最も高かったのは、「人の話を聞くこと」(47.6%)であった。以下、「書類を読むこと」(42.7%)、「人と協同で作業すること」(40.6%)、「計算したり、データを扱うこと」(32.1%)、「書類を書くこと」(31.7%)と続いていた(図表2-1)。逆に、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が最も低かったのは、「危険な条件で作業すること」(1.9%)であった。以下、「機械やシステムを修理すること」(5.1%)、「体力的にきつい仕事をする事」(5.4%)、「プログラミングを行うこと」(6.6%)、「人やイベントのコーディネートを行うこと」(7.0%)と続いていた(図表2-1)。

図表2-1 自信がある職業スキル



性別に検討した結果、男性の方が女性と比べて「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が最も高かったのは、「機械の操作やコントロールを行うこと」であった。以下、「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械のトラブルを解決すること」「作業に必要な道具、機材を選択すること」「据付やインストールを行うこと」と続いていた（図表2-2）。また、「この中にあてはまるものはない」と回答した割合も高かった。一方、女性の方が男性とくらべて「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が最も高かったのは、「接客すること」であった。以下、「人の話を聞くこと」「書類を書くこと」「人と協同で作業すること」「書類を読むこと」などであったと続いていた（図表2-2）。

図表2-2 自信がある職業スキル×性別

	男性 N=881	女性 N=883	差	sig.
書類を読むこと	38.5%	46.9%	-8.4%	**
書類を書くこと	26.4%	36.9%	-10.5%	**
人の話を聞くこと	40.9%	54.2%	-13.4%	**
人前で話すこと	20.1%	20.4%	-0.3%	
数学や科学の知識を使うこと	15.2%	7.7%	7.5%	**
計算したり、データを扱うこと	32.5%	31.7%	0.8%	
英語その他の外国語を用いること	6.1%	8.8%	-2.7%	
異なる文化の人とやりとりをすること	8.6%	8.5%	0.1%	
特定の業界の知識を用いること	18.3%	13.4%	4.9%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	16.6%	11.7%	4.9%	**
人と協同で作業すること	36.0%	45.2%	-9.2%	**
人と段取りの調整をすること	27.6%	31.7%	-4.1%	
人を説得したり、交渉したりすること	18.0%	13.9%	4.1%	
人に指示すること	20.5%	17.2%	3.3%	
人に教えること	27.2%	25.4%	1.9%	
人にサービスをすること	19.8%	27.5%	-7.8%	**
接客すること	16.0%	33.3%	-17.3%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.9%	8.0%	-2.1%	
他人との対立を解決すること	7.8%	6.7%	1.2%	
人材や時間の管理を行うこと	12.7%	12.3%	0.4%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	24.5%	14.8%	9.7%	**
資材や道具の管理を行うこと	19.5%	16.0%	3.6%	
据付やインストールを行うこと	18.2%	8.5%	9.7%	**
プログラミングを行うこと	9.9%	3.3%	6.6%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	19.3%	6.0%	13.3%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	13.8%	1.5%	12.4%	**
機械のトラブルを解決すること	13.2%	2.9%	10.2%	**
機械やシステムを修理すること	9.1%	1.1%	7.9%	**
危険な条件で作業をすること	3.5%	0.3%	3.2%	**
体力的にきつい仕事をすること	7.6%	3.3%	4.3%	**
この中にあてはまるものはない	27.0%	15.4%	11.6%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は男性－女性の値。

年齢別に検討した結果、年齢が高い方が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。50代と20代で最も差が大きかったのは、「書類を書くこと」であった。以下、「人と段取りの調整をすること」「人前で話すこと」「人に指示すること」「書類を読むこと」と続いていた。逆に、「この中にあてはまるものはない」と回答した割合は、年齢が低い方が高かった（図表2-3）。

図表2-3 自信がある職業スキル×年齢

	20代 N=440	30代 N=441	40代 N=441	50代 N=442	50代- 20代 (差)	sig.
書類を読むこと	36.6%	39.7%	43.3%	51.1%	14.5%	**
書類を書くこと	24.1%	27.7%	30.6%	44.3%	20.3%	**
人の話を聞くこと	43.0%	41.7%	51.2%	54.3%	11.3%	**
人前で話すこと	13.9%	17.2%	20.4%	29.4%	15.5%	**
数学や科学の知識を使うこと	11.1%	8.2%	8.6%	17.9%	6.7%	**
計算したり、データを扱うこと	27.0%	30.2%	32.2%	38.9%	11.9%	**
英語その他の外国語を用いること	7.3%	7.0%	7.0%	8.6%	1.3%	
異なる文化の人とやりとりをすること	6.6%	9.3%	7.7%	10.6%	4.0%	
特定の業界の知識を用いること	12.7%	12.5%	17.5%	20.6%	7.9%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	11.6%	14.1%	14.7%	16.1%	4.5%	
人と協同で作業すること	35.9%	37.4%	38.8%	50.2%	14.3%	**
人と段取りの調整をすること	21.8%	27.4%	30.6%	38.7%	16.9%	**
人を説得したり、交渉したりすること	11.8%	13.6%	15.4%	23.1%	11.3%	**
人に指示すること	13.4%	15.0%	18.8%	28.3%	14.9%	**
人に教えること	20.7%	22.4%	27.0%	35.1%	14.4%	**
人にサービスをすること	22.5%	21.8%	22.9%	27.4%	4.9%	
接客すること	24.8%	22.4%	21.5%	29.9%	5.1%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	6.6%	6.1%	5.7%	9.5%	2.9%	
他人との対立を解決すること	6.1%	7.0%	6.6%	9.3%	3.1%	
人材や時間の管理を行うこと	8.9%	12.0%	10.9%	18.3%	9.5%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	17.3%	18.8%	18.1%	24.4%	7.2%	
資材や道具の管理を行うこと	13.6%	17.7%	16.8%	22.9%	9.2%	**
据付やインストールを行うこと	10.0%	14.1%	12.9%	16.3%	6.3%	
プログラミングを行うこと	5.0%	5.7%	8.6%	7.0%	2.0%	
機械の操作やコントロールを行うこと	9.3%	10.9%	15.9%	14.5%	5.2%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.6%	6.1%	9.3%	8.6%	2.0%	
機械のトラブルを解決すること	5.0%	7.5%	10.0%	9.7%	4.7%	
機械やシステムを修理すること	3.9%	4.8%	5.7%	6.1%	2.2%	
危険な条件で作業をすること	1.1%	2.3%	2.0%	2.3%	1.1%	
体力的にきつい仕事をすること	5.5%	6.6%	5.2%	4.5%	-0.9%	
この中にあてはまるものはない	25.0%	24.3%	20.6%	14.9%	-10.1%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

未既婚別に検討した結果、既婚者の方が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。既婚と未婚で最も差が大きかったのは「接客すること」であった。以下、「人と協同で作業すること」「人と段取りの調整をすること」「人の話を聞くこと」「書類を書くこと」と続いていた。逆に、「この中にあてはまるものはない」と回答した割合は、未婚者の方が高かった（図表2-4）。

図表2-4 自信がある職業スキル×既婚・未婚

	既婚 N=789	未婚 N=975	差	sig.
書類を読むこと	46.8%	39.4%	7.4%	**
書類を書くこと	36.8%	27.6%	9.2%	**
人の話を聞くこと	53.1%	43.1%	10.0%	**
人前で話すこと	24.6%	16.7%	7.9%	**
数学や科学の知識を使うこと	12.0%	11.0%	1.0%	
計算したり、データを扱うこと	33.7%	30.8%	2.9%	
英語その他の外国語を用いること	8.5%	6.7%	1.8%	
異なる文化の人とやりとりをすること	9.0%	8.2%	0.8%	
特定の業界の知識を用いること	17.9%	14.2%	3.7%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.1%	14.2%	-0.1%	
人と協同で作業すること	46.6%	35.7%	10.9%	**
人と段取りの調整をすること	35.4%	25.0%	10.4%	**
人を説得したり、交渉したりすること	18.1%	14.3%	3.8%	
人に指示すること	22.4%	16.0%	6.4%	**
人に教えること	29.4%	23.8%	5.6%	**
人にサービスをすること	28.6%	19.6%	9.0%	**
接客すること	31.6%	19.1%	12.5%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	9.8%	4.7%	5.1%	**
他人との対立を解決すること	8.6%	6.2%	2.4%	
人材や時間の管理を行うこと	15.0%	10.6%	4.4%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	17.4%	21.5%	-4.1%	
資材や道具の管理を行うこと	17.7%	17.7%	0.0%	
据付やインストールを行うこと	11.9%	14.5%	-2.6%	
プログラミングを行うこと	6.5%	6.7%	-0.2%	
機械の操作やコントロールを行うこと	10.6%	14.3%	-3.7%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.5%	8.6%	-2.1%	
機械のトラブルを解決すること	8.2%	7.9%	0.3%	
機械やシステムを修理すること	4.7%	5.4%	-0.7%	
危険な条件で作業をすること	1.5%	2.3%	-0.8%	
体力的にきつい仕事をすること	4.2%	6.5%	-2.3%	
この中にあてはまるものはない	15.0%	26.3%	-11.3%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は既婚－未婚。

最終学歴別に検討した結果、学歴が高い方が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。大学大学院卒と高校卒で最も差が大きかったのは、「書類を読むこと」であった。「書類を書くこと」「英語その他の外国語を用いること」「数学や科学の知識を使うこと」「人に教えること」と続いていた。逆に、「この中にあてはまるものはない」と回答した割合は、学歴が低い方が高かった（図表2-5）。

図表2-5 自信がある職業スキル×最終学歴

	大学 大学院卒 N=729	短大 高専卒 N=196	専門専修 各種 学校卒 N=223	高校卒 N=548	中学校卒 N=60	差	sig.
書類を読むこと	52.4%	44.4%	34.5%	35.4%	18.3%	17.0%	**
書類を書くこと	40.7%	33.2%	24.7%	25.0%	6.7%	15.7%	**
人の話を聞くこと	52.4%	46.9%	48.4%	43.6%	26.7%	8.8%	**
人前で話すこと	26.1%	16.3%	18.4%	16.6%	1.7%	9.5%	**
数学や科学の知識を使うこと	18.1%	7.1%	4.5%	7.8%	3.3%	10.3%	**
計算したり、データを扱うこと	38.3%	31.1%	27.8%	28.8%	6.7%	9.5%	**
英語その他の外国語を用いること	12.9%	10.2%	3.1%	1.8%	1.7%	11.1%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	12.5%	8.2%	7.6%	4.4%	5.0%	8.1%	**
特定の業界の知識を用いること	20.9%	10.7%	15.2%	12.4%	6.7%	8.5%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.3%	10.2%	21.1%	13.7%	5.0%	0.6%	**
人と協同で作業すること	42.9%	45.9%	42.6%	37.6%	18.3%	5.3%	**
人と段取りの調整をすること	34.0%	31.6%	24.7%	27.6%	11.7%	6.4%	**
人を説得したり、交渉したりすること	21.1%	12.8%	14.8%	12.6%	1.7%	8.5%	**
人に指示すること	23.0%	14.8%	17.0%	17.5%	3.3%	5.5%	**
人に教えること	33.1%	19.9%	21.5%	23.4%	11.7%	9.7%	**
人にサービスをすること	25.5%	24.0%	23.8%	23.4%	5.0%	2.1%	
接客すること	22.2%	31.1%	24.2%	27.6%	10.0%	-5.4%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	9.7%	4.1%	4.5%	5.8%	3.3%	3.9%	**
他人との対立を解決すること	9.1%	3.6%	7.6%	6.4%	5.0%	2.7%	
人材や時間の管理を行うこと	15.6%	11.2%	8.5%	11.7%	3.3%	3.9%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	20.0%	14.8%	20.6%	21.2%	16.7%	-1.2%	
資材や道具の管理を行うこと	18.0%	13.8%	17.5%	20.1%	10.0%	-2.1%	
据付やインストールを行うこと	15.6%	7.1%	14.8%	13.1%	3.3%	2.5%	**
プログラミングを行うこと	9.6%	1.5%	9.4%	3.8%	1.7%	5.8%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	13.9%	5.6%	12.6%	14.4%	6.7%	-0.5%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	7.5%	3.6%	9.4%	9.3%	1.7%	-1.8%	
機械のトラブルを解決すること	8.2%	4.1%	12.1%	8.4%	1.7%	-0.2%	
機械やシステムを修理すること	4.8%	2.0%	8.1%	5.8%	1.7%	-1.0%	
危険な条件で作業をすること	1.8%	0.0%	4.0%	1.8%	3.3%	0.0%	
体力的にきつい仕事をすること	4.7%	3.1%	8.5%	5.8%	8.3%	-1.1%	
この中にあてはまるものはない	16.7%	18.9%	19.7%	25.4%	46.7%	-8.7%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は大学大学院卒－高校卒。

大学・短大・高専における学部・学科別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①人文科学系は「人の話を聞くこと」の割合が高かった。②理学系は「数学や科学の知識を使うこと」「プログラミングを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」の割合が高かった。③工学系は「数学や科学の知識を使うこと」「計算したり、データを扱うこと」「プログラミングを行うこと」「機械の操作やコントロールを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械のトラブルを解決すること」「機械やシステムを修理すること」の割合が高かった。④農学系は「数学や科学の知識を使うこと」の割合が高かった。

図表2-6 自信がある職業スキル×大学・短大・高専における学部・学科

	人文科学系 N=213	社会科学系 N=248	理学系 N=60	工学系 N=132	農学系 N=18	医療系 N=36	福祉系 N=21	家政系 N=52	教育系 N=43	芸術系 N=37	その他 N=60	sig.
書類を読むこと	55.9%	56.0%	46.7%	48.5%	50.0%	38.9%	38.1%	48.1%	41.9%	54.1%	41.7%	
書類を書くこと	42.7%	41.1%	38.3%	40.2%	50.0%	38.9%	19.0%	40.4%	32.6%	48.6%	21.7%	
人の話を聞くこと	60.1%	52.8%	31.7%	46.2%	61.1%	50.0%	28.6%	48.1%	41.9%	70.3%	51.7%	**
人前で話すこと	23.0%	23.8%	28.3%	31.8%	22.2%	27.8%	4.8%	15.4%	34.9%	24.3%	15.0%	
数学や科学の知識を使うこと	7.0%	10.5%	36.7%	33.3%	38.9%	30.6%	9.5%	3.8%	20.9%	10.8%	8.3%	**
計算したり、データを扱うこと	30.5%	34.7%	51.7%	55.3%	61.1%	33.3%	9.5%	28.8%	44.2%	16.2%	35.0%	**
英語その他の外国語を用いること	16.9%	9.7%	8.3%	12.1%	16.7%	5.6%	4.8%	7.7%	9.3%	13.5%	23.3%	
異なる文化の人とやりとりをすること	14.6%	11.3%	11.7%	13.6%	16.7%	0.0%	0.0%	9.6%	9.3%	10.8%	11.7%	
特定の業界の知識を用いること	18.3%	17.7%	15.0%	25.8%	33.3%	22.2%	23.8%	9.6%	16.3%	16.2%	16.7%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.1%	16.5%	5.0%	15.2%	16.7%	8.3%	19.0%	11.5%	11.6%	2.7%	13.3%	
人と協同で作業すること	47.9%	43.5%	35.0%	40.9%	50.0%	44.4%	33.3%	42.3%	48.8%	45.9%	41.7%	
人と段取りの調整をすること	34.7%	36.3%	30.0%	35.6%	33.3%	27.8%	4.8%	32.7%	39.5%	35.1%	26.7%	
人を説得したり、交渉したりすること	16.0%	22.2%	25.0%	19.7%	27.8%	16.7%	4.8%	15.4%	25.6%	16.2%	20.0%	
人に指示すること	17.4%	21.8%	28.3%	31.1%	22.2%	13.9%	0.0%	15.4%	30.2%	16.2%	20.0%	
人に教えること	32.4%	26.2%	31.7%	38.6%	27.8%	25.0%	19.0%	21.2%	46.5%	37.8%	21.7%	
人にサービスをすること	28.2%	26.6%	15.0%	18.9%	11.1%	25.0%	23.8%	34.6%	32.6%	24.3%	26.7%	
接客すること	28.6%	25.8%	15.0%	10.6%	16.7%	16.7%	28.6%	38.5%	27.9%	35.1%	25.0%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	10.3%	9.3%	6.7%	6.1%	0.0%	8.3%	4.8%	7.7%	9.3%	16.2%	6.7%	
他人との対立を解決すること	8.0%	10.9%	5.0%	5.3%	0.0%	8.3%	4.8%	9.6%	14.0%	0.0%	6.7%	
人材や時間の管理を行うこと	18.3%	15.7%	13.3%	14.4%	16.7%	8.3%	0.0%	19.2%	18.6%	8.1%	6.7%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	16.9%	16.9%	20.0%	25.8%	38.9%	19.4%	9.5%	26.9%	16.3%	29.7%	5.0%	
資材や道具の管理を行うこと	18.3%	16.5%	16.7%	19.7%	22.2%	11.1%	4.8%	17.3%	18.6%	21.6%	11.7%	
据付やインストールを行うこと	12.2%	13.7%	20.0%	24.2%	11.1%	5.6%	4.8%	7.7%	11.6%	13.5%	6.7%	
プログラミングを行うこと	4.7%	8.1%	18.3%	20.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.7%	3.3%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	8.9%	9.3%	18.3%	29.5%	22.2%	5.6%	0.0%	5.8%	7.0%	8.1%	8.3%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	3.3%	6.0%	15.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	2.7%	3.3%	**
機械のトラブルを解決すること	3.8%	6.0%	10.0%	18.9%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	2.7%	8.3%	**
機械やシステムを修理すること	1.9%	2.8%	6.7%	15.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	2.7%	1.7%	**
危険な条件で作業をすること	1.4%	2.4%	1.7%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	
体力的にきつい仕事をすること	3.3%	4.8%	1.7%	3.0%	11.1%	2.8%	14.3%	3.8%	9.3%	5.4%	3.3%	
この中にあてはまるものはない	14.1%	19.4%	15.0%	18.9%	11.1%	25.0%	19.0%	19.2%	11.6%	10.8%	15.0%	

** p<0.1。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。なお、人文科学系は(文学、哲学、史学など)、社会科学系は(経済学、法学、社会学など)を含む。

専修学校・専門学校・各種学校における学科別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①情報処理関係は「計算したり、データを扱うこと」「据付やインストールを行うこと」「プログラミングを行うこと」の割合が高かった。②工業関係は「人に指示すること」「作業に必要な道具、機材を選択すること」「機械の操作やコントロールを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械のトラブルを解決すること」「機械やシステムを修理すること」「危険な条件で作業をすること」の割合が高かった。③その他の学科では「英語やその他の外国語を用いること」の割合が高かった。

図表2-7 自信がある職業スキル×専修学校・専門学校・各種学校における学科

	医療 関係 N=50	文化・ 教養 関係 その他 N=69	情報 処理 関係 N=104	工業 関係 N=48	衛生 関係 N=19	商業 実務 関係 N=57	教育・ 社会 福祉 関係 N=39	服飾・ 家政 関係 N=26	その他 N=90	sig.
書類を読むこと	36.0%	53.6%	53.8%	47.9%	36.8%	50.9%	33.3%	38.5%	33.3%	
書類を書くこと	34.0%	43.5%	35.6%	39.6%	36.8%	36.8%	25.6%	23.1%	24.4%	
人の話を聞くこと	58.0%	58.0%	42.3%	52.1%	42.1%	59.6%	38.5%	57.7%	42.2%	
人前で話すこと	12.0%	20.3%	24.0%	39.6%	21.1%	19.3%	28.2%	26.9%	16.7%	
数学や科学の知識を使うこと	6.0%	13.0%	16.3%	20.8%	21.1%	10.5%	15.4%	0.0%	11.1%	
計算したり、データを扱うこと	24.0%	23.2%	46.2%	45.8%	31.6%	42.1%	15.4%	23.1%	26.7%	**
英語その他の外国語を用いること	6.0%	14.5%	4.8%	8.3%	5.3%	3.5%	12.8%	11.5%	21.1%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	8.0%	14.5%	5.8%	12.5%	5.3%	5.3%	10.3%	11.5%	14.4%	
特定の業界の知識を用いること	18.0%	26.1%	19.2%	22.9%	26.3%	12.3%	20.5%	11.5%	17.8%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	12.0%	21.7%	16.3%	27.1%	21.1%	12.3%	15.4%	7.7%	15.6%	
人と協同で作業すること	50.0%	50.7%	40.4%	41.7%	57.9%	43.9%	48.7%	30.8%	41.1%	
人と段取りの調整をすること	26.0%	30.4%	26.9%	43.8%	47.4%	29.8%	23.1%	15.4%	26.7%	
人を説得したり、交渉したりすること	12.0%	23.2%	21.2%	25.0%	26.3%	14.0%	12.8%	19.2%	11.1%	
人に指示すること	12.0%	24.6%	25.0%	41.7%	31.6%	19.3%	15.4%	15.4%	10.0%	**
人に教えること	14.0%	31.9%	29.8%	41.7%	31.6%	22.8%	41.0%	19.2%	22.2%	
人にサービスをすること	22.0%	31.9%	20.2%	35.4%	47.4%	22.8%	35.9%	42.3%	23.3%	
接客すること	24.0%	23.2%	17.3%	22.9%	47.4%	21.1%	25.6%	42.3%	25.6%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	4.0%	14.5%	8.7%	6.2%	21.1%	1.8%	5.1%	0.0%	6.7%	
他人との対立を解決すること	10.0%	8.7%	4.8%	14.6%	26.3%	5.3%	10.3%	3.8%	4.4%	
人材や時間の管理を行うこと	8.0%	14.5%	10.6%	18.8%	26.3%	10.5%	17.9%	7.7%	6.7%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	14.0%	20.3%	22.1%	41.7%	21.1%	17.5%	7.7%	11.5%	22.2%	**
資材や道具の管理を行うこと	20.0%	14.5%	21.2%	29.2%	15.8%	12.3%	15.4%	3.8%	12.2%	
据付やインストールを行うこと	6.0%	13.0%	30.8%	29.2%	15.8%	10.5%	15.4%	3.8%	13.3%	**
プログラミングを行うこと	4.0%	1.4%	34.6%	10.4%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	6.7%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	6.0%	7.2%	21.2%	39.6%	5.3%	5.3%	12.8%	7.7%	12.2%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.0%	4.3%	10.6%	33.3%	5.3%	1.8%	0.0%	0.0%	7.8%	**
機械のトラブルを解決すること	6.0%	4.3%	10.6%	41.7%	10.5%	5.3%	5.1%	3.8%	10.0%	**
機械やシステムを修理すること	4.0%	1.4%	12.5%	22.9%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	7.8%	**
危険な条件で作業をすること	2.0%	2.9%	1.9%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	**
体力的にきつい仕事をする事	8.0%	5.8%	6.7%	12.5%	5.3%	1.8%	5.1%	3.8%	6.7%	
この中にあてはまるものはない	12.0%	11.6%	18.3%	12.5%	0.0%	15.8%	23.1%	23.1%	14.4%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。なお、医療関係は(看護、理学・作業療法、歯科衛生など)、文化・教養関係その他は(受験・補習、デザイン、法律行政、音楽、動物など)、情報処理関係は(プログラマ、システムエンジニア、Webデザインなど)、工業関係は(自動車整備、土木・建築など)、衛生関係は(美容、調理、製菓・製パンなど)、商業実務関係は(経理・簿記、ビジネス、旅行など)、教育・社会福祉関係は(介護福祉、保育士、社会福祉など)、服飾・家政関係は(和洋裁、ファッションビジネス、家政など)を含む。

高校の学科別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①普通科では「書類を読むこと」「人の話を聞くこと」「英語その他の外国語を用いること」「人と段取りの調整をすること」の割合が高かった。②工業科では、「作業に必要な道具、機材を選択すること」「据付やインストールを行うこと」「機械の操作やコントロールを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械のトラブルを解決すること」「機械やシステムを修理すること」の割合が高かった。

図表2-8 自信がある職業スキル×高校の学科別

	普通科 N=1274	工業科 N=94	商業科 N=127	その他 N=163	sig.
書類を読むこと	46.2%	30.9%	43.3%	35.0%	**
書類を書くこと	34.3%	22.3%	35.4%	25.8%	
人の話を聞くこと	51.3%	34.0%	48.8%	39.9%	**
人前で話すこと	22.0%	14.9%	19.7%	19.6%	
数学や科学の知識を使うこと	12.2%	12.8%	6.3%	12.9%	
計算したり、データを扱うこと	33.8%	31.9%	39.4%	27.6%	
英語その他の外国語を用いること	9.1%	1.1%	1.6%	6.1%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	9.9%	3.2%	3.9%	8.0%	
特定の業界の知識を用いること	17.1%	20.2%	9.4%	13.5%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	15.2%	20.2%	11.0%	10.4%	
人と協同で作業すること	43.0%	30.9%	48.0%	35.6%	
人と段取りの調整をすること	32.4%	21.3%	31.5%	20.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	18.1%	11.7%	12.6%	12.3%	
人に指示すること	20.3%	17.0%	21.3%	15.3%	
人に教えること	28.1%	26.6%	25.2%	23.3%	
人にサービスをすること	26.4%	17.0%	21.3%	19.0%	
接客すること	25.4%	18.1%	34.6%	23.9%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	7.8%	1.1%	3.9%	8.6%	
他人との対立を解決すること	7.7%	4.3%	7.1%	6.7%	
人材や時間の管理を行うこと	14.2%	7.4%	10.2%	8.6%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	19.4%	35.1%	16.5%	16.6%	**
資材や道具の管理を行うこと	17.7%	23.4%	21.3%	15.3%	
据付やインストールを行うこと	13.8%	26.6%	9.4%	9.8%	**
プログラミングを行うこと	6.9%	8.5%	0.8%	9.2%	
機械の操作やコントロールを行うこと	11.9%	31.9%	8.7%	14.1%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.8%	28.7%	3.9%	6.7%	**
機械のトラブルを解決すること	7.6%	20.2%	6.3%	8.6%	**
機械やシステムを修理すること	4.3%	19.1%	3.9%	5.5%	**
危険な条件で作業をすること	1.9%	4.3%	0.8%	1.2%	
体力的にきつい仕事をする事	4.8%	6.4%	6.3%	8.6%	
この中にあてはまるものはない	19.2%	22.3%	15.7%	22.1%	

** p<.01。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

学校時代の資格の有無別に検討した結果、「書類を書くこと」「人と協同で作業すること」「接客すること」で、資格を取得した者の方が「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。逆に、「この中にあてはまるものはない」と回答した割合は、資格を取得しない者の方が高かった（図表2-9）。

図表2-9 自信がある職業スキル×学校時代の資格取得の有無

	学校 時代に 資格を 取得 N=722	学校 時代に 資格を 取得 せず N=1042	sig.
書類を読むこと	45.6%	40.7%	
書類を書くこと	36.1%	28.6%	**
人の話を聞くこと	50.4%	45.6%	
人前で話すこと	21.5%	19.4%	
数学や科学の知識を使うこと	11.9%	11.1%	
計算したり、データを扱うこと	35.3%	29.8%	
英語その他の外国語を用いること	9.3%	6.2%	
異なる文化の人とやりとりをすること	8.2%	8.8%	
特定の業界の知識を用いること	16.1%	15.6%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	15.1%	13.4%	
人と協同で作業すること	44.7%	37.7%	**
人と段取りの調整をすること	31.3%	28.5%	
人を説得したり、交渉したりすること	15.4%	16.4%	
人に指示すること	20.4%	17.9%	
人に教えること	29.2%	24.3%	
人にサービスをすること	26.5%	21.7%	
接客すること	28.4%	22.1%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	7.5%	6.6%	
他人との対立を解決すること	7.3%	7.2%	
人材や時間の管理を行うこと	12.0%	12.9%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	19.8%	19.6%	
資材や道具の管理を行うこと	18.7%	17.1%	
据付やインストールを行うこと	15.1%	12.1%	
プログラミングを行うこと	8.0%	5.6%	
機械の操作やコントロールを行うこと	13.6%	12.0%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	9.1%	6.6%	
機械のトラブルを解決すること	9.6%	7.0%	
機械やシステムを修理すること	6.2%	4.3%	
危険な条件で作業をすること	2.1%	1.8%	
体力的にきつい仕事をすること	6.1%	5.0%	
この中にあてはまるものはない	14.3%	26.0%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。

おもな家計負担者別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合は、概して「おもに自分」と回答した者が高く、「おもに親」と回答した者が低かった。「おもに親」と回答した者が、「おもに自分」と回答した者に比べて特に割合が低かったのは、「書類を書くこと」「人と段取りの調整をすること」「人に指示すること」「計算したり、データを扱うこと」「人を説得したり、交渉したりすること」などであった（図表2-10）

図表2-10 自信がある職業スキル×おもな家計負担者

	おもに 自分 N=619	おもに 配偶者 N=477	自分と 配偶者 半々 N=103	おもに 親 N=476	その他 N=89	差	sig.
書類を読むこと	45.6%	46.8%	42.7%	36.6%	33.7%	-9.0%	**
書類を書くこと	36.3%	34.0%	35.9%	23.3%	27.0%	-13.0%	**
人の話を聞くこと	48.6%	55.8%	44.7%	39.3%	43.8%	-9.3%	**
人前で話すこと	23.6%	21.8%	27.2%	13.9%	14.6%	-9.7%	**
数学や科学の知識を使うこと	15.2%	8.4%	16.5%	9.5%	6.7%	-5.7%	**
計算したり、データを扱うこと	37.3%	31.2%	34.0%	26.3%	29.2%	-11.0%	**
英語その他の外国語を用いること	8.4%	8.4%	6.8%	6.5%	2.2%	-1.9%	
異なる文化の人とやりとりをすること	11.3%	7.5%	9.7%	5.7%	9.0%	-5.6%	
特定の業界の知識を用いること	19.4%	15.7%	13.6%	11.1%	19.1%	-8.3%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	16.6%	12.4%	9.7%	12.2%	21.3%	-4.4%	
人と協同で作業すること	40.4%	49.9%	35.9%	33.0%	38.2%	-7.4%	**
人と段取りの調整をすること	33.0%	32.7%	35.9%	20.8%	30.3%	-12.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	20.8%	14.5%	14.6%	10.7%	20.2%	-10.1%	**
人に指示すること	23.7%	17.8%	23.3%	12.2%	21.3%	-11.5%	**
人に教えること	30.0%	27.0%	27.2%	20.2%	28.1%	-9.8%	**
人にサービスをすること	21.8%	29.4%	28.2%	18.9%	25.8%	-2.9%	**
接客すること	20.8%	37.1%	24.3%	16.6%	28.1%	-4.2%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	7.1%	9.4%	8.7%	4.0%	6.7%	-3.1%	
他人との対立を解決すること	9.2%	7.3%	7.8%	4.0%	10.1%	-5.2%	
人材や時間の管理を行うこと	15.7%	13.6%	11.7%	6.9%	15.7%	-8.8%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	24.6%	13.4%	20.4%	17.9%	28.1%	-6.7%	**
資材や道具の管理を行うこと	20.8%	15.9%	19.4%	14.3%	22.5%	-6.5%	
据付やインストールを行うこと	19.1%	7.1%	13.6%	12.2%	12.4%	-6.9%	**
プログラミングを行うこと	9.7%	3.6%	7.8%	5.5%	5.6%	-4.2%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	18.3%	5.7%	14.6%	11.8%	13.5%	-6.5%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	11.3%	3.1%	6.8%	7.8%	6.7%	-3.5%	**
機械のトラブルを解決すること	12.0%	4.0%	10.7%	6.7%	6.7%	-5.3%	**
機械やシステムを修理すること	7.8%	1.7%	7.8%	4.2%	6.7%	-3.6%	**
危険な条件で作業をすること	3.4%	1.0%	1.0%	1.1%	2.2%	-2.3%	
体力的にきつい仕事をすること	7.6%	2.3%	4.9%	6.3%	3.4%	-1.3%	**
この中にはまるものはない	19.2%	13.6%	17.5%	30.0%	32.6%	10.8%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所は網かけ、有意に値が低い箇所は下線を付した。「差」は「おもに親」-「おもに自分」。

最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、年収が高い者の方が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合は高かった。年収「600万以上」と「収入なし」で最も差が大きかったのは「人に指示すること」であり、以下、「人前で話すこと」「人と段取りの調整をすること」「書類を書くこと」「特定の業界の知識を用いること」と続いていた。

図表2-11 自信がある職業スキル×最近1年間の税込み個人年収

	収入なし N=523	～100万 N=408	～200万 N=253	～300万 N=196	～400万 N=143	～600万 N=126	600万～ N=115	差	sig.
書類を読むこと	39.4%	42.6%	41.1%	38.3%	45.5%	48.4%	59.1%	19.7%	**
書類を書くこと	27.0%	27.9%	32.0%	32.1%	34.3%	41.3%	51.3%	24.3%	**
人の話を聞くこと	44.2%	46.1%	52.6%	46.4%	49.7%	52.4%	51.3%	7.1%	
人前で話すこと	12.8%	16.2%	25.3%	21.9%	28.7%	24.6%	39.1%	26.3%	**
数学や科学の知識を使うこと	7.8%	9.8%	9.9%	10.7%	9.8%	24.6%	26.1%	18.3%	**
計算したり、データを扱うこと	27.5%	29.9%	31.2%	29.1%	32.2%	50.0%	47.8%	20.3%	**
英語その他の外国語を用いること	5.0%	6.6%	6.3%	11.2%	7.0%	8.7%	17.4%	12.4%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	6.9%	4.7%	9.5%	11.7%	9.8%	7.9%	21.7%	14.8%	**
特定の業界の知識を用いること	11.9%	14.0%	17.4%	13.3%	17.5%	19.0%	35.7%	23.8%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	9.9%	14.0%	17.0%	18.4%	15.4%	14.3%	18.3%	8.4%	
人と協同で作業すること	38.0%	38.2%	45.8%	42.9%	39.9%	39.7%	47.0%	9.0%	
人と段取りの調整をすること	25.0%	25.0%	32.8%	33.7%	33.6%	32.5%	45.2%	20.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	10.3%	13.5%	15.4%	16.8%	23.8%	21.4%	34.8%	24.5%	**
人に指示すること	13.2%	15.4%	23.3%	17.9%	18.9%	25.4%	41.7%	28.5%	**
人に教えること	20.1%	22.5%	31.6%	28.6%	28.7%	31.7%	43.5%	23.4%	**
人にサービスをすること	19.7%	26.0%	25.7%	24.5%	25.9%	17.5%	31.3%	11.6%	
接客すること	24.3%	26.7%	28.5%	25.5%	24.5%	15.1%	20.0%	-4.3%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.5%	6.1%	7.1%	8.7%	6.3%	6.3%	14.8%	9.3%	
他人との対立を解決すること	4.4%	6.1%	9.1%	9.2%	11.2%	7.1%	12.2%	7.8%	
人材や時間の管理を行うこと	9.6%	10.8%	13.4%	10.2%	16.1%	17.5%	24.3%	14.7%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	14.0%	19.1%	19.0%	29.1%	23.8%	25.4%	21.7%	7.7%	**
資材や道具の管理を行うこと	14.5%	16.9%	19.4%	23.0%	21.0%	17.5%	19.1%	4.6%	
据付やインストールを行うこと	8.8%	13.7%	13.8%	13.3%	15.4%	21.4%	20.0%	11.2%	**
プログラミングを行うこと	5.9%	4.7%	5.9%	3.1%	8.4%	13.5%	13.9%	8.0%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	9.9%	10.3%	17.4%	9.7%	15.4%	17.5%	19.1%	9.2%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.9%	5.9%	7.5%	7.1%	9.8%	8.7%	14.8%	7.9%	
機械のトラブルを解決すること	5.9%	5.6%	8.7%	7.1%	11.2%	11.1%	19.1%	13.2%	**
機械やシステムを修理すること	4.0%	3.2%	4.3%	6.6%	7.0%	7.1%	11.3%	7.3%	**
危険な条件で作業をすること	1.7%	1.7%	1.2%	3.1%	2.8%	0.8%	3.5%	1.8%	
体力的にきつい仕事をすること	3.8%	3.9%	7.5%	7.7%	7.0%	4.0%	9.6%	5.8%	
この中にあてはまるものはない	25.4%	23.8%	16.6%	18.9%	17.5%	16.7%	16.5%	-8.9%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「600万～」-「収入なし」。

現在の立場・身分別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合は、概して「正社員」が高く、「無業者」で低かった。「正社員」と「無業者」で最も差が大きかったのは「人前で話すこと」であり、以下、「書類を書くこと」「人と段取りの調整をすること」「人に指示すること」「人の話を聞くこと」と続いていた。また、「求職者」は「人の話を聞くこと」「人と協同で作業すること」「人と段取りの調整をすること」「人にサービスをすること」の割合が高かった。

図表2-12 自信がある職業スキル×現在の立場・身分

	正社員 N=439	非正社員 N=442	求職者 N=413	無業者 N=455	差	sig.
書類を読むこと	47.2%	38.9%	47.0%	38.2%	-9.0%	
書類を書くこと	41.0%	26.9%	33.2%	25.3%	-15.7%	**
人の話を聞くこと	51.5%	45.9%	54.5%	39.3%	-12.2%	**
人前で話すこと	28.9%	20.1%	19.6%	12.5%	-16.4%	**
数学や科学の知識を使うこと	15.3%	10.4%	12.3%	8.1%	-7.2%	**
計算したり、データを扱うこと	36.4%	28.3%	35.8%	27.7%	-8.7%	
英語その他の外国語を用いること	10.9%	6.3%	7.0%	5.9%	-5.0%	
異なる文化の人とやりとりをすること	12.3%	7.2%	8.7%	6.2%	-6.1%	**
特定の業界の知識を用いること	21.0%	13.1%	18.4%	11.4%	-9.6%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.8%	16.1%	17.2%	9.0%	-5.8%	**
人と協同で作業すること	39.9%	42.3%	48.9%	31.6%	-8.3%	**
人と段取りの調整をすること	34.6%	28.1%	36.1%	20.4%	-14.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	21.6%	13.8%	19.4%	9.9%	-11.7%	**
人に指示すること	25.1%	15.6%	22.5%	12.5%	-12.6%	**
人に教えること	30.8%	24.2%	31.0%	20.0%	-10.8%	**
人にサービスをすること	24.6%	24.7%	29.8%	16.0%	-8.6%	**
接客すること	22.1%	27.6%	28.1%	20.9%	-1.2%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	10.0%	4.8%	7.7%	5.5%	-4.5%	**
他人との対立を解決すること	8.0%	8.4%	9.0%	4.0%	-4.0%	
人材や時間の管理を行うこと	16.4%	9.3%	15.0%	9.9%	-6.5%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	23.9%	21.0%	20.1%	13.8%	-10.1%	**
資材や道具の管理を行うこと	21.6%	17.9%	18.2%	13.4%	-8.2%	
据付やインストールを行うこと	16.6%	10.0%	16.0%	11.0%	-5.6%	
プログラミングを行うこと	8.9%	2.5%	9.2%	6.2%	-2.7%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	15.3%	11.5%	11.6%	11.9%	-3.4%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	8.7%	6.1%	8.0%	7.7%	-1.0%	
機械のトラブルを解決すること	11.4%	5.7%	9.0%	6.4%	-5.0%	**
機械やシステムを修理すること	7.1%	2.7%	6.8%	4.0%	-3.1%	**
危険な条件で作業をすること	2.1%	1.4%	2.9%	1.5%	-0.6%	
体力的にきつい仕事をする事	5.5%	8.1%	5.3%	2.6%	-2.9%	**
この中にあてはまるものはない	16.4%	21.9%	14.3%	31.4%	15.0%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「無業者」-「正社員」。

勤務先の業種別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①製造業では「人と段取りの調整をすること」「機械の操作やコントロールを行うこと」の割合が高かった。②情報通信業では「プログラミングを行うこと」の割合が高かった。③卸売・小売業および飲食店・宿泊業では「接客すること」の割合が高かった。④教育、学習支援業では「英語その他の外国語を用いること」「人に教えること」の割合が高かった。⑤その他のサービス業では「人にサービスをすること」の割合が高かった。

図表2-13 自信がある職業スキル×勤務先の業種

	建設業 N=33	製造業 N=142	情報 通信業 N=47	運輸業 N=42	卸売・ 小売業 N=116	金融・ 保険業 N=23	飲食店 宿泊業 N=31	医療、 福祉 N=73	教育、 学習 支援業 N=57	その 他のサ ービス 業 N=171	公務 N=31	その他 N=93	sig.
書類を読むこと	45.5%	43.0%	53.2%	28.6%	31.9%	47.8%	38.7%	37.0%	57.9%	45.0%	54.8%	40.9%	
書類を書くこと	45.5%	35.9%	38.3%	23.8%	21.6%	43.5%	32.3%	30.1%	47.4%	37.4%	38.7%	31.2%	
人の話を聞くこと	48.5%	44.4%	46.8%	47.6%	43.1%	65.2%	51.6%	50.7%	52.6%	50.9%	61.3%	45.2%	
人前で話すこと	27.3%	23.9%	23.4%	28.6%	19.0%	17.4%	22.6%	17.8%	49.1%	25.1%	22.6%	21.5%	
数学や科学の知識を使うこと	21.2%	16.2%	19.1%	9.5%	10.3%	4.3%	9.7%	13.7%	24.6%	8.8%	16.1%	7.5%	
計算したり、データを扱うこと	48.5%	40.8%	46.8%	28.6%	29.3%	34.8%	38.7%	23.3%	35.1%	28.1%	35.5%	24.7%	
英語その他の外国語を用いること	0.0%	9.2%	10.6%	2.4%	8.6%	4.3%	0.0%	5.5%	29.8%	7.6%	6.5%	8.6%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	6.1%	9.9%	12.8%	7.1%	8.6%	8.7%	3.2%	5.5%	22.8%	8.8%	9.7%	10.8%	
特定の業界の知識を用いること	18.2%	18.3%	23.4%	7.1%	9.5%	17.4%	6.5%	19.2%	22.8%	17.5%	9.7%	23.7%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	12.1%	14.8%	12.8%	9.5%	15.5%	17.4%	6.5%	12.3%	12.3%	22.2%	12.9%	15.1%	
人と協同で作業すること	33.3%	47.2%	42.6%	40.5%	38.8%	34.8%	41.9%	45.2%	45.6%	43.9%	22.6%	33.3%	
人と段取りの調整をすること	27.3%	43.0%	34.0%	23.8%	27.6%	43.5%	35.5%	19.2%	43.9%	32.2%	19.4%	19.4%	**
人を説得したり、交渉したりすること	9.1%	19.7%	14.9%	11.9%	15.5%	26.1%	19.4%	11.0%	26.3%	19.3%	9.7%	15.1%	
人に指示すること	18.2%	21.8%	27.7%	16.7%	18.1%	34.8%	25.8%	9.6%	31.6%	20.5%	19.4%	15.1%	
人に教えること	30.3%	33.1%	36.2%	23.8%	16.4%	30.4%	25.8%	15.1%	57.9%	26.9%	19.4%	23.7%	**
人にサービスをすること	15.2%	19.7%	17.0%	21.4%	23.3%	13.0%	41.9%	28.8%	28.1%	35.1%	16.1%	19.4%	**
接客すること	24.2%	12.0%	8.5%	28.6%	34.5%	26.1%	58.1%	21.9%	22.8%	30.4%	22.6%	24.7%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	6.1%	4.2%	10.6%	2.4%	3.4%	4.3%	12.9%	5.5%	12.3%	8.8%	9.7%	12.9%	
他人との対立を解決すること	6.1%	9.9%	4.3%	9.5%	6.0%	4.3%	6.5%	8.2%	12.3%	8.2%	12.9%	7.5%	
人材や時間の管理を行うこと	9.1%	15.5%	19.1%	11.9%	11.2%	21.7%	12.9%	12.3%	7.0%	11.1%	19.4%	8.6%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	33.3%	25.4%	17.0%	16.7%	17.2%	17.4%	19.4%	15.1%	19.3%	28.1%	16.1%	24.7%	
資材や道具の管理を行うこと	18.2%	19.7%	19.1%	19.0%	13.8%	21.7%	6.5%	19.2%	14.0%	22.8%	19.4%	26.9%	
据付やインストールを行うこと	15.2%	14.1%	27.7%	19.0%	7.8%	4.3%	9.7%	8.2%	15.8%	15.2%	3.2%	12.9%	
プログラミングを行うこと	3.0%	5.6%	34.0%	0.0%	2.6%	4.3%	3.2%	1.4%	3.5%	6.4%	3.2%	4.3%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	12.1%	21.8%	14.9%	16.7%	9.5%	4.3%	3.2%	5.5%	12.3%	11.1%	6.5%	21.5%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	3.0%	12.0%	8.5%	11.9%	4.3%	0.0%	0.0%	2.7%	5.3%	8.2%	3.2%	10.8%	
機械のトラブルを解決すること	6.1%	10.6%	12.8%	4.8%	3.4%	0.0%	3.2%	2.7%	14.0%	9.9%	9.7%	12.9%	
機械やシステムを修理すること	6.1%	6.3%	6.4%	2.4%	1.7%	0.0%	0.0%	2.7%	5.3%	4.7%	6.5%	9.7%	
危険な条件で作業をすること	6.1%	2.1%	0.0%	4.8%	0.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.2%	0.0%	3.2%	
体力的にきつい仕事をすること	9.1%	8.5%	2.1%	21.4%	7.8%	0.0%	3.2%	8.2%	5.3%	4.7%	0.0%	7.5%	
この中にあてはまるものはない	21.2%	17.6%	10.6%	26.2%	25.9%	13.0%	16.1%	17.8%	8.8%	17.5%	19.4%	26.9%	

** p<0.01。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所を網かけを付した。

現在の職業別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①専門的・技術的職業では「数学や科学の知識を使うこと」「英語その他の外国語を用いること」「プログラミングを行うこと」「機械の操作やコントロールを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」などの割合が高かった。②管理的職業では「書類を読むこと」「書類を書くこと」「計算したり、データを扱うこと」「人を説得したり、交渉したりすること」「人に指示すること」の割合が高かった。③事務的職業では「書類を書くこと」の割合が高かった。④販売の職業では「接客すること」の割合が高かった。⑤サービスの職業では「人にサービスすること」「接客すること」の割合が高かった。⑥運輸・通信の職業では「体力的にきつい仕事をする事」の割合が高かった（図表2-14）。

図表2-14 自信がある職業スキル×現在の職業

	専門的 技術的 職業 N=194	管理的 職業 N=37	事務的 職業 N=244	販売の 職業 N=75	サービ スの 職業 N=93	運輸 通信の 職業 N=25	生産 工程 建設 軽作業 などの 仕事 N=79	sig.
書類を読むこと	45.4%	64.9%	50.8%	37.3%	41.9%	32.0%	32.9%	**
書類を書くこと	39.7%	59.5%	45.5%	22.7%	30.1%	20.0%	13.9%	**
人の話を聞くこと	53.6%	64.9%	49.6%	53.3%	50.5%	48.0%	41.8%	
人前で話すこと	33.0%	40.5%	21.7%	22.7%	21.5%	32.0%	16.5%	**
数学や科学の知識を使うこと	26.3%	18.9%	8.2%	9.3%	4.3%	16.0%	11.4%	**
計算したり、データを扱うこと	38.7%	56.8%	41.4%	28.0%	23.7%	20.0%	21.5%	**
英語その他の外国語を用いること	14.9%	13.5%	7.8%	6.7%	7.5%	0.0%	1.3%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	14.4%	10.8%	7.4%	10.7%	9.7%	12.0%	3.8%	
特定の業界の知識を用いること	30.4%	29.7%	11.9%	10.7%	14.0%	20.0%	11.4%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.4%	21.6%	13.9%	16.0%	24.7%	24.0%	12.7%	
人と協同で作業すること	42.8%	59.5%	36.9%	41.3%	48.4%	44.0%	46.8%	
人と段取りの調整をすること	34.0%	56.8%	36.5%	26.7%	30.1%	20.0%	35.4%	
人を説得したり、交渉したりすること	23.7%	45.9%	14.3%	14.7%	21.5%	12.0%	11.4%	**
人に指示すること	25.3%	51.4%	20.1%	16.0%	28.0%	16.0%	11.4%	**
人に教えること	39.7%	43.2%	23.8%	16.0%	32.3%	28.0%	22.8%	**
人にサービスをすること	25.3%	32.4%	20.9%	26.7%	49.5%	32.0%	12.7%	**
接客すること	16.5%	24.3%	22.1%	46.7%	49.5%	40.0%	13.9%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	8.8%	18.9%	7.0%	5.3%	8.6%	8.0%	2.5%	
他人との対立を解決すること	10.3%	16.2%	5.7%	8.0%	6.5%	12.0%	11.4%	
人材や時間の管理を行うこと	13.9%	32.4%	13.9%	13.3%	9.7%	16.0%	8.9%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	23.2%	29.7%	19.7%	16.0%	26.9%	24.0%	30.4%	
資材や道具の管理を行うこと	18.0%	21.6%	22.1%	16.0%	16.1%	16.0%	25.3%	
据付やインストールを行うこと	23.2%	24.3%	10.7%	9.3%	6.5%	16.0%	16.5%	**
プログラミングを行うこと	14.9%	10.8%	3.3%	4.0%	2.2%	0.0%	3.8%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	20.6%	16.2%	7.0%	9.3%	11.8%	28.0%	21.5%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	12.4%	8.1%	3.3%	4.0%	8.6%	20.0%	8.9%	**
機械のトラブルを解決すること	13.9%	16.2%	6.6%	4.0%	7.5%	8.0%	3.8%	
機械やシステムを修理すること	9.3%	10.8%	4.1%	1.3%	1.1%	4.0%	2.5%	**
危険な条件で作業をすること	2.1%	2.7%	1.2%	1.3%	1.1%	8.0%	2.5%	
体力的にきつい仕事をする事	5.7%	10.8%	2.0%	5.3%	8.6%	32.0%	11.4%	**
この中にあるものはまるものはない	16.0%	10.8%	15.2%	26.7%	17.2%	24.0%	20.3%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。なお、専門的・技術的職業は「教師・看護師・エンジニア・デザイナーなど」、管理的職業は「会社や役所での課長・部長以上など」、事務的職業は「会社や役所での一般事務・経理、内勤の営業など」、販売の職業は「小売店やコンビニなどの販売や外勤のセールス、不動産売買など」、サービスの職業は「接客、飲食物調理、理容師・美容師、パチンコ店員など」、運輸・通信の職業は「鉄道運転、自動車運転、郵便の集配・配達など」、生産工程・建設・軽作業などの仕事は「工場のオペレーターや組立工、電気工事、軽作業など」。

勤務先の従業員数別に検討した結果、従業員数が多い方が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。特に、勤務先の従業員規模が「1000人以上」の者は「異なる文化の人とやりとりをすること」「人と段取りの調整をすること」「人に指示すること」「人に教えること」「人材や時間の管理を行うこと」の割合が高かった。なお、「1000人未満」の者は「プログラミングを行うこと」の割合が高かった。また、「30人未満」の者は「接客すること」の割合が高かった（図表2-15）。

図表2-15 自信がある職業スキル×勤務先の従業員数

	30人 未満 N=334	100人 未満 N=169	1000人 未満 N=211	1000人 以上 N=180	sig.
書類を読むこと	40.1%	41.4%	46.0%	45.6%	
書類を書くこと	32.3%	26.6%	37.4%	40.6%	
人の話を聞くこと	49.4%	40.8%	48.3%	53.9%	
人前で話すこと	24.3%	20.7%	23.7%	28.9%	
数学や科学の知識を使うこと	11.1%	7.7%	15.6%	16.7%	
計算したり、データを扱うこと	30.2%	28.4%	35.1%	37.8%	
英語その他の外国語を用いること	7.8%	8.3%	5.7%	13.3%	
異なる文化の人とやりとりをすること	9.0%	6.5%	7.6%	16.1%	**
特定の業界の知識を用いること	18.3%	12.4%	14.7%	20.6%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	17.4%	10.1%	12.3%	19.4%	
人と協同で作業すること	39.5%	41.4%	39.3%	46.1%	
人と段取りの調整をすること	27.8%	27.2%	30.3%	42.8%	**
人を説得したり、交渉したりすること	16.5%	13.0%	16.6%	24.4%	
人に指示すること	19.8%	13.6%	17.5%	31.1%	**
人に教えること	24.6%	20.1%	28.9%	37.2%	**
人にサービスをすること	28.1%	20.1%	18.0%	30.0%	
接客すること	31.7%	20.1%	16.1%	27.2%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	9.3%	6.5%	3.8%	8.3%	
他人との対立を解決すること	7.5%	8.3%	4.3%	13.3%	
人材や時間の管理を行うこと	10.5%	10.1%	11.8%	20.0%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	25.7%	20.7%	19.4%	21.1%	
資材や道具の管理を行うこと	23.1%	18.3%	16.6%	18.3%	
据付やインストールを行うこと	13.2%	7.7%	14.7%	16.7%	
プログラミングを行うこと	2.4%	3.6%	10.4%	7.8%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	13.5%	7.1%	16.1%	16.1%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.9%	4.1%	8.5%	10.0%	
機械のトラブルを解決すること	7.2%	5.3%	10.4%	11.1%	
機械やシステムを修理すること	4.2%	2.4%	6.2%	6.7%	
危険な条件で作業をすること	2.7%	0.6%	0.9%	1.7%	
体力的にきつい仕事をすること	5.4%	8.3%	6.2%	9.4%	
この中にあてはまるものはない	20.4%	21.9%	18.5%	15.6%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

勤務先の職位で検討した結果、「役員、部長」は、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。「役員、部長」と「一般社員・職員」で最も差が大きかったのは「人に指示すること」であり、以下、「人を説得したり、交渉したりこと」「人に教えること」「人と段取りの調整をすること」「人材や時間の管理を行うこと」「計算したり、データを扱うこと」と続いていた。(図表2-16)。

図表2-16 自信がある職業スキル×勤務先の職位

	一般 社員・ 職員 N=471	係長・ 主任 N=51	課長、 課長 補佐 N=38	役員、 部長 N=30	差	sig.
書類を読むこと	43.9%	54.9%	60.5%	66.7%	22.8%	
書類を書くこと	34.8%	51.0%	55.3%	56.7%	21.9%	**
人の話を聞くこと	48.4%	49.0%	57.9%	70.0%	21.6%	
人前で話すこと	25.3%	25.5%	18.4%	56.7%	31.4%	**
数学や科学の知識を使うこと	13.2%	13.7%	10.5%	36.7%	23.5%	**
計算したり、データを扱うこと	32.9%	37.3%	47.4%	63.3%	30.4%	**
英語その他の外国語を用いること	7.9%	13.7%	15.8%	16.7%	8.8%	
異なる文化の人とやりとりをすること	8.3%	21.6%	15.8%	20.0%	11.7%	
特定の業界の知識を用いること	14.9%	29.4%	23.7%	40.0%	25.1%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.4%	25.5%	7.9%	30.0%	15.6%	
人と協同で作業すること	43.9%	45.1%	36.8%	60.0%	16.1%	
人と段取りの調整をすること	30.8%	47.1%	36.8%	63.3%	32.5%	**
人を説得したり、交渉したりすること	16.3%	23.5%	26.3%	50.0%	33.7%	**
人に指示すること	17.6%	29.4%	31.6%	70.0%	52.4%	**
人に教えること	26.5%	33.3%	23.7%	60.0%	33.5%	**
人にサービスをすること	24.4%	27.5%	15.8%	43.3%	18.9%	
接客すること	24.4%	25.5%	10.5%	36.7%	12.3%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	6.4%	9.8%	5.3%	26.7%	20.3%	**
他人との対立を解決すること	8.1%	11.8%	2.6%	23.3%	15.2%	
人材や時間の管理を行うこと	12.3%	19.6%	18.4%	43.3%	31.0%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	23.8%	25.5%	15.8%	33.3%	9.5%	
資材や道具の管理を行うこと	20.8%	25.5%	5.3%	30.0%	9.2%	
据付やインストールを行うこと	13.2%	23.5%	7.9%	30.0%	16.8%	
プログラミングを行うこと	6.2%	11.8%	7.9%	16.7%	10.5%	
機械の操作やコントロールを行うこと	13.2%	21.6%	13.2%	20.0%	6.8%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	7.2%	13.7%	7.9%	10.0%	2.8%	
機械のトラブルを解決すること	8.3%	17.6%	13.2%	16.7%	8.4%	
機械やシステムを修理すること	5.1%	7.8%	10.5%	10.0%	4.9%	
危険な条件で作業をすること	1.7%	2.0%	2.6%	3.3%	1.6%	
体力的にきつい仕事をすること	6.6%	11.8%	7.9%	10.0%	3.4%	
この中にあてはまるものはない	16.1%	13.7%	10.5%	6.7%	-9.4%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「役員、部長」-「一般社員・職員」。

転職回数別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①「転職4回以上」では「人前で話すこと」「特定の商品やサービスの知識を用いること」「作業に必要な道具、機材を選択すること」「資材や道具の管理を行うこと」の割合が高かった、②「転職3回」では「人に教えること」「人にサービスをすること」「接客すること」の割合が高かった。③「転職2回」では「人の話を聞くこと」「資材や道具の管理を行うこと」の割合が高かった。④「転職1回」では「人と段取りの調整をすること」の割合が高かった。⑤「転職なし」は、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が低かった（図表2-17）。

図表2-17 自信がある職業スキル×転職回数

	転職 なし N=796	転職 1回 N=221	転職 2回 N=216	転職 3回 N=230	転職 4回 以上 N=299	sig.
書類を読むこと	39.7%	47.5%	44.0%	43.5%	45.5%	
書類を書くこと	27.0%	35.3%	37.5%	33.9%	35.5%	**
人の話を聞くこと	39.6%	51.6%	58.8%	51.7%	54.8%	**
人前で話すこと	14.7%	23.1%	22.7%	23.9%	28.4%	**
数学や科学の知識を使うこと	10.7%	16.3%	8.8%	14.3%	9.7%	
計算したり、データを扱うこと	27.5%	35.3%	38.4%	37.0%	33.4%	**
英語その他の外国語を用いること	7.2%	6.3%	6.9%	8.3%	9.0%	
異なる文化の人とやりとりをすること	6.7%	9.0%	8.3%	12.2%	10.7%	
特定の業界の知識を用いること	12.3%	21.3%	15.7%	20.0%	18.1%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	9.9%	19.5%	12.0%	18.3%	19.7%	**
人と協同で作業すること	35.1%	46.2%	43.5%	46.5%	44.1%	**
人と段取りの調整をすること	23.1%	37.1%	32.9%	34.8%	35.1%	**
人を説得したり、交渉したりすること	11.8%	19.9%	18.1%	20.4%	19.4%	**
人に指示すること	14.6%	20.4%	21.8%	24.8%	22.7%	**
人に教えること	21.1%	27.6%	29.2%	34.3%	31.1%	**
人にサービスをすること	18.8%	21.7%	29.2%	32.6%	27.1%	**
接客すること	19.5%	25.3%	25.9%	33.5%	30.4%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.8%	6.3%	8.3%	10.9%	6.7%	
他人との対立を解決すること	5.3%	7.2%	6.9%	11.3%	9.7%	
人材や時間の管理を行うこと	9.9%	14.5%	14.8%	15.2%	14.4%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	14.3%	19.9%	25.0%	24.8%	26.1%	**
資材や道具の管理を行うこと	12.2%	21.7%	24.1%	17.4%	25.4%	**
据付やインストールを行うこと	10.1%	13.1%	18.5%	17.0%	15.7%	**
プログラミングを行うこと	6.9%	7.2%	8.3%	4.8%	5.4%	
機械の操作やコントロールを行うこと	10.2%	14.5%	12.5%	15.7%	15.7%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	5.8%	9.0%	7.9%	11.7%	8.4%	
機械のトラブルを解決すること	6.4%	10.9%	6.5%	11.7%	8.7%	
機械やシステムを修理すること	4.1%	5.9%	4.6%	7.4%	5.7%	
危険な条件で作業をすること	1.1%	3.2%	0.9%	2.6%	3.3%	
体力的にきつい仕事をする	4.6%	5.4%	3.7%	7.8%	6.7%	
この中にあてはまるものはない	28.1%	16.7%	14.4%	17.4%	14.0%	**

** p<0.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所を網かけ、有意に値が低い箇所を下線を付した。

失業・休職の有無で検討した結果、「失業・休職の経験なし」の者は、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が低かった。特に、「現在、失業中・休職中」および「過去に失業・休職を経験」の者は、いずれも「書類を読むこと」「人の話を聞くこと」と回答した割合が高かった。また、「過去に失業・休職を経験」と「失業・休職の経験なし」。で最も差が大きかったのは「人の話を聞くこと」であり、以下、「書類を読むこと」「作業に必要な道具、機材を選択すること」「資材や道具の管理を行うこと」「人と段取りの調整をすること」「特定の商品やサービスの知識を用いること」が続いていた。(図表2-18)。

図表2-18 自信がある職業スキル×失業・休職の有無

	現在、 失業中 休職中 N=451	過去に 失業・ 休職を 経験 N=466	失業・ 休職の 経験 なし N=847	差	sig.
書類を読むこと	48.1%	48.3%	36.7%	11.6%	**
書類を書くこと	31.7%	37.6%	28.5%	9.1%	**
人の話を聞くこと	54.1%	54.9%	40.0%	14.9%	**
人前で話すこと	20.4%	25.5%	17.2%	8.3%	**
数学や科学の知識を使うこと	13.3%	11.4%	10.5%	0.9%	
計算したり、データを扱うこと	36.6%	35.8%	27.6%	8.2%	**
英語その他の外国語を用いること	6.2%	7.7%	8.0%	-0.3%	
異なる文化の人とやりとりをすること	9.8%	10.1%	7.1%	3.0%	
特定の業界の知識を用いること	18.0%	20.6%	12.0%	8.6%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	16.2%	20.0%	9.8%	10.2%	**
人と協同で作業すること	44.6%	44.8%	36.1%	8.7%	**
人と段取りの調整をすること	33.7%	35.2%	24.4%	10.8%	**
人を説得したり、交渉したりすること	17.5%	18.5%	13.8%	4.7%	
人に指示すること	22.6%	21.2%	15.6%	5.6%	**
人に教えること	32.2%	30.5%	20.9%	9.6%	**
人にサービスをすること	25.3%	28.5%	20.1%	8.4%	**
接客すること	23.9%	28.8%	22.8%	6.0%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	7.5%	8.2%	6.0%	2.2%	
他人との対立を解決すること	7.5%	9.4%	5.9%	3.5%	
人材や時間の管理を行うこと	14.6%	15.5%	9.8%	5.7%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	22.0%	26.0%	15.0%	11.0%	**
資材や道具の管理を行うこと	19.3%	24.2%	13.3%	10.9%	**
据付やインストールを行うこと	18.0%	16.7%	9.0%	7.7%	**
プログラミングを行うこと	10.2%	5.6%	5.2%	0.4%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	16.4%	14.8%	9.4%	5.4%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	10.2%	10.3%	4.8%	5.5%	**
機械のトラブルを解決すること	10.6%	10.1%	5.5%	4.6%	**
機械やシステムを修理すること	7.1%	6.4%	3.3%	3.1%	**
危険な条件で作業をすること	2.7%	3.0%	0.9%	2.1%	
体力的にきつい仕事をすること	4.4%	6.7%	5.3%	1.4%	
この中にあてはまるものはない	16.0%	14.2%	27.9%	-13.7%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「過去に失業・休職を経験」-「失業・休職の経験なし」。

次の就職先を真剣に探している程度別に検討した結果、「次の就職先をかなり真剣に探している」および「次の就職先をやや真剣に探している」と回答した者が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。「次の就職先をかなり真剣に探している」および「次の就職先をやや真剣に探している」と回答した者が共通して割合が高かったのは、「人の話を聞くこと」「計算したり、データを扱うこと」「人と協同で作業すること」「人と段取りの調整をすること」「人に指示すること」であった（図表2-19）。

図表2-19 自信がある職業スキル×次の就職先を真剣に探している程度

	次の就職先をかなり真剣に探している N=199	次の就職先をやや真剣に探している N=274	どちらも言えない N=384	次の就職先をあまり真剣に探していない N=234	次の就職先をまったく探していない N=673	sig.
書類を読むこと	47.7%	51.1%	35.4%	52.1%	38.6%	**
書類を書くこと	40.7%	37.2%	25.0%	31.2%	30.8%	**
人の話を聞くこと	57.3%	57.7%	41.4%	50.4%	43.1%	**
人前で話すこと	24.6%	22.3%	18.2%	20.5%	19.2%	
数学や科学の知識を使うこと	15.6%	16.1%	8.9%	10.3%	10.3%	
計算したり、データを扱うこと	41.7%	39.1%	25.5%	33.8%	29.6%	**
英語その他の外国語を用いること	9.5%	11.3%	5.2%	9.0%	6.1%	
異なる文化の人とやりとりをすること	11.1%	11.7%	7.8%	10.7%	6.2%	
特定の業界の知識を用いること	18.1%	19.7%	11.5%	18.8%	15.0%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	19.1%	19.7%	12.2%	16.2%	10.7%	**
人と協同で作業すること	50.3%	49.3%	37.2%	39.7%	36.4%	**
人と段取りの調整をすること	38.2%	36.1%	24.5%	28.2%	27.9%	**
人を説得したり、交渉したりすること	20.1%	20.8%	12.5%	13.7%	15.6%	
人に指示すること	26.6%	25.2%	12.8%	17.5%	18.0%	**
人に教えること	32.7%	33.9%	22.1%	25.6%	23.9%	**
人にサービスをすること	28.6%	32.1%	20.3%	24.8%	20.2%	**
接客すること	24.6%	30.7%	23.7%	22.2%	23.6%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	9.5%	6.6%	4.4%	8.5%	7.3%	
他人との対立を解決すること	12.1%	9.5%	6.5%	6.8%	5.5%	
人材や時間の管理を行うこと	16.6%	15.0%	9.1%	12.4%	12.3%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	26.6%	23.7%	15.4%	23.5%	17.1%	**
資材や道具の管理を行うこと	24.1%	19.0%	16.1%	20.5%	15.3%	
据付けやインストールを行うこと	21.6%	16.4%	10.4%	15.8%	10.4%	**
プログラミングを行うこと	9.5%	9.1%	5.2%	5.6%	5.8%	
機械の操作やコントロールを行うこと	19.6%	13.1%	8.3%	15.0%	12.0%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	12.6%	8.0%	5.5%	10.3%	6.4%	**
機械のトラブルを解決すること	11.6%	10.2%	6.0%	9.0%	7.0%	
機械やシステムを修理すること	10.1%	4.7%	3.6%	5.1%	4.6%	
危険な条件で作業をすること	3.5%	3.3%	0.5%	2.1%	1.6%	
体力的にきつい仕事をする	7.0%	7.3%	5.5%	4.7%	4.5%	
この中であてはまるものはない	13.6%	9.9%	26.3%	15.0%	27.3%	**

** p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

これまでのキャリア別に検討した結果、「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者と「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者で差が最も大きかったのは「人と共同で作業すること」および「書類を書くこと」であり、以下、「人と段取りの調整をすること」「計算したり、データを扱うこと」「書類を読むこと」と続いていた（図表2-20）。

図表2-20 自信がある職業スキル×これまでのキャリア

	特定の分野で1つの仕事を長く経験してきている N=741	特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=403	いろいろな分野で1つの仕事を長く経験してきている N=203	いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=417	差	sig.
書類を読むこと	41.8%	50.6%	34.5%	40.5%	10.1%	**
書類を書くこと	30.8%	40.0%	28.6%	26.9%	13.1%	**
人の話を聞くこと	46.0%	53.8%	40.4%	47.7%	6.1%	**
人前で話すこと	19.2%	27.0%	14.8%	18.2%	8.8%	**
数学や科学の知識を使うこと	11.9%	14.4%	6.9%	10.1%	4.3%	
計算したり、データを扱うこと	31.2%	40.2%	25.1%	29.3%	10.9%	**
英語その他の外国語を用いること	6.3%	13.2%	3.0%	6.2%	7.0%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	6.9%	13.2%	5.4%	8.6%	4.6%	**
特定の業界の知識を用いること	17.1%	21.1%	8.9%	11.8%	9.3%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	11.6%	20.6%	13.3%	12.7%	7.9%	**
人と協同で作業すること	39.8%	48.4%	38.9%	35.3%	13.1%	**
人と段取りの調整をすること	27.4%	39.0%	26.6%	26.1%	12.9%	**
人を説得したり、交渉したりすること	14.3%	22.6%	10.8%	15.1%	7.5%	**
人に指示すること	17.3%	26.6%	13.8%	16.8%	9.8%	**
人に教えること	24.3%	34.2%	20.7%	24.9%	9.3%	**
人にサービスをすること	21.3%	26.1%	24.6%	24.9%	1.2%	
接客すること	20.9%	24.3%	31.0%	28.5%	-4.2%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.8%	10.2%	5.4%	6.7%	3.5%	
他人との対立を解決すること	5.7%	11.2%	6.4%	6.7%	4.5%	**
人材や時間の管理を行うこと	11.1%	16.4%	8.4%	13.4%	3.0%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	17.1%	23.1%	17.2%	22.1%	1.0%	
資材や道具の管理を行うこと	14.6%	22.6%	16.3%	19.4%	3.2%	**
据付やインストールを行うこと	10.7%	20.6%	9.4%	12.9%	7.7%	**
プログラミングを行うこと	8.0%	9.2%	3.9%	2.9%	6.3%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	10.7%	16.6%	8.4%	14.4%	2.2%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	5.9%	10.9%	3.9%	9.4%	1.5%	**
機械のトラブルを解決すること	6.2%	12.9%	5.4%	7.9%	5.0%	**
機械やシステムを修理すること	4.3%	7.9%	2.0%	5.3%	2.6%	**
危険な条件で作業をすること	1.1%	2.7%	1.5%	2.9%	-0.2%	
体力的にきつい仕事をすること	3.5%	6.5%	7.4%	7.0%	-0.5%	
この中にあてはまるものはない	22.0%	13.9%	20.2%	27.3%	-13.4%	**

※p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」-「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」。

職業能力が同業他社で通用するか否か別に検討した結果、「通用する」と回答した者が、概して、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。「通用する」と回答した者と「ほとんど通用しない」と回答した者の差が最も大きかったのは「人に教えること」であり、以下、「人の話を聞くこと」「人に指示すること」「計算したり、データを扱うこと」「人と段取りの調整をすること」「人を説得したり、交渉したりすること」と続いていた（図表2-21）。

図表2-21 自信がある職業スキル×あなたの職業能力は同業他社で通用するか否か

	通用 する N=182	ある程度 通用する N=425	どちら とも 言えない N=612	あまり 通用 しない N=228	ほとんど 通用 しない N=317	差	sig.
書類を読むこと	58.2%	59.3%	38.7%	39.5%	21.5%	36.7%	**
書類を書くこと	49.5%	50.8%	25.5%	25.0%	12.6%	36.9%	**
人の話を聞くこと	69.2%	65.4%	43.8%	46.1%	19.6%	49.6%	**
人前で話すこと	45.6%	32.2%	15.7%	9.6%	6.0%	39.6%	**
数学や科学の知識を使うこと	32.4%	17.2%	7.8%	5.7%	2.8%	29.6%	**
計算したり、データを扱うこと	54.9%	48.9%	26.8%	24.6%	12.0%	42.9%	**
英語その他の外国語を用いること	19.2%	12.0%	4.6%	5.3%	1.9%	17.3%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	24.2%	13.2%	5.4%	5.7%	1.6%	22.6%	**
特定の業界の知識を用いること	40.7%	27.1%	10.5%	7.5%	2.8%	37.9%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	34.6%	19.8%	12.4%	5.7%	4.1%	30.5%	**
人と協同で作業をすること	55.5%	60.7%	37.9%	30.7%	17.4%	38.1%	**
人と段取りの調整をすること	51.6%	48.7%	25.2%	17.5%	8.8%	42.8%	**
人を説得したり、交渉したりすること	45.1%	25.4%	10.9%	5.7%	3.8%	41.3%	**
人に指示すること	51.1%	31.5%	12.6%	7.5%	3.8%	47.3%	**
人に教えること	62.1%	43.1%	17.8%	16.2%	6.9%	55.2%	**
人にサービスをすること	46.7%	33.2%	20.6%	15.8%	9.1%	37.6%	**
接客すること	37.9%	33.9%	23.4%	21.9%	9.1%	28.8%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	18.7%	11.5%	4.4%	3.1%	1.9%	16.8%	**
他人との対立を解決すること	21.4%	11.5%	4.2%	3.1%	2.2%	19.2%	**
人材や時間の管理を行うこと	32.4%	20.7%	8.0%	5.3%	4.1%	28.3%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	39.6%	27.5%	15.2%	16.7%	8.5%	31.1%	**
資材や道具の管理を行うこと	30.2%	24.9%	15.8%	15.4%	6.3%	23.9%	**
据付やインストールを行うこと	30.8%	18.8%	9.5%	10.1%	5.7%	25.1%	**
プログラミングを行うこと	12.1%	10.6%	5.6%	3.9%	1.9%	10.2%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	24.7%	15.5%	11.1%	13.6%	4.1%	20.6%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	19.2%	9.4%	6.2%	6.1%	2.5%	16.7%	**
機械のトラブルを解決すること	20.3%	11.3%	6.0%	5.7%	2.2%	18.1%	**
機械やシステムを修理すること	14.8%	6.6%	3.8%	3.5%	1.3%	13.5%	**
危険な条件で作業をすること	7.1%	1.9%	1.3%	1.3%	0.6%	6.5%	**
体力的にきつい仕事をする事	11.5%	6.1%	5.4%	4.8%	1.6%	9.9%	**
この中にあてはまるものはない	4.9%	3.8%	19.4%	21.9%	56.8%	-51.9%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「通用する」-「ほとんど通用しない」。

これまでの職業生活やキャリアに対する満足感別に検討した結果、「おおむね満足している」と回答した者が、概して、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も差が大きかったのは「人と協同で作業すること」であった。以下、「人の話を聞くこと」「人と段取りの調整をすること」「書類を書くこと」「人に教えること」「計算したり、データを扱うこと」と続いていた。なお、「とても満足している」と回答した者は「人に指示すること」「人やイベントのコーディネートを行うこと」の割合が高かった。また、「あまり満足していない」と回答した者は「書類を読むこと」「資材や道具の管理を行うこと」の割合が高かった（図表2-22）。

図表2-22 自信がある職業スキル×これまでの職業生活やキャリアに対する満足感

	全く満足していない N=256	あまり満足していない N=394	どちらとも 言えない N=820	おおむね満足している N=268	とても満足している N=26	差	sig.
書類を読むこと	34.4%	49.7%	38.4%	53.4%	42.3%	19.0%	**
書類を書くこと	23.0%	36.0%	27.7%	45.9%	30.8%	22.9%	**
人の話を聞くこと	36.7%	53.0%	43.9%	61.2%	46.2%	24.5%	**
人前で話すこと	10.2%	22.6%	18.8%	30.2%	26.9%	20.0%	**
数学や科学の知識を使うこと	5.9%	14.7%	8.7%	19.8%	19.2%	13.9%	**
計算したり、データを扱うこと	23.8%	36.5%	28.0%	46.3%	26.9%	22.5%	**
英語その他の外国語を用いること	4.7%	8.4%	5.7%	13.1%	19.2%	8.4%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	6.2%	9.6%	6.8%	14.2%	11.5%	8.0%	**
特定の業界の知識を用いること	9.0%	16.8%	12.8%	28.7%	30.8%	19.7%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	9.4%	15.5%	13.5%	17.5%	23.1%	8.1%	
人と協同で作業すること	26.2%	45.2%	38.4%	54.1%	42.3%	27.9%	**
人と段取りの調整をすること	18.0%	31.7%	27.9%	42.2%	38.5%	24.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	8.2%	16.8%	14.4%	25.4%	34.6%	17.2%	**
人に指示すること	11.7%	20.8%	15.5%	31.3%	38.5%	19.6%	**
人に教えること	17.6%	30.5%	22.1%	40.3%	38.5%	22.7%	**
人にサービスをすること	16.4%	26.4%	21.6%	31.3%	38.5%	14.9%	**
接客すること	18.0%	26.1%	23.2%	32.1%	38.5%	14.1%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.1%	5.6%	7.1%	8.6%	26.9%	3.5%	**
他人との対立を解決すること	4.3%	8.9%	6.2%	9.7%	19.2%	5.4%	
人材や時間の管理を行うこと	7.8%	15.0%	10.7%	18.7%	15.4%	10.9%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	16.8%	21.1%	17.8%	26.1%	19.2%	9.3%	
資材や道具の管理を行うこと	13.3%	22.8%	15.7%	21.6%	7.7%	8.3%	**
据付やインストールを行うこと	13.3%	15.5%	11.1%	17.2%	11.5%	3.9%	
プログラミングを行うこと	6.6%	7.4%	6.6%	5.6%	3.8%	-1.0%	
機械の操作やコントロールを行うこと	10.9%	14.5%	11.3%	16.0%	7.7%	5.1%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	7.4%	9.4%	6.1%	10.1%	7.7%	2.7%	
機械のトラブルを解決すること	6.6%	9.9%	6.1%	12.7%	7.7%	6.1%	**
機械やシステムを修理すること	4.7%	6.3%	4.0%	7.1%	3.8%	2.4%	
危険な条件で作業をすること	2.7%	2.0%	1.7%	1.9%	0.0%	-0.8%	
体力的にきつい仕事をすること	5.9%	5.6%	5.4%	5.6%	0.0%	-0.3%	
この中にあてはまるものはない	35.9%	11.9%	25.0%	6.7%	46.2%	-29.2%	**

※ $p<0.01$ 。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

収入に対する満足感別に検討した結果、「とても満足している」または「おおむね満足している」と回答した者が「自信がある」と回答した割合が高かったのは「英語その他の外国語を用いること」「人と段取りの調整をすること」「人に指示すること」「人やイベントのコーディネートを行うこと」であった。逆に、「全く満足していない」と回答した者が「自信がある」と回答した割合が高かったのは「作業に必要な道具、機材を選択すること」「据付やインストールを行うこと」「機材の操作やコントロールを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械のトラブルを解決すること」「機械やシステムを修理すること」「危険な条件で作業をすること」であった（図表2-23）。

図表2-23 自信がある職業スキル×収入に対する満足感

収入に対する満足感	とても満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	sig.
	N=23	N=237	N=515	N=426	N=563	
書類を読むこと	56.5%	48.5%	38.6%	46.2%	40.7%	
書類を書くこと	39.1%	38.0%	28.9%	32.2%	30.9%	
人の話を聞くこと	65.2%	53.2%	42.7%	50.9%	46.4%	
人前で話すこと	21.7%	28.3%	18.4%	18.1%	20.1%	
数学や科学の知識を使うこと	21.7%	12.7%	9.1%	12.0%	12.3%	
計算したり、データを扱うこと	34.8%	36.7%	24.5%	36.4%	33.7%	**
英語その他の外国語を用いること	8.7%	13.5%	7.2%	5.2%	6.9%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	13.0%	11.4%	7.8%	7.5%	8.7%	
特定の業界の知識を用いること	17.4%	21.1%	12.4%	15.7%	16.7%	
特定の商品やサービスの知識を用いること	17.4%	14.8%	11.7%	13.6%	16.3%	
人と協同で作業すること	30.4%	46.8%	34.8%	47.7%	38.4%	**
人と段取りの調整をすること	26.1%	36.7%	23.3%	33.1%	30.0%	**
人を説得したり、交渉したりすること	21.7%	21.5%	12.6%	14.3%	17.8%	
人に指示すること	30.4%	25.7%	14.4%	17.6%	20.6%	**
人に教えること	30.4%	30.8%	21.6%	25.1%	29.5%	
人にサービスをすること	34.8%	27.0%	19.2%	25.6%	24.3%	
接客すること	34.8%	29.1%	21.7%	25.8%	24.2%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	21.7%	11.0%	5.4%	4.5%	8.0%	**
他人との対立を解決すること	13.0%	8.9%	6.0%	6.1%	8.3%	
人材や時間の管理を行うこと	13.0%	16.5%	10.1%	10.6%	14.6%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	21.7%	18.1%	14.6%	21.6%	23.4%	**
資材や道具の管理を行うこと	21.7%	16.5%	13.6%	19.0%	21.0%	
据付やインストールを行うこと	8.7%	9.7%	8.9%	12.4%	19.7%	**
プログラミングを行うこと	4.3%	6.3%	5.0%	6.8%	8.0%	
機械の操作やコントロールを行うこと	13.0%	11.0%	9.7%	11.5%	16.9%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	8.7%	6.8%	4.9%	6.6%	11.4%	**
機械のトラブルを解決すること	8.7%	7.6%	6.0%	5.9%	11.7%	**
機械やシステムを修理すること	8.7%	5.5%	2.7%	4.0%	7.8%	**
危険な条件で作業をすること	0.0%	0.4%	1.0%	1.9%	3.6%	**
体力的にきつい仕事をする	4.3%	4.6%	4.7%	5.2%	6.7%	
この中にあてはまるものはない	13.0%	12.2%	28.3%	13.8%	24.3%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所を網かけ、有意に値が低い箇所を下線を付した。

仕事上の地位に対する満足感別に検討した結果、「とても満足している」と回答した者が「自信がある」と回答した割合が高かったのは「人やイベントのコーディネートを行うこと」であった。また「おおむね満足している」と回答した者が「自信がある」と回答した割合が高かったのは「書類を読むこと」「人の話を聞くこと」「人前で話すこと」「人と協同で作業すること」「人に指示すること」「人に教えること」であった。逆に、「全く満足していない」と回答した者が「自信がある」と回答した割合が高かったのは「機械のトラブルを解決すること」「機械やシステムを修理すること」であった（図表2-24）。

図表2-24 自信がある職業スキル×仕事上の地位に対する満足感

仕事上の地位に対する満足感	とても満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	sig.
	N=34	N=268	N=845	N=215	N=402	
書類を読むこと	58.8%	52.2%	39.3%	43.7%	41.5%	**
書類を書くこと	52.9%	36.9%	29.2%	31.2%	31.8%	
人の話を聞くこと	64.7%	56.3%	44.3%	47.4%	47.3%	**
人前で話すこと	32.4%	28.4%	17.8%	18.1%	20.1%	**
数学や科学の知識を使うこと	20.6%	14.2%	9.1%	15.3%	11.7%	
計算したり、データを扱うこと	32.4%	38.1%	27.8%	35.8%	35.1%	**
英語その他の外国語を用いること	11.8%	10.4%	6.0%	9.3%	7.2%	
異なる文化の人とやりとりをすること	11.8%	10.4%	7.0%	11.2%	9.0%	
特定の業界の知識を用いること	26.5%	20.9%	13.4%	12.6%	18.4%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	20.6%	15.7%	12.4%	13.0%	16.7%	
人と協同で作業すること	44.1%	48.9%	38.3%	48.4%	35.3%	**
人と段取りの調整をすること	38.2%	35.1%	25.4%	37.7%	29.9%	**
人を説得したり、交渉したりすること	26.5%	20.5%	12.1%	17.7%	19.4%	**
人に指示すること	35.3%	25.4%	14.6%	19.1%	22.1%	**
人に教えること	38.2%	34.3%	20.9%	30.2%	29.1%	**
人にサービスをすること	35.3%	26.9%	20.7%	29.3%	23.6%	
接客すること	32.4%	29.5%	23.6%	24.7%	23.1%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	23.5%	7.8%	4.9%	7.9%	9.0%	**
他人との対立を解決すること	14.7%	10.1%	5.2%	6.5%	9.5%	**
人材や時間の管理を行うこと	17.6%	16.8%	9.0%	15.3%	15.2%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	26.5%	24.3%	15.9%	20.9%	23.4%	**
資材や道具の管理を行うこと	20.6%	22.8%	15.0%	15.8%	20.9%	
据付やインストールを行うこと	14.7%	14.2%	11.4%	13.0%	16.9%	
プログラミングを行うこと	2.9%	7.5%	6.9%	3.7%	7.2%	
機械の操作やコントロールを行うこと	17.6%	14.2%	11.7%	9.3%	14.9%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	5.9%	7.5%	6.4%	6.0%	11.4%	
機械のトラブルを解決すること	11.8%	9.0%	6.5%	5.1%	11.9%	**
機械やシステムを修理すること	8.8%	6.7%	3.3%	4.2%	8.0%	**
危険な条件で作業をすること	0.0%	0.7%	1.7%	1.9%	3.5%	
体力的にきつい仕事をすること	5.9%	4.9%	4.9%	7.4%	6.0%	
この中にあてはまるものはない	11.8%	10.4%	24.1%	15.8%	25.9%	**

** p<0.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

仕事内容に対する満足感別に検討した結果、「とても満足している」「おおむね満足している」と回答した者が、概して、「自信がある」と回答した割合が高かった。「とても満足している」「おおむね満足している」と回答した者に共通して「自信がある」と回答した割合が高かったのは「人の話を聞くこと」「人前で話すこと」「人に教えること」であった（図表2-25）

図表2-25 自信がある職業スキル×仕事内容に対する満足感

仕事内容に対する満足感	とても満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	sig.
	N=43	N=349	N=804	N=212	N=356	
書類を読むこと	55.8%	49.6%	40.5%	40.1%	40.7%	
書類を書くこと	55.8%	32.4%	31.0%	29.7%	30.9%	
人の話を聞くこと	72.1%	55.0%	43.9%	49.1%	44.7%	**
人前で話すこと	46.5%	28.1%	16.8%	19.8%	17.4%	**
数学や科学の知識を使うこと	27.9%	12.6%	8.8%	16.0%	11.5%	**
計算したり、データを扱うこと	37.2%	35.0%	29.2%	34.9%	33.4%	
英語その他の外国語を用いること	18.6%	10.3%	6.0%	6.1%	7.6%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	18.6%	10.6%	6.7%	9.9%	8.7%	
特定の業界の知識を用いること	37.2%	19.8%	12.7%	13.7%	17.7%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	27.9%	15.5%	11.6%	15.6%	16.0%	
人と協同で作業すること	46.5%	48.7%	38.1%	48.1%	33.1%	**
人と段取りの調整をすること	46.5%	33.5%	26.6%	35.4%	27.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	39.5%	19.5%	11.9%	16.0%	18.8%	**
人に指示すること	44.2%	23.5%	14.6%	20.3%	20.2%	**
人に教えること	55.8%	32.4%	21.1%	27.8%	27.5%	**
人にサービスをすること	51.2%	27.8%	19.0%	28.3%	23.9%	**
接客すること	41.9%	27.8%	23.6%	25.0%	21.6%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	27.9%	6.9%	5.0%	8.0%	8.4%	**
他人との対立を解決すること	18.6%	8.9%	5.0%	9.4%	8.1%	**
人材や時間の管理を行うこと	20.9%	13.2%	9.8%	17.0%	14.3%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	37.2%	22.1%	16.2%	20.3%	22.8%	**
資材や道具の管理を行うこと	23.3%	17.2%	16.4%	19.3%	19.7%	
据付やインストールを行うこと	20.9%	12.9%	10.3%	15.6%	18.3%	**
プログラミングを行うこと	4.7%	6.0%	6.8%	5.2%	7.6%	
機械の操作やコントロールを行うこと	18.6%	12.6%	10.7%	13.2%	16.0%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	4.7%	7.2%	6.1%	7.5%	12.1%	
機械のトラブルを解決すること	9.3%	8.6%	6.3%	7.1%	11.8%	
機械やシステムを修理すること	4.7%	6.3%	3.6%	3.8%	8.1%	
危険な条件で作業をすること	0.0%	0.6%	1.7%	2.4%	3.7%	
体力的にきつい仕事をすること	7.0%	5.2%	4.7%	7.1%	6.2%	
この中にあてはまるものはない	11.6%	10.0%	25.2%	14.6%	28.1%	**

** p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

職場の人間関係に対する満足感別に検討した結果、「とても満足している」「おおむね満足している」と回答した者が、概して、「自信がある」と回答した割合が高かった。「とても満足している」「おおむね満足している」と回答した者に共通して「自信がある」と回答した割合が高かったのは「特定の業界の知識を用いること」「人と協同で作業すること」「人に教えること」「接客すること」「人やイベントのコーディネートをすること」であった（図表2-26）

図表2-26 自信がある職業スキル×職場の人間関係に対する満足感

職場の人間関係に対する満足感	とても満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	sig.
	N=73	N=348	N=813	N=186	N=344	
書類を読むこと	53.4%	50.6%	40.0%	42.5%	39.0%	**
書類を書くこと	41.1%	36.5%	30.0%	31.2%	29.1%	
人の話を聞くこと	61.6%	57.5%	44.5%	45.2%	43.0%	**
人前で話すこと	30.1%	31.9%	16.9%	15.6%	16.9%	**
数学や科学の知識を使うこと	16.4%	14.9%	9.2%	13.4%	11.0%	
計算したり、データを扱うこと	32.9%	37.4%	29.4%	32.8%	32.6%	
英語その他の外国語を用いること	9.6%	10.1%	5.9%	9.7%	7.0%	
異なる文化の人とやりとりをすること	12.3%	10.3%	7.0%	10.8%	8.4%	
特定の業界の知識を用いること	28.8%	20.7%	13.4%	12.4%	15.7%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	20.5%	17.2%	13.3%	10.2%	13.7%	
人と協同で作業すること	63.0%	52.0%	37.0%	42.5%	31.7%	**
人と段取りの調整をすること	41.1%	41.1%	26.1%	26.9%	25.6%	**
人を説得したり、交渉したりすること	26.0%	23.9%	11.7%	12.4%	18.0%	**
人に指示すること	30.1%	26.1%	14.6%	19.4%	18.9%	**
人に教えること	39.7%	36.8%	21.2%	25.3%	25.6%	**
人にサービスをすること	42.5%	28.7%	20.3%	26.9%	20.6%	**
接客すること	43.8%	31.6%	22.6%	22.6%	19.5%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	15.1%	10.6%	4.4%	5.9%	8.1%	**
他人との対立を解決すること	12.3%	12.6%	4.9%	5.4%	7.3%	**
人材や時間の管理を行うこと	19.2%	17.8%	9.6%	11.3%	13.4%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	26.0%	26.4%	15.7%	19.4%	20.9%	**
資材や道具の管理を行うこと	20.5%	22.4%	14.9%	17.2%	19.5%	
据付やインストールを行うこと	17.8%	14.1%	11.2%	11.3%	17.7%	
プログラミングを行うこと	2.7%	6.3%	6.8%	4.8%	8.1%	
機械の操作やコントロールを行うこと	12.3%	14.1%	11.3%	10.8%	15.4%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	5.5%	7.8%	6.8%	5.9%	11.0%	
機械のトラブルを解決すること	9.6%	8.6%	6.8%	7.5%	10.5%	
機械やシステムを修理すること	5.5%	4.9%	4.7%	3.8%	7.0%	
危険な条件で作業をすること	0.0%	1.1%	1.6%	3.2%	3.2%	
体力的にきつい仕事をすること	4.1%	6.3%	4.3%	8.6%	5.8%	
この中にあてはまるものはない	8.2%	10.9%	25.0%	14.0%	29.4%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

職業スキルが収入および満足感に与える影響を検討するために重回帰分析を行った。①収入に最も影響を与える職業スキルは「人を説得したり、交渉したりすること」であった。ただし、性別・年代・就労状況を含まないモデルⅡでは「接客すること」のマイナスの影響が最も大きかった。その他、モデルⅠおよびモデルⅡに共通して大きな影響を与えていたのは「数学や科学の知識を使うこと」「英語その他の外国語を用いること」であった。②満足感に最も影響を与える職業スキルは、モデルⅠおよびモデルⅡに共通して「特定の業界の知識を用いること」であった。また「人と協同で作業すること」の影響も大きかった。「危険な条件で作業をすること」はモデルⅠおよびモデルⅡに共通してマイナスの影響を与えていた（図表2-27）。

図表2-27 職業スキルが収入・満足感に与える影響(重回帰分析結果)

	収入		満足感	
	モデルⅠ	モデルⅡ	モデルⅠ	モデルⅡ
性別(1=男性、2=女性)	-.159		.114	
年代	.107		.129	
就労状況(正社員か否か)	.625		.136	
書類を読むこと				
書類を書くこと		.080		
人の話を聞くこと		-.066		
人前で話すこと		.085		.065
数学や科学の知識を使うこと	.048	.088	.062	
計算したり、データを扱うこと	.059			
英語その他の外国語を用いること	.043	.055		
異なる文化の人とやりとりをすること				
特定の業界の知識を用いること			.097	.097
特定の商品やサービスの知識を用いること				
人と協同で作業すること			.072	.078
人と段取りの調整をすること				
人を説得したり、交渉したりすること	.076	.115		
人に指示すること				
人に教えること				
人にサービスをすること				
接客すること	-.040	-.131		
人やイベントのコーディネートを行うこと				
他人との対立を解決すること				
人材や時間の管理を行うこと				
作業に必要な道具、機材を選択すること				
資材や道具の管理を行うこと	-.061			
据付やインストールを行うこと				
プログラミングを行うこと			-.047	
機械の操作やコントロールを行うこと				
機械や部品のメンテナンスを行うこと				
機械のトラブルを解決すること		.062		
機械やシステムを修理すること				
危険な条件で作業をすること			-.052	-.061
体力的にきつい仕事をする	.037			
調整済みR ²	.472	.070	.075	.027

※ステップワイズ法による変数選択式の重回帰分析を行った。最終的に5%水準で統計的に有意な変数のみ回帰式に含められた。モデルⅠは性別・年代・就労状況を含む。モデルⅡは性別・年代・就労状況を含まない。

職業スキルの主成分分析を行った結果、おおむね第1主成分にまとまった。第1主成分に最も負荷量が高かったのは「人に指示すること」であった。以下、「人に教えること」「人を説得したり、交渉したりすること」「人と段取りの調整をすること」と続いていた。なお、「プログラミングを行うこと」「危険な条件で作業をすること」「英語その他の外国語を用いること」「体力的にきつい仕事をする事」は第1主成分に負荷が高くなかった。なお第8主成分までの累積説明率は62.1%であった（図表2-28）。

図表2-28 職業スキルの主成分分析

	1	2	3	4	5	6	7	8
人に指示すること	.72							
人に教えること	.71							
人を説得したり、交渉したりすること	.67							
人と段取りの調整をすること	.67							
特定の業界の知識を用いること	.60							-.53
人材や時間の管理を行うこと	.59				-.40			
人前で話すこと	.58							
人の話を聞くこと	.58							
他人との対立を解決すること	.56							
作業に必要な道具、機材を選択すること	.56						-.44	
人にサービスをすること	.56							
資材や道具の管理を行うこと	.54						-.45	
書類を書くこと	.54		-.41					
書類を読むこと	.54		-.45					
据付やインストールを行うこと	.52							
人と協同で作業すること	.51							
人やイベントのコーディネートを行うこと	.51							
計算したり、データを扱うこと	.48		-.42					
接客すること	.43							
数学や科学の知識を使うこと	.42							
機械や部品のメンテナンスを行うこと	.50	.65						
機械のトラブルを解決すること	.48	.65						
機械やシステムを修理すること	.42	.64						
機械の操作やコントロールを行うこと	.48	.58						
プログラミングを行うこと								
危険な条件で作業をすること								
英語その他の外国語を用いること				.62				
異なる文化の人とやりとりをすること	.46			.55				
体力的にきつい仕事をする事						.56		
特定の商品やサービスの知識を用いること	.55							-.62
説明率	27.4%	9.6%	5.7%	5.1%	3.8%	3.7%	3.5%	3.3%

※主成分分析。負荷量.40以上を表に記載。

職業スキルの因子分析（主因子法バリマックス回転）を行った。その結果、第1因子は「人に指示すること」「人を説得したり、交渉したりすること」「人に教えること」の負荷量が高かった。第2因子は「機械のトラブルを解決すること」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械やシステムを修理すること」の負荷量が高かった。第3因子は「書類を読むこと」「書類を書くこと」「人の話を聞くこと」の負荷量が高かった。以下、第4因子は異文化・英語、第5因子は資材・機材・道具、第6因子は商品・サービス・業界知識、第7因子は計算・データ・科学、第8因子は危険な条件・体力に関する項目の負荷量がそれぞれ高かった。8因子までの累積説明率は49.1%であった（図表2-29）。

図表2-29 職業スキルの因子分析(主因子法バリマックス回転)

	1	2	3	4	5	6	7	8
人に指示すること	.70							
人を説得したり、交渉したりすること	.68							
人に教えること	.65							
人と段取りの調整をすること	.65							
人にサービスをすること	.63							
人前で話すこと	.51							
接客すること	.51						-31	
人材や時間の管理を行うこと	.50							
人と協同で作業すること	.50		34					
人やイベントのコーディネートを行うこと	.48							
他人との対立を解決すること	.48							
機械のトラブルを解決すること		.80						
機械や部品のメンテナンスを行うこと		.77						
機械やシステムを修理すること		.72						
機械の操作やコントロールを行うこと		.64						
据付やインストールを行うこと		.39						
書類を読むこと			.73					
書類を書くこと			.59					
人の話を聞くこと	.39		.55					
異なる文化の人とやりとりをすること				.73				
英語その他の外国語を用いること				.72				
資材や道具の管理を行うこと					.68			
作業に必要な道具、機材を選択すること		.33			.55			
特定の商品やサービスの知識を用いること						.71		
特定の業界の知識を用いること						.53		
計算したり、データを扱うこと			.32				.40	
数学や科学の知識を使うこと							.39	
プログラミングを行うこと							.34	
危険な条件で作業をすること								.69
体力的にきつい仕事をすること								.51
説明率	14.8%	9.7%	6.1%	4.4%	3.9%	3.6%	3.4%	3.2%

※主因子法バリマックス回転。因子負荷量.30以上を表に記載。

職業スキルの因子分析（最尤法プロマックス回転）を行った。その結果、第1因子は「人に指示すること」「人に教えること」「人を説得したり、交渉したりすること」の負荷量が高かった。第2因子は「機械のトラブルを解決すること」「機械やシステムを修理すること」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」の負荷量が高かった。第3因子は「書類を読むこと」「書類を書くこと」「人の話を聞くこと」の負荷量が高かった。以下、第4因子は異文化・英語、第5因子は資材・機材・道具、第6因子は商品・サービス・業界知識、第7因子は計算・データ・科学、第8因子は危険な条件・体力に関する項目の負荷量がそれぞれ高かった。因子分析結果は主因子法バリマックス回転と最尤法プロマックス回転で同一であった（図表2-30）。

図表2-30 職業スキルの因子分析(最尤法プロマックス回転)

	1	2	3	4	5	6	7	8
人に指示すること	.94							
人に教えること	.78							
人を説得したり、交渉したりすること	.76							
人と段取りの調整をすること	.62							
人材や時間の管理を行うこと	.59							
人前で話すこと	.49							
他人との対立を解決すること	.46							
人やイベントのコーディネートを行うこと	.42							
人と協同で作業すること	.32							
数学や科学の知識を使うこと								
機械のトラブルを解決すること		.88						
機械やシステムを修理すること		.79						
機械や部品のメンテナンスを行うこと		.78						
機械の操作やコントロールを行うこと		.65						
据付やインストールを行うこと								
プログラミングを行うこと								
書類を読むこと			.91					
書類を書くこと			.71					
人の話を聞くこと			.54					
計算したり、データを扱うこと			.32					
異なる文化の人とやりとりをすること				.78				
英語その他の外国語を用いること				.75				
資材や道具の管理を行うこと					.80			
作業に必要な道具、機材を選択すること					.64			
接客すること						.63		
人にサービスをすること						.61		
特定の商品やサービスの知識を用いること							.85	
特定の業界の知識を用いること							.61	
危険な条件で作業をすること								.70
体力的にきつい仕事をすること								.55
因子間相関	.37							
	.64	.31						
	.42	.22	.24					
	.55	.48	.46	.18				
	.41	-.05	.25	.13	.21			
	.58	.43	.37	.42	.42	.19		
	.19	.30	-.02	.18	.28	.20	.28	

※最尤法プロマックス回転。因子負荷量40以上を表に記載。

第3章 成人の生活スキル

本章では、図表1－1に示した質問項目に対する自信の有無をたずねた。

図表3－1 自信がある生活スキル①

	かなり 自信が ある＋ やや 自信が ある
朝、決まった時間にひとりで起きる	70.8%
食事を決まった時間にきちんと取る	60.1%
部屋をこまめにそうじをする	38.3%
決まったやり方でゴミを出す	66.6%
食事を自分で作る	56.2%
定期的に適度な運動をする	31.5%
家計簿をつける	35.1%
貯金をする	46.2%
日々の計画を立てて、計画を守る	38.7%
時間に遅れない	67.7%
人との約束を守る	76.3%
社会人としてのマナーを守る	74.5%
あいさつをする	72.6%
人に力を貸す	58.6%
苦手な人ともうまく働く	34.5%
人と交渉する	27.8%
わからないことをたずねる	55.5%
人と世間話をする	43.6%
人の話をさえぎらずに聞く	54.0%
できないことは断る	42.2%
友達をつくる	29.3%
新たな職場環境になじむ	33.8%
自分の主張をはっきり言う	33.7%
なすべきことを一生懸命やる	65.3%
困難にあってもあきらめない	45.4%
職場の目標やルールは大事にする	63.7%
職場に必要な事柄を勉強する	60.5%
職場に必要な技術を身につける	59.9%
必要があれば新たな職場を見つける	36.3%
必要があれば就職活動をうまく行う	28.5%
ビジネスマナーを理解している	40.1%
自分の能力を正確に把握する	38.2%
自分の長所・短所を理解する	42.9%
自分の悪いところを直す	26.4%
将来の計画を立てる	26.8%
自分の人生設計を立てる	25.8%
将来の職業生活に備える	22.3%
パソコンでメールのやりとりをする	64.4%
パソコンで必要な情報を検索する	72.3%
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.8%

自信がある生活スキルを降順および昇順に並べ替えた（図表3-2）。その結果、最も自信があると回答される割合が高かったのは「人との約束を守る（76.3%）」であった。以下、「社会人としてのマナーを守る（74.5%）」「あいさつをする（72.6%）」「パソコンで必要な情報を検索する（72.3%）」「朝、決まった時間にひとりで起きる（70.8%）」と続いていた。また、自信があると回答される割合が最も低かったのは「将来の職業生活に備える（22.3%）」であった。以下、「自分の人生設計を立てる（25.8%）」「自分の悪いところを直す（26.4%）」「将来の計画を立てる（26.8%）」「人と交渉する（27.8%）」と続いていた。

図表3-2 自信がある生活スキル②(降順および昇順に並べ替え)

降順に並べ替え	かなり自信がある+やや自信がある	昇順に並べ替え	かなり自信がある+やや自信がある
人との約束を守る	76.3%	将来の職業生活に備える	22.3%
社会人としてのマナーを守る	74.5%	自分の人生設計を立てる	25.8%
あいさつをする	72.6%	自分の悪いところを直す	26.4%
パソコンで必要な情報を検索する	72.3%	将来の計画を立てる	26.8%
朝、決まった時間にひとりで起きる	70.8%	人と交渉する	27.8%
時間に遅れない	67.7%	必要があれば就職活動をうまく行う	28.5%
決まったやり方でゴミを出す	66.6%	友達をつくる	29.3%
なすべきことを一生懸命やる	65.3%	定期的に適度な運動をする	31.5%
パソコンでメールのやりとりをする	64.4%	自分の主張をはっきり言う	33.7%
職場の目標やルールは大事にする	63.7%	新たな職場環境になじむ	33.8%
職場に必要な事柄を勉強する	60.5%	苦手な人ともうまく働く	34.5%
食事を決まった時間にきちんと取る	60.1%	家計簿をつける	35.1%
職場に必要な技術を身につける	59.9%	必要があれば新たな職場を見つける	36.3%
人に力を貸す	58.6%	自分の能力を正確に把握する	38.2%
食事を自分で作る	56.2%	部屋をこまめにそうじをする	38.3%
わからないことをたずねる	55.5%	日々の計画を立てて、計画を守る	38.7%
人の話をさえぎらずに聞く	54.0%	ビジネスマナーを理解している	40.1%
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.8%	できないことは断る	42.2%
貯金をする	46.2%	自分の長所・短所を理解する	42.9%
困難にあってもあきらめない	45.4%	人と世間話をする	43.6%
人と世間話をする	43.6%	困難にあってもあきらめない	45.4%
自分の長所・短所を理解する	42.9%	貯金をする	46.2%
できないことは断る	42.2%	新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.8%
ビジネスマナーを理解している	40.1%	人の話をさえぎらずに聞く	54.0%
日々の計画を立てて、計画を守る	38.7%	わからないことをたずねる	55.5%
部屋をこまめにそうじをする	38.3%	食事を自分で作る	56.2%
自分の能力を正確に把握する	38.2%	人に力を貸す	58.6%
必要があれば新たな職場を見つける	36.3%	職場に必要な技術を身につける	59.9%
家計簿をつける	35.1%	食事を決まった時間にきちんと取る	60.1%
苦手な人ともうまく働く	34.5%	職場に必要な事柄を勉強する	60.5%
新たな職場環境になじむ	33.8%	職場の目標やルールは大事にする	63.7%
自分の主張をはっきり言う	33.7%	パソコンでメールのやりとりをする	64.4%
定期的に適度な運動をする	31.5%	なすべきことを一生懸命やる	65.3%
友達をつくる	29.3%	決まったやり方でゴミを出す	66.6%
必要があれば就職活動をうまく行う	28.5%	時間に遅れない	67.7%
人と交渉する	27.8%	朝、決まった時間にひとりで起きる	70.8%
将来の計画を立てる	26.8%	パソコンで必要な情報を検索する	72.3%
自分の悪いところを直す	26.4%	あいさつをする	72.6%
自分の人生設計を立てる	25.8%	社会人としてのマナーを守る	74.5%
将来の職業生活に備える	22.3%	人との約束を守る	76.3%

性別に検討した結果、女性の方が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。男性と女性で最も大きな差がみられたのは「食事を自分で作る」であった。以下、「人と世間話をする」「決まったやり方でゴミを出す」「社会人としてのマナーを守る」「職場の目標やルールは大事にする」と続いていた（図表3-3）。

図表3-3 自信がある生活スキル×性別

	男性 N=881	女性 N=883	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	65.4%	76.2%	10.8%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	52.6%	67.6%	15.0%	**
部屋をこまめにそうじをする	31.4%	45.1%	13.7%	**
決まったやり方でゴミを出す	57.1%	76.1%	19.0%	**
食事を自分で作る	39.2%	73.2%	34.0%	**
定期的に適度な運動をする	28.7%	34.2%	5.5%	
家計簿をつける	26.2%	43.9%	17.7%	**
貯金をする	37.3%	55.0%	17.7%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	31.2%	46.1%	14.9%	**
時間に遅れない	63.7%	71.7%	8.0%	**
人との約束を守る	68.6%	84.0%	15.4%	**
社会人としてのマナーを守る	65.2%	83.9%	18.7%	**
あいさつをする	64.0%	81.2%	17.2%	**
人に力を貸す	50.1%	67.2%	17.1%	**
苦手な人ともうまく働く	26.2%	42.7%	16.5%	**
人と交渉する	26.0%	29.6%	3.6%	
わからないことをたずねる	47.0%	64.0%	17.0%	**
人と世間話をする	33.8%	53.3%	19.5%	**
人の話をさえぎらずに聞く	48.1%	59.8%	11.7%	**
できないことは断る	42.3%	42.1%	-0.2%	
友達をつくる	20.7%	37.8%	17.1%	**
新たな職場環境になじむ	26.3%	41.2%	14.9%	**
自分の主張をはっきり言う	31.6%	35.9%	4.3%	
なすべきことを一生懸命やる	57.0%	73.6%	16.6%	**
困難にあってもあきらめない	41.2%	49.6%	8.4%	**
職場の目標やルールは大事にする	54.5%	72.8%	18.3%	**
職場に必要な事柄を勉強する	52.7%	68.4%	15.7%	**
職場に必要な技術を身につける	52.4%	67.4%	15.0%	**
必要があれば新たな職場を見つける	28.8%	43.8%	15.0%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	21.0%	36.0%	15.0%	**
ビジネスマナーを理解している	32.9%	47.2%	14.3%	**
自分の能力を正確に把握する	34.7%	41.7%	7.0%	**
自分の長所・短所を理解する	36.5%	49.3%	12.8%	**
自分の悪いところを直す	20.2%	32.5%	12.3%	**
将来の計画を立てる	20.8%	32.8%	12.0%	**
自分の人生設計を立てる	19.6%	31.9%	12.3%	**
将来の職業生活に備える	17.1%	27.4%	10.3%	**
パソコンでメールのやりとりをする	59.6%	69.2%	9.6%	**
パソコンで必要な情報を検索する	69.4%	75.2%	5.8%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.2%	47.3%	1.1%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は女性－男性。

年齢別に検討した結果、年齢が高い方が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。50代と20代で最も差が大きかったのは「朝、決まった時間にひとりで起きる」であった。以下、「食事を自分で作る」「ビジネスマナーを理解している」「食事を決まった時間にきちんと取る」「時間に遅れない」と続いていた（図表3-4）。

図表3-4 自信がある生活スキル×年齢

	20代 N=440	30代 N=441	40代 N=441	50代 N=442	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	59.1%	66.2%	72.3%	85.5%	26.4%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	52.3%	52.4%	62.1%	73.5%	21.2%	**
部屋をこまめにそうじをする	39.1%	35.6%	35.4%	43.0%	3.9%	
決まったやり方でゴミを出す	57.3%	67.8%	66.9%	74.4%	17.1%	**
食事を自分で作る	46.6%	52.4%	55.8%	69.9%	23.3%	**
定期的に適度な運動をする	32.5%	31.3%	24.7%	37.3%	4.8%	**
家計簿をつける	37.0%	35.4%	32.7%	35.3%	-1.7%	
貯金をする	52.3%	47.4%	40.8%	44.3%	-8.0%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	38.6%	37.9%	35.8%	42.3%	3.7%	
時間に遅れない	60.0%	63.5%	68.3%	79.0%	19.0%	**
人との約束を守る	68.6%	73.7%	77.6%	85.3%	16.7%	**
社会人としてのマナーを守る	66.6%	72.3%	74.8%	84.4%	17.8%	**
あいさつをする	67.0%	67.1%	74.1%	82.1%	15.1%	**
人に力を貸す	53.6%	52.2%	58.7%	69.9%	16.3%	**
苦手な人ともうまく働く	33.9%	29.3%	32.7%	42.1%	8.2%	**
人と交渉する	23.4%	23.6%	25.2%	38.9%	15.5%	**
わからないことをたずねる	48.6%	51.5%	54.9%	67.0%	18.4%	**
人と世間話をする	39.1%	41.7%	41.7%	51.8%	12.7%	**
人の話をさえぎらずに聞く	49.1%	54.4%	50.1%	62.2%	13.1%	**
できないことは断る	33.4%	39.5%	45.4%	50.7%	17.3%	**
友達をつくる	27.3%	25.9%	25.2%	38.7%	11.4%	**
新たな職場環境になじむ	30.9%	29.0%	30.6%	44.6%	13.7%	**
自分の主張をはっきり言う	28.9%	32.0%	32.9%	41.2%	12.3%	**
なすべきことを一生懸命やる	60.2%	64.6%	66.4%	69.9%	9.7%	
困難にあってもあきらめない	42.5%	43.8%	41.3%	54.1%	11.6%	**
職場の目標やルールは大事にする	56.8%	61.9%	63.9%	71.9%	15.1%	**
職場に必要な事柄を勉強する	54.1%	55.6%	61.7%	70.8%	16.7%	**
職場に必要な技術を身につける	54.3%	54.6%	61.0%	69.7%	15.4%	**
必要があれば新たな職場を見つける	35.0%	36.1%	34.5%	39.8%	4.8%	
必要があれば就職活動をうまく行う	26.4%	29.9%	27.0%	30.8%	4.4%	
ビジネスマナーを理解している	30.7%	35.6%	40.8%	53.2%	22.5%	**
自分の能力を正確に把握する	34.5%	37.4%	34.9%	45.9%	11.4%	**
自分の長所・短所を理解する	37.3%	41.7%	41.7%	50.9%	13.6%	**
自分の悪いところを直す	25.0%	25.4%	23.4%	31.7%	6.7%	
将来の計画を立てる	29.8%	25.4%	20.9%	31.2%	1.4%	**
自分の人生設計を立てる	29.1%	24.0%	20.0%	30.1%	1.0%	**
将来の職業生活に備える	27.5%	21.3%	18.8%	21.5%	-6.0%	
パソコンでメールのやりとりをする	59.3%	63.0%	63.0%	72.2%	12.9%	**
パソコンで必要な情報を検索する	68.0%	74.4%	71.0%	75.8%	7.8%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.6%	45.4%	44.0%	51.1%	4.5%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は50代-20代。

既婚・未婚別に検討した結果、既婚者の方が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。既婚者と未婚者で最も大きな差がみられたのは「食事を自分で作る」であった。以下、「あいさつをする」「苦手な人ともうまく働く」「人に力を貸す」「ビジネスマナーを理解している」と続いていた（図表3-5）。

図表3-5 自信がある生活スキル×既婚・未婚

	既婚 N=789	未婚 N=975	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	79.1%	64.1%	15.0%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	71.1%	51.2%	19.9%	**
部屋をこまめにそうじをする	46.9%	31.3%	15.6%	**
決まったやり方でゴミを出す	76.4%	58.7%	17.7%	**
食事を自分で作る	71.7%	43.6%	28.1%	**
定期的に適度な運動をする	37.3%	26.8%	10.5%	**
家計簿をつける	41.4%	29.9%	11.5%	**
貯金をする	53.4%	40.4%	13.0%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	49.0%	30.3%	18.7%	**
時間に遅れない	75.4%	61.4%	14.0%	**
人との約束を守る	86.7%	67.9%	18.8%	**
社会人としてのマナーを守る	85.0%	66.1%	18.9%	**
あいさつをする	84.9%	62.7%	22.2%	**
人に力を貸す	70.2%	49.2%	21.0%	**
苦手な人ともうまく働く	46.1%	25.0%	21.1%	**
人と交渉する	36.2%	20.9%	15.3%	**
わからないことをたずねる	66.3%	46.8%	19.5%	**
人と世間話をする	53.5%	35.6%	17.9%	**
人の話をささげずに聞く	60.1%	49.0%	11.1%	**
できないことは断る	47.8%	37.7%	10.1%	**
友達をつくる	37.6%	22.5%	15.1%	**
新たな職場環境になじむ	43.3%	26.1%	17.2%	**
自分の主張をはっきり言う	41.3%	27.6%	13.7%	**
なすべきことを一生懸命やる	74.3%	58.1%	16.2%	**
困難にあってもあきらめない	53.6%	38.8%	14.8%	**
職場の目標やルールは大事にする	73.9%	55.4%	18.5%	**
職場に必要な事柄を勉強する	70.0%	52.9%	17.1%	**
職場に必要な技術を身につける	70.2%	51.6%	18.6%	**
必要があれば新たな職場を見つける	46.4%	28.2%	18.2%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	37.8%	21.0%	16.8%	**
ビジネスマナーを理解している	51.3%	31.0%	20.3%	**
自分の能力を正確に把握する	46.3%	31.7%	14.6%	**
自分の長所・短所を理解する	52.1%	35.5%	16.6%	**
自分の悪いところを直す	32.6%	21.3%	11.3%	**
将来の計画を立てる	36.5%	19.0%	17.5%	**
自分の人生設計を立てる	35.6%	17.8%	17.8%	**
将来の職業生活に備える	28.5%	17.2%	11.3%	**
パソコンでメールのやりとりをする	71.2%	58.9%	12.3%	**
パソコンで必要な情報を検索する	76.7%	68.7%	8.0%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	49.9%	44.2%	5.7%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は既婚-未婚。

学歴別に検討した結果、学歴が高い方が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。「大学・大学院卒」「短大・高専卒」に共通して「自信がある」と回答した割合が高かったのは「家計簿をつける」「貯金をする」「苦手な人ともうまく働く」「わからないことをたずねる」「ビジネスマナーを理解している」「将来の計画をたてる」「将来の職業生活に備える」であった（図表3-6）

図表3-6 自信がある生活スキル×最終学歴

	大学 大学院卒 N=729	短大 高専卒 N=196	専門専修 各種学校 卒 N=223	高校卒 N=548	中学校卒 N=60	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	73.3%	78.1%	73.1%	66.4%	51.7%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	61.7%	70.4%	54.7%	58.2%	45.0%	**
部屋をこまめにそうじをする	39.4%	43.4%	35.9%	36.7%	33.3%	
決まったやり方でゴミを出す	68.3%	75.5%	62.3%	65.9%	43.3%	**
食事を自分で作る	54.5%	71.9%	52.9%	55.5%	46.7%	**
定期的に適度な運動をする	38.3%	31.6%	28.7%	24.5%	21.7%	**
家計簿をつける	38.8%	44.9%	33.6%	28.6%	23.3%	**
貯金をする	52.7%	58.7%	38.6%	39.1%	23.3%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	45.1%	43.9%	31.8%	32.8%	23.3%	**
時間に遅れない	70.2%	71.9%	66.4%	64.6%	56.7%	
人との約束を守る	77.6%	87.8%	72.2%	73.7%	61.7%	**
社会人としてのマナーを守る	76.5%	84.7%	72.2%	71.5%	53.3%	**
あいさつをする	74.3%	85.7%	68.6%	69.9%	48.3%	**
人に力を貸す	61.0%	71.4%	58.3%	53.5%	33.3%	**
苦手な人ともうまく働く	38.1%	43.9%	30.5%	30.1%	13.3%	**
人と交渉する	32.0%	30.6%	25.6%	23.4%	15.0%	**
わからないことをたずねる	59.4%	64.8%	52.0%	50.5%	35.0%	**
人と世間話をする	45.3%	53.6%	43.0%	40.9%	18.3%	**
人の話をさえぎらずに聞く	56.1%	60.2%	55.2%	50.4%	35.0%	**
できないことは断る	44.6%	49.0%	36.3%	39.2%	38.3%	
友達をつくる	30.7%	39.8%	30.0%	25.4%	10.0%	**
新たな職場環境になじむ	35.5%	40.3%	34.1%	31.6%	11.7%	**
自分の主張をはっきり言う	39.2%	35.2%	29.1%	29.2%	18.3%	**
なすべきことを一生懸命やる	66.4%	74.0%	63.2%	63.9%	45.0%	**
困難にあってもあきらめない	52.1%	49.5%	41.3%	38.9%	26.7%	**
職場の目標やルールは大事にする	64.9%	75.5%	64.6%	60.6%	38.3%	**
職場に必要な事柄を勉強する	62.4%	69.4%	58.7%	58.4%	36.7%	**
職場に必要な技術を身につける	62.8%	69.9%	54.3%	58.0%	33.3%	**
必要があれば新たな職場を見つける	38.3%	45.9%	36.3%	32.8%	15.0%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	31.3%	36.7%	29.6%	23.7%	10.0%	**
ビジネスマナーを理解している	44.7%	50.5%	37.2%	33.6%	16.7%	**
自分の能力を正確に把握する	42.1%	41.8%	38.6%	32.3%	31.7%	**
自分の長所・短所を理解する	47.3%	51.0%	42.2%	35.9%	30.0%	**
自分の悪いところを直す	29.2%	32.1%	26.0%	21.9%	13.3%	**
将来の計画を立てる	30.5%	35.7%	22.4%	21.9%	15.0%	**
自分の人生設計を立てる	28.9%	33.7%	20.2%	21.7%	20.0%	**
将来の職業生活に備える	26.2%	30.1%	22.0%	16.2%	5.0%	**
パソコンでメールのやりとりをする	69.3%	67.3%	67.3%	57.7%	46.7%	**
パソコンで必要な情報を検索する	77.1%	73.5%	72.6%	67.5%	53.3%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	51.6%	48.0%	50.2%	40.3%	31.7%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所は網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

大学・短大・高専における学部・学科別に検討した結果、統計的に有意な明確な結果はあまりみられなかった。一部、「人文科学系」では「食事を自分で作る」「社会人としてのマナーを守る」に「自信がある」と回答した割合が高かった。また、「芸術系」も「食事を自分で作る」に「自信がある」と回答した割合が高かった。一方、「社会科学系」および「工学系」は「食事を自分で作る」に「自信がある」と回答した割合が低かった（図表3-7）。

図表3-7 自信がある生活スキル×大学・短大・高専における学部・学科

	人文 科学系 N=213	社会 科学系 N=248	理学系 N=60	工学系 N=132	農学系 N=18	医療系 N=36	福祉系 N=21	家政系 N=52	教育系 N=43	芸術系 N=37	その他 N=60	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	78.4%	71.0%	65.0%	78.0%	72.2%	77.8%	66.7%	73.1%	76.7%	78.4%	76.7%	
食事を決まった時間にきちんと取る	68.1%	58.1%	55.0%	66.7%	61.1%	72.2%	52.4%	65.4%	60.5%	75.7%	70.0%	
部屋をこまめにそうじをする	46.5%	37.5%	35.0%	31.1%	33.3%	38.9%	52.4%	48.1%	30.2%	54.1%	45.0%	
決まったやり方でゴミを出す	78.9%	67.7%	65.0%	61.4%	61.1%	66.7%	66.7%	76.9%	62.8%	86.5%	66.7%	
食事を自分で作る	69.5%	50.4%	51.7%	43.2%	44.4%	72.2%	61.9%	71.2%	69.8%	83.8%	50.0%	**
定期的に適度な運動をする	42.7%	38.3%	33.3%	31.8%	27.8%	41.7%	47.6%	28.8%	32.6%	37.8%	30.0%	
家計簿をつける	46.9%	35.1%	33.3%	32.6%	16.7%	47.2%	42.9%	46.2%	39.5%	54.1%	46.7%	
貯金をする	53.5%	47.6%	48.3%	49.2%	50.0%	72.2%	47.6%	69.2%	60.5%	64.9%	63.3%	
日々の計画を立てて、計画を守る	46.9%	44.4%	48.3%	38.6%	44.4%	47.2%	33.3%	53.8%	46.5%	45.9%	46.7%	
時間に遅れない	70.9%	71.8%	68.3%	74.2%	61.1%	69.4%	57.1%	69.2%	69.8%	70.3%	76.7%	
人との約束を守る	83.1%	79.0%	66.7%	78.8%	72.2%	86.1%	66.7%	88.5%	81.4%	83.8%	88.3%	
社会人としてのマナーを守る	85.9%	76.6%	66.7%	74.2%	61.1%	83.3%	61.9%	82.7%	81.4%	83.8%	86.7%	**
あいさつをする	84.5%	73.4%	68.3%	71.2%	66.7%	83.3%	66.7%	82.7%	79.1%	89.2%	80.0%	
人に力を貸す	70.0%	59.3%	61.7%	56.1%	66.7%	69.4%	61.9%	71.2%	62.8%	70.3%	66.7%	
苦手な人とうまく働く	44.6%	38.3%	33.3%	35.6%	50.0%	30.6%	38.1%	42.3%	46.5%	40.5%	35.0%	
人と交渉する	32.9%	33.1%	28.3%	31.1%	27.8%	33.3%	42.9%	30.8%	30.2%	29.7%	30.0%	
わからないことをたずねる	70.9%	59.3%	46.7%	56.8%	61.1%	63.9%	42.9%	61.5%	62.8%	62.2%	60.0%	
人と世間話をする	54.0%	46.0%	38.3%	37.9%	38.9%	52.8%	42.9%	44.2%	53.5%	51.4%	56.7%	
人の話をささげらずに聞く	62.4%	57.3%	46.7%	53.8%	61.1%	47.2%	52.4%	57.7%	60.5%	62.2%	61.7%	
できないことは断る	46.9%	45.2%	53.3%	46.2%	38.9%	44.4%	23.8%	50.0%	39.5%	37.8%	56.7%	
友達をつくる	35.7%	29.8%	28.3%	29.5%	38.9%	30.6%	23.8%	38.5%	34.9%	40.5%	38.3%	
新たな職場環境になじむ	37.6%	35.5%	35.0%	32.6%	44.4%	44.4%	38.1%	30.8%	34.9%	45.9%	43.3%	
自分の主張をはっきり言う	34.3%	37.1%	45.0%	41.7%	44.4%	55.6%	28.6%	36.5%	39.5%	37.8%	43.3%	
なすべきことを一生懸命やる	72.3%	64.1%	70.0%	63.6%	72.2%	72.2%	57.1%	75.0%	79.1%	70.3%	71.7%	
困難にあってもあきらめない	52.1%	49.6%	55.0%	55.3%	61.1%	52.8%	33.3%	53.8%	51.2%	59.5%	50.0%	
職場の目標やルールは大事にする	70.0%	62.5%	63.3%	68.9%	66.7%	72.2%	57.1%	75.0%	69.8%	64.9%	75.0%	
職場に必要な事柄を勉強する	70.4%	61.7%	51.7%	59.8%	72.2%	63.9%	47.6%	73.1%	74.4%	59.5%	66.7%	
職場に必要な技術を身につける	68.5%	59.3%	56.7%	65.2%	72.2%	66.7%	38.1%	71.2%	76.7%	70.3%	68.3%	
必要があれば新たな職場を見つける	45.5%	35.9%	41.7%	30.3%	50.0%	58.3%	33.3%	34.6%	39.5%	43.2%	50.0%	
必要があれば就職活動をうまく行う	34.7%	31.5%	33.3%	25.8%	44.4%	50.0%	28.6%	26.9%	27.9%	32.4%	38.3%	
ビジネスマナーを理解している	53.5%	44.4%	33.3%	47.0%	55.6%	47.2%	28.6%	53.8%	34.9%	37.8%	50.0%	
自分の能力を正確に把握する	46.9%	39.5%	31.7%	50.8%	50.0%	41.7%	19.0%	42.3%	39.5%	35.1%	41.7%	
自分の長所・短所を理解する	54.5%	46.8%	41.7%	45.5%	50.0%	47.2%	33.3%	46.2%	55.8%	43.2%	50.0%	
自分の悪いところを直す	36.6%	27.8%	26.7%	22.7%	27.8%	25.0%	23.8%	40.4%	34.9%	27.0%	31.7%	
将来の計画を立てる	35.7%	29.8%	26.7%	27.3%	38.9%	33.3%	33.3%	34.6%	39.5%	24.3%	33.3%	
自分の人生設計を立てる	32.4%	26.6%	31.7%	25.0%	33.3%	36.1%	28.6%	34.6%	34.9%	29.7%	35.0%	
将来の職業生活に備える	28.2%	24.6%	25.0%	24.2%	22.2%	41.7%	28.6%	32.7%	30.2%	21.6%	31.7%	
パソコンでメールのやりとりをする	71.8%	64.1%	76.7%	73.5%	72.2%	61.1%	61.9%	71.2%	76.7%	70.3%	66.7%	
パソコンで必要な情報を検索する	77.5%	71.8%	81.7%	83.3%	72.2%	69.4%	66.7%	78.8%	86.0%	83.8%	73.3%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	50.2%	46.4%	51.7%	60.6%	66.7%	38.9%	38.1%	51.9%	60.5%	59.5%	48.3%	

** p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所¹に網かけ、有意に値が低い箇所²に下線を付した。

専修学校・専門学校・各種学校における学科別に検討した結果、統計的に有意な明確な結果はあまりみられなかった。一部、「衛生関係」では「将来の計画を立てる」に「自信がある」と回答した割合が高かった。一方、「情報処理関係」は「食事を自分で作る」に「自信がある」と回答した割合が低かった。また、「商業実務関係」は「朝、決まった時間にひとりで起きる」と回答した割合が低かった（図表3-8）。

図表3-8 自信がある生活スキル×専修学校・専門学校・各種学校における学科

	医療 関係 N=50	文化・ 教養 関係 その他 N=69	情報 処理 関係 N=104	工業 関係 N=48	衛生 関係 N=19	商業 実務 関係 N=57	教育・ 社会 福祉 関係 N=39	服飾・ 家政 関係 N=26	その他 N=90	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	84.0%	75.4%	70.2%	79.2%	94.7%	54.4%	64.1%	84.6%	72.2%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	60.0%	69.6%	58.7%	60.4%	73.7%	47.4%	59.0%	69.2%	54.4%	
部屋をこまめにそうじをする	40.0%	44.9%	40.4%	45.8%	42.1%	29.8%	48.7%	42.3%	36.7%	
決まったやり方でゴミを出す	58.0%	78.3%	71.2%	70.8%	78.9%	59.6%	71.8%	73.1%	67.8%	
食事を自分で作る	66.0%	66.7%	40.4%	45.8%	84.2%	52.6%	71.8%	65.4%	54.4%	**
定期的に適度な運動をする	38.0%	42.0%	28.8%	29.2%	52.6%	36.8%	41.0%	34.6%	35.6%	
家計簿をつける	42.0%	37.7%	34.6%	27.1%	52.6%	33.3%	59.0%	38.5%	44.4%	
貯金をする	58.0%	52.2%	39.4%	35.4%	68.4%	42.1%	64.1%	61.5%	50.0%	
日々の計画を立てて、計画を守る	44.0%	46.4%	37.5%	37.5%	57.9%	42.1%	51.3%	46.2%	40.0%	
時間に遅れない	70.0%	65.2%	71.2%	79.2%	84.2%	66.7%	69.2%	69.2%	70.0%	
人との約束を守る	82.0%	73.9%	77.9%	79.2%	84.2%	71.9%	76.9%	88.5%	81.1%	
社会人としてのマナーを守る	80.0%	78.3%	74.0%	77.1%	89.5%	71.9%	79.5%	80.8%	77.8%	
あいさつをする	80.0%	76.8%	71.2%	72.9%	89.5%	71.9%	82.1%	84.6%	75.6%	
人に力を貸す	70.0%	65.2%	59.6%	64.6%	78.9%	57.9%	66.7%	76.9%	62.2%	
苦手な人とうまく働く	36.0%	46.4%	29.8%	37.5%	63.2%	40.4%	56.4%	42.3%	31.1%	
人と交渉する	34.0%	36.2%	26.9%	31.3%	57.9%	21.1%	35.9%	30.8%	26.7%	
わからないことをたずねる	60.0%	66.7%	56.7%	58.3%	84.2%	49.1%	61.5%	61.5%	56.7%	
人と世間話をする	48.0%	49.3%	47.1%	37.5%	57.9%	45.6%	61.5%	34.6%	45.6%	
人の話をさえぎらずに聞く	62.0%	50.7%	57.7%	58.3%	68.4%	47.4%	66.7%	53.8%	57.8%	
できないことは断る	40.0%	39.1%	44.2%	56.3%	47.4%	36.8%	43.6%	46.2%	48.9%	
友達をつくる	32.0%	36.2%	28.8%	31.3%	42.1%	35.1%	46.2%	42.3%	38.9%	
新たな職場環境になじむ	32.0%	42.0%	33.7%	29.2%	57.9%	40.4%	48.7%	38.5%	38.9%	
自分の主張をはっきり言う	34.0%	39.1%	34.6%	43.8%	63.2%	33.3%	43.6%	38.5%	32.2%	
なすべきことを一生懸命やる	62.0%	72.5%	65.4%	77.1%	84.2%	66.7%	74.4%	69.2%	63.3%	
困難にあってもあきらめない	42.0%	47.8%	41.3%	58.3%	68.4%	49.1%	61.5%	57.7%	53.3%	
職場の目標やルールは大事にする	66.0%	69.6%	67.3%	68.8%	78.9%	61.4%	71.8%	61.5%	65.6%	
職場で必要な事柄を勉強する	54.0%	63.8%	56.7%	68.8%	89.5%	61.4%	71.8%	65.4%	56.7%	
職場で必要な技術を身につける	52.0%	68.1%	61.5%	68.8%	89.5%	54.4%	69.2%	69.2%	56.7%	
必要があれば新たな職場を見つける	48.0%	40.6%	36.5%	43.8%	63.2%	28.1%	48.7%	42.3%	44.4%	
必要があれば就職活動をうまく行う	40.0%	31.9%	27.9%	20.8%	42.1%	26.3%	41.0%	42.3%	37.8%	
ビジネスマナーを理解している	48.0%	44.9%	44.2%	35.4%	57.9%	43.9%	41.0%	50.0%	41.1%	
自分の能力を正確に把握する	54.0%	39.1%	36.5%	37.5%	52.6%	42.1%	53.8%	38.5%	44.4%	
自分の長所・短所を理解する	50.0%	47.8%	44.2%	33.3%	52.6%	42.1%	64.1%	57.7%	52.2%	
自分の悪いところを直す	30.0%	27.5%	28.8%	25.0%	47.4%	24.6%	35.9%	30.8%	32.2%	
将来の計画を立てる	30.0%	39.1%	22.1%	16.7%	57.9%	33.3%	46.2%	26.9%	28.9%	**
自分の人生設計を立てる	32.0%	34.8%	25.0%	12.5%	47.4%	33.3%	46.2%	30.8%	30.0%	
将来の職業生活に備える	34.0%	27.5%	24.0%	12.5%	42.1%	26.3%	41.0%	23.1%	31.1%	
パソコンでメールのやりとりをする	68.0%	62.3%	78.8%	70.8%	78.9%	68.4%	74.4%	76.9%	70.0%	
パソコンで必要な情報を検索する	72.0%	78.3%	84.6%	81.3%	73.7%	70.2%	82.1%	73.1%	76.7%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.0%	46.4%	60.6%	64.6%	78.9%	42.1%	61.5%	53.8%	51.1%	

統計的に有意な違いなし。なお、医療関係は(看護、理学・作業療法、歯科衛生など)、文化・教養関係その他は(受験・補習、デザイン、法律行政、音楽、動物など)、情報処理関係は(プログラマ、システムエンジニア、Webデザインなど)、工業関係は(自動車整備、土木・建築など)、衛生関係は(美容、調理、製菓・製パンなど)、商業実務関係は(経理・簿記、ビジネス、旅行など)、教育・社会福祉関係は(介護福祉、保育士、社会福祉など)、服飾・家政関係は(和洋裁、ファッションビジネス、家政など)を含む。

高校の学科別に検討した結果、統計的に有意な明確な結果はあまりみられなかった。一部、「工業科」は「食事を自分で作る」「家計簿をつける」「人と世間話をする」に「自信がある」と回答した割合が低かった（図表3-9）。

図表3-9 自信がある生活スキル×高校の学科別

	普通科 N=1274	工業科 N=94	商業科 N=127	その他 N=163	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	72.5%	71.3%	71.7%	68.7%	
食事を決まった時間にきちんと取る	61.1%	58.5%	66.1%	60.1%	
部屋をこまめにそうじをする	38.1%	36.2%	40.9%	41.1%	
決まったやり方でゴミを出す	68.8%	61.7%	71.7%	64.4%	
食事を自分で作る	57.9%	38.3%	61.4%	57.1%	**
定期的に適度な運動をする	32.7%	24.5%	29.1%	33.7%	
家計簿をつける	36.0%	20.2%	38.6%	39.9%	**
貯金をする	47.6%	34.0%	48.8%	50.9%	
日々の計画を立てて、計画を守る	40.2%	25.5%	41.7%	39.9%	
時間に遅れない	67.9%	64.9%	74.0%	71.8%	
人との約束を守る	77.2%	74.5%	79.5%	77.9%	
社会人としてのマナーを守る	76.0%	72.3%	78.0%	75.5%	
あいさつをする	73.6%	72.3%	81.1%	73.6%	
人に力を貸す	59.3%	50.0%	69.3%	63.2%	
苦手な人ともうまく働く	35.6%	27.7%	38.6%	38.0%	
人と交渉する	28.5%	23.4%	26.8%	32.5%	
わからないことをたずねる	58.1%	44.7%	55.9%	54.6%	
人と世間話をする	45.4%	27.7%	51.2%	48.5%	**
人の話をささげらずに聞く	55.7%	50.0%	59.8%	54.6%	
できないことは断る	44.2%	35.1%	38.6%	38.0%	
友達をつくる	29.6%	22.3%	33.9%	34.4%	
新たな職場環境になじむ	34.6%	28.7%	37.8%	36.2%	
自分の主張をはっきり言う	34.9%	29.8%	30.7%	36.2%	
なすべきことを一生懸命やる	67.1%	56.4%	71.7%	64.4%	
困難にあってもあきらめない	46.3%	43.6%	48.0%	46.6%	
職場の目標やルールは大事にする	65.7%	58.5%	70.9%	60.7%	
職場に必要な事柄を勉強する	62.2%	56.4%	62.2%	61.3%	
職場に必要な技術を身につける	61.2%	59.6%	61.4%	62.6%	
必要があれば新たな職場を見つける	36.9%	29.8%	40.9%	40.5%	
必要があれば就職活動をうまく行う	29.5%	18.1%	30.7%	32.5%	
ビジネスマナーを理解している	41.9%	33.0%	48.0%	33.7%	
自分の能力を正確に把握する	38.5%	40.4%	40.9%	36.2%	
自分の長所・短所を理解する	44.3%	40.4%	44.9%	36.8%	
自分の悪いところを直す	27.6%	16.0%	29.1%	26.4%	
将来の計画を立てる	27.6%	17.0%	28.3%	30.1%	
自分の人生設計を立てる	26.1%	17.0%	29.1%	27.6%	
将来の職業生活に備える	23.2%	13.8%	22.0%	26.4%	
パソコンでメールのやりとりをする	66.5%	56.4%	66.1%	65.6%	
パソコンで必要な情報を検索する	74.7%	71.3%	67.7%	72.4%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	48.4%	50.0%	38.6%	49.7%	

** p<0.01。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所は網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

学校時代の資格取得の有無別に検討した結果、資格を取得した者の方が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。学校時代の資格取得の有無で最も大きな差がみられたのは「貯金をする」であり、以下、「必要があれば新たな職場を見つける」「自分の長所・短所を理解する」「人に力を貸す」「ビジネスマナーを理解している」「家計簿をつける」と続いていた（図表3-10）。

図表3-10 自信がある生活スキル×学校時代の資格取得の有無

	学校時代に 資格を取得 N=722	学校時代に 資格を取得 せず N=1042	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	74.5%	68.2%	6.3%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	64.4%	57.1%	7.3%	**
部屋をこまめにそうじをする	41.4%	36.1%	5.3%	
決まったやり方でゴミを出す	69.5%	64.6%	4.9%	
食事を自分で作る	60.7%	53.1%	7.6%	**
定期的に適度な運動をする	34.9%	29.1%	5.8%	**
家計簿をつける	41.1%	30.9%	10.2%	**
貯金をする	53.6%	41.1%	12.5%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	42.9%	35.7%	7.2%	**
時間に遅れない	70.5%	65.7%	4.8%	
人との約束を守る	78.7%	74.7%	4.0%	
社会人としてのマナーを守る	78.0%	72.2%	5.8%	**
あいさつをする	78.0%	68.9%	9.1%	**
人に力を貸す	65.0%	54.2%	10.8%	**
苦手な人ともうまく働く	39.1%	31.3%	7.8%	**
人と交渉する	29.8%	26.4%	3.4%	
わからないことをたずねる	59.1%	53.0%	6.1%	**
人と世間話をする	47.6%	40.8%	6.8%	**
人の話をさえぎらずに聞く	57.5%	51.5%	6.0%	
できないことは断る	40.3%	43.6%	-3.3%	
友達をつくる	34.5%	25.6%	8.9%	**
新たな職場環境になじむ	39.2%	30.0%	9.2%	**
自分の主張をはっきり言う	35.5%	32.5%	3.0%	
なすべきことを一生懸命やる	69.5%	62.4%	7.1%	**
困難にあってもあきらめない	50.0%	42.2%	7.8%	**
職場の目標やルールは大事にする	69.0%	60.0%	9.0%	**
職場に必要な事柄を勉強する	65.9%	56.8%	9.1%	**
職場に必要な技術を身につける	64.4%	56.8%	7.6%	**
必要があれば新たな職場を見つける	43.5%	31.4%	12.1%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	34.3%	24.5%	9.8%	**
ビジネスマナーを理解している	46.4%	35.7%	10.7%	**
自分の能力を正確に把握する	43.8%	34.4%	9.4%	**
自分の長所・短所を理解する	49.4%	38.4%	11.0%	**
自分の悪いところを直す	30.9%	23.2%	7.7%	**
将来の計画を立てる	31.4%	23.6%	7.8%	**
自分の人生設計を立てる	29.6%	23.1%	6.5%	**
将来の職業生活に備える	27.3%	18.8%	8.5%	**
パソコンでメールのやりとりをする	69.0%	61.2%	7.8%	**
パソコンで必要な情報を検索する	76.6%	69.3%	7.3%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	51.5%	43.5%	8.0%	**

** p<0.1 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は資格取得－資格取得せず。

学校時代に取得した資格別に検討した結果、「資格あり」の者は、概して、「自信がある」と回答した割合が高かった。特に、「医療保健衛生」「事務処理関係（簿記・パソコン）」「海外・国際関係」の資格を取得している者は、そうでない者に比べて「自信がある」と回答した割合が高かった。（図表3-11）。

図表3-11 自信がある生活スキル×学校時代に取得した資格

技術・情報処理関係	資格なし	資格あり	sig.
新しい道具や機能をうまく使いこなす	45.4%	63.5%	**

医療保健衛生	資格なし	資格あり	sig.
食事を自分で作る	55.5%	81.8%	**
貯金をする	45.7%	65.9%	**
人に力を貸す	58.0%	81.8%	**
人と交渉する	27.3%	45.5%	**
新たな職場環境になじむ	33.3%	52.3%	**
自分の主張をはっきり言う	33.3%	52.3%	**
必要があれば新たな職場を見つける	35.8%	56.8%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	27.8%	54.5%	**
ビジネスマナーを理解している	39.6%	59.1%	**
自分の人生設計を立てる	25.3%	45.5%	**
将来の職業生活に備える	21.7%	45.5%	**

社会福祉	資格なし	資格あり	sig.
部屋をこまめにそうじをする	37.7%	65.7%	**
定期的に適度な運動をする	31.0%	54.3%	**
家計簿をつける	34.5%	62.9%	**
将来の職業生活に備える	21.8%	45.7%	**

事務処理関係（簿記・パソコンなど）	資格なし	資格あり	sig.
決まったやり方でゴミを出す	65.1%	73.9%	**
家計簿をつける	33.4%	43.2%	**
貯金をする	44.4%	54.5%	**
あいさつをする	71.0%	80.0%	**
人に力を貸す	56.7%	67.4%	**
人と世間話をする	41.7%	52.6%	**
友達をつくる	27.9%	35.8%	**
新たな職場環境になじむ	32.1%	41.6%	**
なすべきことを一生懸命やる	63.9%	71.9%	**
職場の目標やルールは大事にする	62.2%	70.3%	**
必要があれば新たな職場を見つける	34.7%	43.9%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	27.1%	35.2%	**
ビジネスマナーを理解している	38.1%	49.4%	**

営業・販売・サービス・保安関係	資格なし	資格あり	sig.
朝、決まった時間にひとり起きて起きる	71.1%	45.8%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	60.5%	29.2%	**

運輸（運転・操縦）、通信関係 （統計的に有意な質問項目なし）	資格なし	資格あり	sig.
製造関連技能 （統計的に有意な質問項目なし）			
定置機関（ボイラー・クレーンなど）、建設機 運転、電気・建設、土木工事、その他関連 （統計的に有意な質問項目なし）	資格なし	資格あり	sig.

海外・国際関係	資格なし	資格あり	sig.
部屋をこまめにそうじをする	37.4%	58.1%	**
定期的に適度な運動をする	30.6%	51.4%	**
家計簿をつける	34.3%	52.7%	**
貯金をする	45.4%	64.9%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	37.9%	56.8%	**
人の話をさえぎらずに聞く	53.2%	71.6%	**
友達をつくる	28.5%	47.3%	**
新たな職場環境になじむ	33.0%	51.4%	**
なすべきことを一生懸命やる	64.7%	79.7%	**
困難にあってもあきらめない	44.6%	64.9%	**
職場に必要な事柄を勉強する	59.8%	77.0%	**
職場に必要な技術を身につける	59.3%	74.3%	**
必要があれば新たな職場を見つける	35.4%	56.8%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	27.8%	45.9%	**
ビジネスマナーを理解している	39.2%	60.8%	**
自分の能力を正確に把握する	37.2%	62.2%	**
自分の長所・短所を理解する	42.0%	63.5%	**
自分の悪いところを直す	25.6%	43.2%	**
将来の計画を立てる	25.7%	52.7%	**
自分の人生設計を立てる	24.7%	50.0%	**
将来の職業生活に備える	21.4%	43.2%	**
パソコンでメールのやりとりをする	63.6%	83.8%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.1%	62.2%	**

** p<.01。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所を網かけを付した。

おもな家計負担者別に検討した結果、「おもに配偶者」と回答した者は、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。逆に、「おもに親」と回答した者は、概して「自信がある」と回答した割合が低かった。「おもに親」と回答した者と「おもに自分」と回答した者で最も差が大きかったのは「ビジネスマナーを理解している」であり、以下、「困難にあってもあきらめない」「人と交渉する」「人に力を貸す」「食事を自分で作る」「自分の能力を正確に把握する」と続いていた（図表3-12）。

図表3-12 自信がある生活スキル×おもな家計負担者

	おもに 自分 N=619	おもに 配偶者 N=477	自分と 配偶者 半々 N=103	おもに 親 N=476	その他 N=89	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	72.2%	79.7%	78.6%	60.1%	61.8%	12.1%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	57.2%	74.2%	57.3%	50.8%	57.3%	6.4%	**
部屋をこまめにそうじをする	34.9%	51.4%	42.7%	28.8%	37.1%	6.1%	**
決まったやり方でゴミを出す	64.1%	84.1%	68.0%	52.5%	64.0%	11.6%	**
食事を自分で作る	50.6%	84.3%	62.1%	34.9%	51.7%	15.7%	**
定期的に適度な運動をする	31.8%	39.2%	31.1%	23.9%	28.1%	7.9%	**
家計簿をつける	33.9%	46.1%	35.0%	25.8%	33.7%	8.1%	**
貯金をする	43.9%	57.9%	48.5%	38.0%	40.4%	5.9%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	36.2%	53.7%	41.7%	27.9%	29.2%	8.3%	**
時間に遅れない	65.4%	76.9%	72.8%	60.7%	65.2%	4.7%	**
人との約束を守る	73.5%	90.6%	79.6%	67.0%	65.2%	6.5%	**
社会人としてのマナーを守る	72.7%	89.1%	77.7%	63.7%	64.0%	9.0%	**
あいさつをする	71.4%	87.8%	82.5%	59.2%	59.6%	12.2%	**
人に力を貸す	59.9%	73.2%	62.1%	43.9%	46.1%	16.0%	**
苦手な人ともうまく働く	34.1%	47.4%	44.7%	20.6%	30.3%	13.5%	**
人と交渉する	31.7%	34.2%	35.9%	14.9%	25.8%	16.8%	**
わからないことをたずねる	55.6%	69.2%	63.1%	41.6%	47.2%	14.0%	**
人と世間話をする	41.0%	59.3%	47.6%	31.7%	36.0%	9.3%	**
人の話をささげらずに聞く	53.3%	63.3%	55.3%	45.8%	50.6%	7.5%	**
できないことは断る	43.9%	47.2%	42.7%	36.6%	33.7%	7.3%	**
友達をつくる	28.3%	40.7%	29.1%	19.5%	27.0%	8.8%	**
新たな職場環境になじむ	34.4%	46.3%	31.1%	21.0%	33.7%	13.4%	**
自分の主張をはっきり言う	36.5%	41.1%	38.8%	22.5%	29.2%	14.0%	**
なすべきことを一生懸命やる	62.8%	79.0%	63.1%	56.7%	57.3%	6.1%	**
困難にあってもあきらめない	49.1%	53.9%	46.6%	31.7%	46.1%	17.4%	**
職場の目標やルールは大事にする	62.4%	78.0%	59.2%	52.5%	60.7%	9.9%	**
職場に必要な事柄を勉強する	59.5%	73.4%	62.1%	49.6%	56.2%	9.9%	**
職場に必要な技術を身につける	59.5%	72.7%	60.2%	48.3%	56.2%	11.2%	**
必要があれば新たな職場を見つける	35.7%	50.9%	35.0%	23.3%	33.7%	12.4%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	29.4%	41.7%	21.4%	16.2%	25.8%	13.2%	**
ビジネスマナーを理解している	43.5%	51.6%	40.8%	24.6%	37.1%	18.9%	**
自分の能力を正確に把握する	41.4%	46.3%	37.9%	26.3%	37.1%	15.1%	**
自分の長所・短所を理解する	44.3%	53.9%	46.6%	30.0%	39.3%	14.3%	**
自分の悪いところを直す	25.2%	36.1%	24.3%	18.5%	27.0%	6.7%	**
将来の計画を立てる	27.3%	38.4%	24.3%	16.0%	22.5%	11.3%	**
自分の人生設計を立てる	26.5%	36.5%	26.2%	14.5%	23.6%	12.0%	**
将来の職業生活に備える	23.4%	29.6%	17.5%	14.3%	23.6%	9.1%	**
パソコンでメールのやりとりをする	65.1%	71.9%	69.9%	57.1%	51.7%	8.0%	**
パソコンで必要な情報を検索する	73.8%	77.1%	69.9%	67.9%	61.8%	5.9%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	51.9%	47.8%	46.6%	38.7%	49.4%	13.2%	**

** p<0.1。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おもに自分」-「おもに親」。

最近1年間の税込個人年収別に検討した結果、年収が高いほど、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。特に「600万～」と「～100万」で最も差が大きかったのは「ビジネスマナーを理解している」であった。以下、「人と交渉する」「困難にあってもあきらめない」「自分の能力を正確に把握する」「定期的に適度な運動をする」と続いていた。なお、「収入なし」の者は「食事を自分で作る」に「自信がある」と回答した割合が高かった（図表3-13）。

図表3-13 自信がある生活スキル×最近1年間の税込み個人年収

	収入 なし N=523	～100万 N=408	～200万 N=253	～300万 N=196	～400万 N=143	～600万 N=126	600万～ N=115	差	sig.
朝、決まった時間にひとり起きて	66.9%	67.9%	72.3%	69.9%	77.6%	81.0%	77.4%	9.5%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	62.0%	57.6%	58.1%	56.6%	60.1%	61.9%	68.7%	11.1%	
部屋をこまめにそうじをする	40.9%	37.0%	34.8%	38.3%	36.4%	33.3%	46.1%	9.1%	
決まったやり方でゴミを出す	69.6%	68.6%	66.0%	62.2%	62.2%	64.3%	62.6%	-6.0%	
食事を自分で作る	64.1%	57.6%	55.7%	49.0%	50.3%	45.2%	47.8%	-9.8%	**
定期的に適度な運動をする	30.4%	28.2%	25.7%	31.1%	37.1%	36.5%	48.7%	20.5%	**
家計簿をつける	36.7%	34.1%	31.6%	31.6%	37.1%	40.5%	36.5%	2.4%	
貯金をする	43.6%	44.1%	41.9%	47.4%	49.0%	60.3%	53.9%	9.8%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	41.9%	34.8%	31.6%	33.7%	43.4%	40.5%	53.9%	19.1%	**
時間に遅れない	67.7%	65.4%	68.0%	64.8%	67.1%	72.2%	75.7%	10.3%	
人との約束を守る	77.2%	74.0%	75.9%	74.0%	76.9%	77.8%	82.6%	8.6%	
社会人としてのマナーを守る	74.4%	71.1%	76.7%	71.9%	76.9%	79.4%	79.1%	8.0%	
あいさつをする	71.9%	69.9%	74.3%	70.4%	75.5%	77.0%	77.4%	7.5%	
人に力を貸す	58.1%	53.2%	60.9%	59.7%	61.5%	57.1%	71.3%	18.1%	
苦手な人とうまく働く	33.5%	29.2%	36.4%	33.7%	43.4%	31.0%	47.8%	18.6%	**
人と交渉する	23.9%	22.8%	28.1%	24.0%	35.7%	34.1%	52.2%	29.4%	**
わからないことをたずねる	51.8%	52.7%	59.3%	53.1%	63.6%	60.3%	62.6%	9.9%	
人と世間話をする	43.0%	41.9%	41.5%	38.8%	54.5%	44.4%	50.4%	8.5%	
人の話をさげざらせずに聞く	53.3%	53.4%	58.1%	50.5%	53.8%	54.0%	55.7%	2.3%	
できないことは断る	42.1%	40.2%	43.1%	37.8%	48.3%	42.9%	47.8%	7.6%	
友達をつくる	27.2%	24.8%	34.4%	28.6%	33.6%	30.2%	38.3%	13.5%	
新たな職場環境になじむ	31.4%	28.9%	37.2%	35.2%	38.5%	34.9%	45.2%	16.3%	
自分の主張をはっきり言う	31.9%	28.9%	34.0%	31.6%	36.4%	42.9%	48.7%	19.8%	**
なすべきことを一生懸命やる	65.0%	63.5%	69.6%	63.3%	65.7%	62.7%	69.6%	6.1%	
困難にあってもあきらめない	41.3%	41.9%	48.6%	41.3%	50.3%	51.6%	63.5%	21.6%	**
職場の目標やルールは大事にする	63.9%	59.8%	68.4%	59.7%	65.7%	62.7%	71.3%	11.5%	
職場に必要な事柄を勉強する	60.2%	58.8%	60.9%	56.1%	65.0%	61.1%	68.7%	9.9%	
職場に必要な技術を身につける	59.8%	57.1%	58.9%	54.6%	62.2%	68.3%	69.6%	12.5%	
必要があれば新たな職場を見つける	34.6%	36.0%	38.7%	34.2%	42.0%	34.9%	38.3%	2.3%	
必要があれば就職活動をうまく行う	26.0%	28.2%	26.9%	31.1%	33.6%	27.8%	34.8%	6.6%	
ビジネスマナーを理解している	35.4%	35.5%	38.7%	39.3%	49.7%	44.4%	65.2%	29.7%	**
自分の能力を正確に把握する	35.2%	33.8%	35.2%	36.2%	46.2%	50.0%	54.8%	21.0%	**
自分の長所・短所を理解する	40.2%	39.7%	44.3%	36.2%	49.0%	53.2%	56.5%	16.8%	**
自分の悪いところを直す	27.3%	24.0%	26.1%	21.9%	30.1%	19.0%	41.7%	17.7%	**
将来の計画を立てる	25.8%	24.3%	27.3%	22.4%	30.1%	29.4%	40.0%	15.7%	
自分の人生設計を立てる	24.9%	22.3%	26.9%	20.9%	29.4%	27.8%	41.7%	19.4%	**
将来の職業生活に備える	19.5%	20.8%	23.3%	23.0%	27.3%	18.3%	34.8%	14.0%	
パソコンでメールのやりとりをする	63.1%	62.5%	63.6%	57.7%	65.7%	77.0%	74.8%	12.3%	**
パソコンで必要な情報を検索する	69.8%	72.1%	72.7%	67.9%	74.1%	81.0%	79.1%	7.0%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	41.5%	45.6%	46.6%	45.4%	55.2%	57.1%	55.7%	10.1%	**

** p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「600万～」-「～100万」。

現在の立場・身分別に検討した結果、「正社員」および「求職者」で、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。「求職者」と「正社員」では「求職者」の方が「自信がある」と回答した割合が高かった。特に最も差が大きかったのは「食事を自分で作る」であった。以下、「決まったやり方でゴミを出す」「なすべきことを一生懸命やる」「職場に必要な事柄を勉強する」「職場の目標やルールは大事にする」と続いていた。なお、「正社員」の方が「求職者」よりも「自信がある」と回答した割合が高かったのは「自分の能力を正確に把握する」であった（図表3-14）。

図表3-14 自信がある生活スキル×現在の立場・身分

	正社員 N=439	非正社員 N=442	求職者 N=413	無業者 N=455	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	74.3%	73.8%	69.7%	65.7%	-4.6%	
食事を決まった時間にきちんと取る	58.8%	59.0%	64.6%	58.0%	5.8%	
部屋をこまめにそうじをする	38.0%	35.1%	43.6%	37.6%	5.6%	
決まったやり方でゴミを出す	63.8%	63.6%	73.1%	66.4%	9.3%	
食事を自分で作る	49.4%	50.9%	64.9%	59.8%	15.5%	**
定期的に適度な運動をする	34.9%	27.4%	35.4%	29.2%	0.5%	
家計簿をつける	35.8%	29.4%	39.5%	36.3%	3.7%	
貯金をする	53.3%	41.6%	46.5%	44.4%	-6.8%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	41.5%	32.6%	42.4%	39.1%	0.9%	
時間に遅れない	67.4%	66.3%	73.4%	64.4%	6.0%	
人との約束を守る	77.7%	73.1%	80.4%	74.3%	2.7%	
社会人としてのマナーを守る	76.5%	73.1%	77.7%	71.2%	1.2%	
あいさつをする	74.0%	72.6%	76.8%	67.9%	2.8%	
人に力を貸す	63.6%	55.7%	65.9%	50.5%	2.3%	**
苦手な人とうまく働く	39.9%	29.9%	40.4%	28.4%	0.5%	**
人と交渉する	35.8%	23.3%	29.5%	23.5%	-6.3%	**
わからないことをたずねる	57.6%	56.1%	61.0%	48.1%	3.4%	**
人と世間話をする	47.6%	40.3%	47.9%	39.3%	0.3%	
人の話をさげざらせずに聞く	54.9%	51.8%	58.4%	51.4%	3.5%	
できないことは断る	42.4%	38.9%	45.3%	42.9%	2.9%	
友達をつくる	33.3%	26.0%	34.4%	24.0%	1.1%	**
新たな職場環境になじむ	37.6%	31.2%	42.1%	25.1%	4.5%	**
自分の主張をはっきり言う	37.6%	29.6%	36.3%	32.1%	-1.3%	
なすべきことを一生懸命やる	64.7%	64.0%	73.8%	59.3%	9.1%	**
困難にあってもあきらめない	51.5%	44.1%	50.6%	36.5%	-0.9%	**
職場の目標やルールは大事にする	64.5%	62.9%	71.7%	56.7%	7.2%	**
職場に必要な事柄を勉強する	62.9%	57.0%	71.7%	52.1%	8.8%	**
職場に必要な技術を身につける	64.7%	53.8%	69.5%	53.4%	4.8%	**
必要があれば新たな職場を見つける	35.5%	38.0%	40.9%	31.9%	5.4%	
必要があれば就職活動をうまく行う	29.4%	29.6%	29.8%	25.5%	0.4%	
ビジネスマナーを理解している	48.1%	35.3%	42.6%	34.9%	-5.5%	**
自分の能力を正確に把握する	45.3%	34.4%	37.8%	36.3%	-7.5%	**
自分の長所・短所を理解する	49.4%	38.7%	43.8%	40.9%	-5.6%	**
自分の悪いところを直す	27.1%	25.1%	31.2%	22.4%	4.1%	
将来の計画を立てる	31.0%	23.8%	30.3%	23.1%	-0.7%	
自分の人生設計を立てる	30.1%	23.1%	28.3%	22.6%	-1.8%	
将来の職業生活に備える	26.7%	20.8%	26.6%	16.0%	-0.1%	
パソコンでメールのやりとりをする	67.4%	62.4%	70.2%	58.2%	2.8%	**
パソコンで必要な情報を検索する	74.9%	70.8%	77.7%	66.6%	2.8%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	52.2%	47.5%	49.4%	39.1%	-2.8%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「求職者」-「正社員」

勤務先の業種別に検討した結果、以下の箇所で「自信がある」と回答した割合が高かった。

- ①「情報通信業」は「できないことは断る」と回答した割合が高かった。②「金融・保険業」は「貯金をする」「自分の能力を正確に把握する」と回答した割合が高かった。③「飲食店・宿泊業」および「医療、福祉」は「食事を自分で作る」と回答した割合が高かった。④「教育、学習支援業」は「貯金をする」「困難にあってもあきらめない」「将来の計画を立てる」「自分の人生設計を立てる」「将来の職業生活に備える」と回答した割合が高かった（図表3-15）。

図表3-15 自信がある生活スキル×勤務先の業種

	建設業 N=33	製造業 N=142	情報 通信業 N=47	運輸業 N=42	卸売・ 小売業 N=116	金融・ 保険業 N=23	飲食店 宿泊業 N=31	医療、 福祉 N=73	教育、 学習 支援業 N=57	その他 のサー ビス業 N=171	公務 N=31	その他 N=93	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	66.7%	79.6%	74.5%	83.3%	69.0%	73.9%	77.4%	76.7%	86.0%	70.2%	74.2%	65.6%	
食事を決まった時間にきちんと取る	48.5%	62.7%	57.4%	64.3%	54.3%	56.5%	64.5%	60.3%	80.7%	55.0%	67.7%	49.5%	
部屋をこまめにそうじをする	42.4%	28.9%	40.4%	35.7%	30.2%	30.4%	54.8%	35.6%	40.4%	36.3%	45.2%	43.0%	
決まったやり方でゴミを出す	57.6%	61.3%	59.6%	73.8%	65.5%	69.6%	74.2%	57.5%	70.2%	61.4%	74.2%	65.6%	
食事を自分で作る	48.5%	40.1%	51.1%	52.4%	44.0%	60.9%	80.6%	65.8%	64.9%	46.8%	45.2%	52.7%	**
定期的に適度な運動をする	33.3%	26.8%	40.4%	31.0%	24.1%	34.8%	32.3%	28.8%	40.4%	29.8%	41.9%	31.2%	
家計簿をつける	21.2%	31.7%	40.4%	19.0%	33.6%	39.1%	48.4%	35.6%	45.6%	28.1%	41.9%	30.1%	
貯金をする	42.4%	43.0%	51.1%	31.0%	44.0%	73.9%	61.3%	49.3%	64.9%	42.1%	64.5%	44.1%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	36.4%	38.7%	44.7%	38.1%	32.8%	43.5%	32.3%	34.2%	54.4%	33.3%	38.7%	31.2%	
時間に遅れない	60.6%	69.0%	70.2%	64.3%	70.7%	69.6%	71.0%	68.5%	82.5%	57.3%	67.7%	64.5%	
人との約束を守る	66.7%	77.5%	80.9%	66.7%	76.7%	73.9%	71.0%	78.1%	89.5%	72.5%	83.9%	66.7%	
社会人としてのマナーを守る	66.7%	78.2%	78.7%	64.3%	72.4%	73.9%	77.4%	76.7%	94.7%	70.2%	83.9%	66.7%	
あいさつをする	72.7%	77.5%	70.2%	73.8%	65.5%	60.9%	87.1%	79.5%	89.5%	69.6%	74.2%	67.7%	
人に力を貸す	57.6%	63.4%	55.3%	61.9%	52.6%	52.2%	67.7%	68.5%	68.4%	58.5%	58.1%	50.5%	
苦手な人ともうまく働く	24.2%	36.6%	42.6%	33.3%	27.6%	43.5%	48.4%	31.5%	47.4%	33.9%	38.7%	29.0%	
人と交渉する	24.2%	27.5%	36.2%	23.8%	19.0%	47.8%	38.7%	21.9%	43.9%	32.2%	29.0%	24.7%	
わからないことをたずねる	57.6%	56.3%	63.8%	57.1%	45.7%	60.9%	64.5%	56.2%	70.2%	54.4%	54.8%	57.0%	
人と世間話をする	45.5%	42.3%	40.4%	40.5%	37.9%	52.2%	54.8%	39.7%	54.4%	48.0%	48.4%	37.6%	
人の話をさげざらせずに聞く	54.5%	51.4%	59.6%	40.5%	52.6%	47.8%	61.3%	47.9%	66.7%	55.6%	61.3%	47.3%	
できないことは断る	42.4%	39.4%	70.2%	42.9%	32.8%	21.7%	45.2%	37.0%	52.6%	39.2%	41.9%	36.6%	**
友達をつくる	33.3%	34.5%	25.5%	21.4%	18.1%	26.1%	45.2%	28.8%	42.1%	29.2%	35.5%	26.9%	
新たな職場環境になじむ	39.4%	33.1%	31.9%	31.0%	27.6%	34.8%	45.2%	38.4%	40.4%	34.5%	38.7%	31.2%	
自分の主張をはっきり言う	42.4%	33.1%	40.4%	33.3%	25.9%	39.1%	45.2%	28.8%	38.6%	29.2%	35.5%	33.3%	
なすべきことを一生懸命やる	51.5%	72.5%	61.7%	61.9%	68.1%	65.2%	80.6%	61.6%	73.7%	55.0%	67.7%	59.1%	
困難にあってもあきらめない	42.4%	55.6%	48.9%	38.1%	40.5%	47.8%	67.7%	37.0%	66.7%	45.0%	51.6%	39.8%	**
職場の目標やルールは大事にする	51.5%	68.3%	55.3%	52.4%	65.5%	65.2%	74.2%	64.4%	75.4%	60.2%	77.4%	57.0%	
職場で必要な事柄を勉強する	51.5%	34.5%	42.6%	50.0%	42.2%	39.1%	32.3%	41.1%	21.1%	46.2%	38.7%	40.9%	
職場で必要な技術を身につける	45.5%	68.3%	61.7%	47.6%	56.0%	60.9%	64.5%	56.2%	75.4%	55.0%	64.5%	51.6%	
必要があれば新たな職場を見つける	27.3%	30.3%	36.2%	38.1%	31.9%	39.1%	58.1%	43.8%	50.9%	36.8%	25.8%	33.3%	
必要があれば就職活動をうまく行う	21.2%	25.4%	27.7%	19.0%	25.0%	39.1%	38.7%	41.1%	40.4%	31.0%	19.4%	26.9%	
ビジネスマナーを理解している	36.4%	45.1%	46.8%	45.2%	35.3%	60.9%	35.5%	42.5%	45.6%	39.2%	41.9%	36.6%	
自分の能力を正確に把握する	36.4%	46.5%	44.7%	31.0%	34.5%	65.2%	58.1%	41.1%	49.1%	29.2%	45.2%	31.2%	**
自分の長所・短所を理解する	39.4%	47.2%	48.9%	45.2%	31.9%	60.9%	61.3%	46.6%	57.9%	34.5%	51.6%	39.8%	**
自分の悪いところを直す	18.2%	26.1%	25.5%	23.8%	24.1%	26.1%	35.5%	28.8%	47.4%	20.5%	22.6%	25.8%	
将来の計画を立てる	24.2%	23.9%	27.7%	21.4%	20.7%	47.8%	45.2%	27.4%	47.4%	24.6%	32.3%	21.5%	**
自分の人生設計を立てる	24.2%	24.6%	29.8%	19.0%	18.1%	47.8%	38.7%	26.0%	45.6%	21.6%	38.7%	21.5%	**
将来の職業生活に備える	21.2%	22.5%	21.3%	21.4%	18.1%	17.4%	32.3%	34.2%	42.1%	18.1%	29.0%	18.3%	**
パソコンでメールのやりとりをする	63.6%	64.1%	83.0%	64.3%	56.9%	52.2%	74.2%	61.6%	77.2%	66.1%	74.2%	57.0%	
パソコンで必要な情報を検索する	66.7%	73.9%	85.1%	71.4%	65.5%	69.6%	80.6%	65.8%	91.2%	74.3%	80.6%	64.5%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	54.5%	53.5%	51.1%	42.9%	42.2%	30.4%	67.7%	43.8%	59.6%	50.3%	58.1%	46.2%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

現在の職業別に検討した結果、「管理的職業」に就いている者を中心に統計的に有意な結果がみられた。特に、「管理的職業」に就いている者は「定期的に適度な運動をする」「人と交渉する」「ビジネスマナーを理解している」に「自信がある」と回答した割合が高かった。また、「販売の職業」に就いている者は「自分の長所・短所を理解する」に「自信がある」と回答する割合が低かった。さらに「生産工程、建設、軽作業などの仕事」に就いている者は「ビジネスマナーを理解している」に「自信がある」と回答する割合が低かった(図表3-16)。

図表3-16 自信がある生活スキル×現在の職業

	専門的 技術的 職業 N=194	管理的 職業 N=37	事務的 職業 N=244	販売の 職業 N=75	サービ スの 職業 N=93	運輸 通信の 職業 N=25	生産 工程 建設 軽作業 などの 仕事 N=79	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	74.7%	83.8%	75.4%	73.3%	71.0%	88.0%	72.2%	
食事を決まった時間にきちんと取る	62.4%	64.9%	58.6%	52.0%	55.9%	60.0%	63.3%	
部屋をこまめにそうじをする	37.1%	48.6%	35.2%	29.3%	43.0%	40.0%	31.6%	
決まったやり方でゴミを出す	62.4%	59.5%	68.0%	64.0%	63.4%	76.0%	54.4%	
食事を自分で作る	55.7%	43.2%	50.4%	49.3%	55.9%	52.0%	36.7%	
定期的に適度な運動をする	34.0%	51.4%	33.6%	18.7%	26.9%	36.0%	21.5%	**
家計簿をつける	35.6%	45.9%	39.3%	30.7%	31.2%	24.0%	17.7%	
貯金をする	56.2%	45.9%	51.2%	46.7%	46.2%	32.0%	32.9%	
日々の計画を立てて、計画を守る	43.8%	54.1%	37.7%	34.7%	31.2%	40.0%	29.1%	
時間に遅れない	65.5%	83.8%	66.8%	69.3%	64.5%	76.0%	65.8%	
人との約束を守る	76.8%	86.5%	80.3%	77.3%	68.8%	76.0%	70.9%	
社会人としてのマナーを守る	74.7%	89.2%	79.5%	69.3%	72.0%	76.0%	73.4%	
あいさつをする	74.2%	83.8%	75.4%	68.0%	71.0%	84.0%	70.9%	
人に力を貸す	60.8%	67.6%	62.7%	57.3%	62.4%	64.0%	53.2%	
苦手な人ともうまく働く	39.2%	45.9%	36.1%	34.7%	34.4%	32.0%	31.6%	
人と交渉する	33.0%	62.2%	28.7%	20.0%	35.5%	20.0%	20.3%	**
わからないことをたずねる	57.7%	59.5%	59.0%	49.3%	61.3%	60.0%	54.4%	
人と世間話をする	45.4%	51.4%	48.8%	40.0%	48.4%	36.0%	34.2%	
人の話をさえぎらずに聞く	53.6%	54.1%	55.7%	60.0%	59.1%	56.0%	49.4%	
できないことは断る	45.4%	32.4%	41.4%	34.7%	40.9%	48.0%	38.0%	
友達をつくる	34.5%	32.4%	30.7%	18.7%	37.6%	20.0%	26.6%	
新たな職場環境になじむ	38.7%	40.5%	37.7%	29.3%	38.7%	32.0%	24.1%	
自分の主張をはっきり言う	37.6%	54.1%	33.6%	26.7%	36.6%	40.0%	22.8%	
なすべきことを一生懸命やる	66.0%	75.7%	63.9%	68.0%	61.3%	64.0%	72.2%	
困難にあってもあきらめない	54.1%	70.3%	48.8%	42.7%	52.7%	36.0%	46.8%	
職場の目標やルールは大事にする	64.9%	81.1%	66.4%	66.7%	61.3%	48.0%	65.8%	
職場で必要な事柄を勉強する	60.8%	81.1%	62.3%	61.3%	57.0%	48.0%	64.6%	
職場で必要な技術を身につける	66.0%	81.1%	57.4%	58.7%	53.8%	52.0%	65.8%	
必要があれば新たな職場を見つける	40.7%	48.6%	34.8%	32.0%	44.1%	44.0%	29.1%	
必要があれば就職活動をうまく行う	35.6%	37.8%	31.1%	29.3%	35.5%	20.0%	19.0%	
ビジネスマナーを理解している	46.9%	70.3%	49.6%	36.0%	32.3%	48.0%	29.1%	**
自分の能力を正確に把握する	46.9%	62.2%	41.8%	36.0%	32.3%	36.0%	35.4%	
自分の長所・短所を理解する	50.0%	64.9%	49.6%	30.7%	36.6%	44.0%	38.0%	**
自分の悪いところを直す	28.4%	35.1%	29.9%	25.3%	23.7%	20.0%	21.5%	
将来の計画を立てる	32.0%	45.9%	26.6%	24.0%	32.3%	28.0%	17.7%	
自分の人生設計を立てる	30.9%	43.2%	27.0%	21.3%	28.0%	24.0%	19.0%	
将来の職業生活に備える	26.8%	37.8%	25.0%	18.7%	26.9%	20.0%	11.4%	
パソコンでメールのやりとりをする	72.2%	81.1%	68.4%	60.0%	64.5%	60.0%	59.5%	
パソコンで必要な情報を検索する	77.8%	83.8%	77.9%	69.3%	69.9%	72.0%	68.4%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	53.1%	64.9%	51.2%	49.3%	48.4%	40.0%	49.4%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。なお、専門的・技術的職業は「教師・看護師・エンジニア・デザイナーなど」、管理的職業は「会社や役所での課長・部長以上など」、事務的職業は「会社や役所での一般事務・経理・内勤の営業など」、販売の職業は「小売店やコンビニなどでの販売や外勤のセールス・不動産売買など」、サービスの職業は「接客、飲食物調理、理容師・美容師、パチンコ店店員など」、運輸・通信の職業は「鉄道運転、自動車運転、郵便の集配・配達など」、生産工程・建設・軽作業などの仕事は「工場オペレーターや組立工、電気工事、軽作業など」。

勤務先の従業員数別に検討した結果、統計的に有意な明確な結果はあまりみられなかった。一部、「1000人以上」では「貯金をする」「ビジネスマナーを理解している」に「自信がある」割合が高かった（図表3-17）。

図表3-17 自信がある生活スキル×勤務先の従業員数

	30人 未満 N=334	100人 未満 N=169	1000人 未満 N=211	1000人 以上 N=180	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	69.8%	72.2%	76.8%	79.4%	
食事を決まった時間にきちんと取る	56.6%	55.6%	61.6%	63.3%	
部屋をこまめにそうじをする	39.2%	31.4%	33.2%	38.3%	
決まったやり方でゴミを出す	67.4%	58.6%	60.2%	66.1%	
食事を自分で作る	54.2%	49.7%	46.9%	47.2%	
定期的に適度な運動をする	30.5%	28.4%	30.3%	33.9%	
家計簿をつける	30.2%	30.2%	32.2%	38.9%	
貯金をする	42.8%	49.7%	42.7%	57.2%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	33.5%	34.9%	37.9%	42.8%	
時間に遅れない	64.7%	65.1%	70.1%	67.8%	
人との約束を守る	74.3%	71.0%	76.3%	80.6%	
社会人としてのマナーを守る	74.3%	72.2%	73.5%	79.4%	
あいさつをする	72.2%	69.2%	73.0%	78.3%	
人に力を貸す	56.0%	56.8%	61.6%	65.6%	
苦手な人ともうまく働く	29.6%	34.9%	34.6%	44.4%	
人と交渉する	26.3%	28.4%	27.5%	36.7%	
わからないことをたずねる	56.0%	53.8%	58.8%	57.8%	
人と世間話をする	42.2%	45.0%	43.1%	46.1%	
人の話をさえぎらずに聞く	54.8%	47.3%	53.6%	55.0%	
できないことは断る	41.0%	36.1%	39.8%	43.9%	
友達をつくる	28.4%	28.4%	30.8%	31.1%	
新たな職場環境になじむ	31.4%	31.4%	38.4%	37.8%	
自分の主張をはっきり言う	31.4%	25.4%	37.9%	38.9%	
なすべきことを一生懸命やる	62.9%	61.5%	64.9%	68.9%	
困難にあってもあきらめない	44.0%	42.0%	51.2%	55.0%	
職場の目標やルールは大事にする	61.4%	62.1%	63.0%	68.9%	
職場に必要な事柄を勉強する	58.4%	56.2%	61.6%	63.3%	
職場に必要な技術を身につける	55.7%	56.2%	58.8%	67.2%	
必要があれば新たな職場を見つける	34.4%	34.3%	41.2%	36.1%	
必要があれば就職活動をうまく行う	27.5%	25.4%	33.6%	31.1%	
ビジネスマナーを理解している	34.4%	38.5%	46.0%	52.2%	**
自分の能力を正確に把握する	35.3%	36.7%	43.1%	45.0%	
自分の長所・短所を理解する	40.7%	43.2%	47.4%	44.4%	
自分の悪いところを直す	25.7%	22.5%	26.5%	29.4%	
将来の計画を立てる	25.4%	24.9%	26.1%	33.3%	
自分の人生設計を立てる	23.1%	23.7%	26.5%	33.9%	
将来の職業生活に備える	21.3%	21.3%	27.0%	25.0%	
パソコンでメールのやりとりをする	59.9%	63.9%	68.7%	70.6%	
パソコンで必要な情報を検索する	69.2%	67.5%	76.8%	79.4%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	45.5%	45.0%	55.9%	53.3%	

** p<0.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

勤務先の職位別に検討した結果、「役員、部長」は、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「役員、部長」と「一般社員・職員」で最も差が大きかったのは「ビジネスマナーを理解している」であった。以下、「自分の主張をはっきり言う」「困難にあってもあきらめない」「人と交渉する」「自分の能力を正確に把握する」と続いていた。また、「課長、課長補佐」は「人と交渉する」「パソコンでメールのやりとりをする」に「自信がある」と回答していた（図表3-18）。

図表3-18 自信がある生活スキル×勤務先の職位

	一般 社員・ 職員 N=471	係長・ 主任 N=51	課長、 課長 補佐 N=38	役員、 部長 N=30	その他 N=304	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	73.2%	74.5%	76.3%	90.0%	72.7%	16.8%	
食事を決まった時間にきちんと取る	59.0%	60.8%	55.3%	83.3%	56.6%	24.3%	
部屋をこまめにそじをする	37.6%	39.2%	26.3%	63.3%	31.9%	25.7%	**
決まったやり方でゴミを出す	63.5%	58.8%	57.9%	70.0%	65.1%	6.5%	
食事を自分で作る	51.6%	31.4%	31.6%	60.0%	52.6%	8.4%	**
定期的に適度な運動をする	30.8%	33.3%	36.8%	56.7%	27.0%	25.9%	
家計簿をつける	33.1%	23.5%	34.2%	56.7%	30.3%	23.6%	
貯金をする	49.7%	49.0%	50.0%	50.0%	41.8%	0.3%	
日々の計画を立てて、計画を守る	37.2%	39.2%	42.1%	63.3%	32.2%	26.1%	
時間に遅れない	65.2%	66.7%	71.1%	83.3%	66.8%	18.1%	
人との約束を守る	74.9%	74.5%	78.9%	90.0%	74.3%	15.1%	
社会人としてのマナーを守る	73.9%	64.7%	81.6%	90.0%	75.3%	16.1%	
あいさつをする	73.2%	66.7%	76.3%	86.7%	72.0%	13.5%	
人に力を貸す	60.9%	60.8%	52.6%	83.3%	55.3%	22.4%	
苦手な人ともうまく働く	36.7%	37.3%	44.7%	50.0%	28.6%	13.3%	
人と交渉する	28.0%	27.5%	50.0%	60.0%	25.3%	32.0%	**
わからないことをたずねる	57.3%	51.0%	47.4%	80.0%	55.3%	22.7%	
人と世間話をする	45.9%	37.3%	44.7%	66.7%	39.1%	20.8%	
人の話をさえぎらずに聞く	55.6%	47.1%	50.0%	63.3%	49.7%	7.7%	
できないことは断る	42.7%	29.4%	44.7%	46.7%	37.5%	4.0%	
友達をつくる	30.8%	25.5%	28.9%	43.3%	27.0%	12.5%	
新たな職場環境になじむ	35.9%	29.4%	42.1%	46.7%	30.6%	10.8%	
自分の主張をはっきり言う	32.5%	35.3%	39.5%	66.7%	30.3%	34.2%	**
なすべきことを一生懸命やる	65.6%	58.8%	63.2%	83.3%	61.5%	17.7%	
困難にあってもあきらめない	49.3%	47.1%	47.4%	83.3%	41.4%	34.0%	**
職場の目標やルールは大事にする	63.5%	62.7%	71.1%	86.7%	60.2%	23.2%	
職場に必要な事柄を勉強する	58.8%	58.8%	71.1%	83.3%	57.6%	24.5%	
職場に必要な技術を身につける	59.2%	62.7%	65.8%	83.3%	54.3%	24.1%	
必要があれば新たな職場を見つける	35.0%	31.4%	34.2%	53.3%	37.8%	18.3%	
必要があれば就職活動をうまく行う	30.8%	19.6%	23.7%	46.7%	27.6%	15.9%	
ビジネスマナーを理解している	39.9%	45.1%	57.9%	76.7%	37.8%	36.8%	**
自分の能力を正確に把握する	40.1%	45.1%	47.4%	70.0%	33.2%	29.9%	**
自分の長所・短所を理解する	44.4%	45.1%	50.0%	70.0%	38.5%	25.6%	
自分の悪いところを直す	24.8%	31.4%	18.4%	43.3%	26.3%	18.5%	
将来の計画を立てる	27.6%	27.5%	26.3%	50.0%	24.0%	22.4%	
自分の人生設計を立てる	26.8%	29.4%	26.3%	53.3%	22.0%	26.5%	**
将来の職業生活に備える	25.9%	17.6%	15.8%	50.0%	18.8%	24.1%	**
パソコンでメールのやりとりをする	64.5%	70.6%	84.2%	83.3%	60.2%	18.8%	**
パソコンで必要な情報を検索する	71.8%	80.4%	89.5%	83.3%	69.7%	11.5%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	51.8%	47.1%	57.9%	66.7%	43.4%	14.9%	

** p<0.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「役員・部長—一般社員・職員」。

転職回数別に検討した結果、転職回数の多い方が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「転職4回以上」と「転職なし」で最も差があったのは「必要があれば新しい職場を見つける」であった。以下、「わからないことをたずねる」「必要があれば就職活動をうまく行う」「ビジネスマナーを理解している」「なすべきことを一生懸命やる」と続いていた。なお、「転職2回」では「食事を自分で作る」「社会人としてのマナーを守る」「あいさつをする」で「自信がある」割合が高かった。また、「転職1回」では「社会人としてマナーを守る」「ビジネスマナーを理解している」割合が高かった（図表3-19）。

図表3-19 自信がある生活スキル×転職回数

	転職 なし N=796	転職 1回 N=221	転職 2回 N=216	転職 3回 N=230	転職 4回 以上 N=299	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	66.5%	73.3%	76.4%	75.7%	72.9%	6.4%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	57.0%	63.3%	63.4%	64.3%	60.2%	3.2%	
部屋をこまめにそうじをする	36.1%	36.7%	46.3%	40.4%	37.8%	1.7%	
決まったやり方でゴミを出す	62.7%	70.1%	72.7%	66.1%	70.2%	7.5%	
食事を自分で作る	49.1%	56.1%	67.1%	62.2%	62.2%	13.1%	**
定期的に適度な運動をする	30.3%	31.7%	40.3%	32.6%	27.4%	-2.9%	
家計簿をつける	34.7%	32.1%	39.8%	31.3%	37.8%	3.1%	
貯金をする	47.5%	47.5%	50.9%	43.5%	40.5%	-7.0%	
日々の計画を立てて、計画を守る	38.1%	38.9%	40.7%	37.8%	38.8%	0.7%	
時間に遅れない	63.6%	67.4%	73.6%	70.4%	72.2%	8.6%	
人との約束を守る	72.4%	79.2%	82.9%	77.4%	78.9%	6.5%	**
社会人としてのマナーを守る	68.0%	81.9%	85.2%	73.9%	79.3%	11.3%	**
あいさつをする	66.5%	76.0%	82.9%	74.8%	77.3%	10.8%	**
人に力を貸す	51.1%	63.3%	64.4%	66.1%	64.9%	13.8%	**
苦手な人ともうまく働く	31.7%	35.7%	38.0%	40.4%	33.4%	1.7%	
人と交渉する	24.9%	26.2%	31.5%	31.3%	31.1%	6.2%	
わからないことをたずねる	48.5%	56.6%	58.3%	61.3%	66.9%	18.4%	**
人と世間話をする	39.7%	43.4%	44.0%	48.7%	49.5%	9.8%	
人の話をさげざらずに聞く	50.6%	52.9%	62.5%	54.8%	56.5%	5.9%	
できないことは断る	39.1%	44.8%	45.8%	40.9%	46.8%	7.7%	
友達をつくる	26.1%	28.1%	34.3%	30.9%	33.4%	7.3%	
新たな職場環境になじむ	28.8%	36.2%	40.7%	31.7%	41.5%	12.7%	**
自分の主張をはっきり言う	32.2%	37.1%	31.9%	33.0%	37.1%	4.9%	
なすべきことを一生懸命やる	58.5%	67.0%	71.8%	69.6%	73.9%	15.4%	**
困難にあってもあきらめない	39.9%	50.2%	48.6%	47.0%	52.5%	12.6%	**
職場の目標やルールは大事にする	57.7%	70.1%	69.9%	63.5%	70.2%	12.5%	**
職場に必要な事柄を勉強する	54.5%	66.1%	68.1%	60.9%	66.6%	12.1%	**
職場に必要な技術を身につける	52.8%	67.4%	67.1%	63.5%	65.2%	12.4%	**
必要があれば新たな職場を見つける	27.6%	39.4%	43.5%	40.0%	48.8%	21.2%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	21.4%	30.8%	34.7%	31.7%	38.5%	17.1%	**
ビジネスマナーを理解している	32.0%	49.8%	46.3%	41.7%	48.2%	16.2%	**
自分の能力を正確に把握する	33.4%	43.4%	39.8%	41.3%	43.5%	10.1%	**
自分の長所・短所を理解する	37.4%	49.8%	48.1%	45.7%	46.5%	9.1%	**
自分の悪いところを直す	24.1%	28.5%	27.3%	28.3%	28.4%	4.3%	
将来の計画を立てる	26.9%	26.2%	29.2%	24.3%	27.1%	0.2%	
自分の人生設計を立てる	25.5%	25.3%	27.8%	23.9%	26.8%	1.3%	
将来の職業生活に備える	21.0%	24.9%	21.3%	20.9%	25.4%	4.4%	
パソコンでメールのやりとりをする	59.5%	68.8%	64.4%	70.4%	69.2%	9.7%	**
パソコンで必要な情報を検索する	67.7%	78.3%	75.9%	76.1%	74.2%	6.5%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	42.5%	52.0%	52.8%	50.0%	47.5%	5.0%	**

** p<0.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「転職4回以上」-「転職なし」。

失業・休職の有無別に検討した結果、「現在、失業中・休業中」の者および「過去に失業・休業を経験」した者は、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「現在、失業中・休業中」の者および「過去に失業・休業を経験」した者に共通して「自信がある」割合が高かったのは「なすべきことを一生懸命やる」であった。また、「現在、失業中・休業中」の者は「職場の目標やルールは大事にする」「職場に必要な事柄を勉強する」「職場に必要な技術を身につける」「パソコンでメールのやりとりをする」「パソコンで必要な情報を検索する」などで「自信がある」割合が高かった。一方、「過去に失業・休業を経験」した者は「決まったやり方でゴミを出す」「人に力を貸す」「わからないことをたずねる」「必要があれば新たな職場を見つける」「必要があれば就職活動をうまく行う」などで「自信がある」割合が高かった（図表3-20）。

図表3-20 自信がある生活スキル×失業・休職の有無

	現在、 失業中 休職中 N=451	過去に 失業・ 休職を 経験 N=466	失業・ 求職・ 休職の 経験 なし N=847	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	68.5%	76.0%	69.2%	
食事を決まった時間にきちんと取る	59.6%	59.9%	60.4%	
部屋をこまめにそうじをする	36.4%	35.6%	40.7%	
決まったやり方でゴミを出す	70.1%	71.9%	61.9%	**
食事を自分で作る	59.9%	57.9%	53.2%	
定期的に適度な運動をする	31.5%	29.4%	32.6%	
家計簿をつける	35.3%	33.3%	36.0%	
貯金をする	43.0%	44.8%	48.6%	
日々の計画を立てて、計画を守る	37.0%	34.3%	41.9%	
時間に遅れない	70.1%	68.0%	66.2%	
人との約束を守る	79.4%	79.0%	73.2%	
社会人としてのマナーを守る	77.4%	78.8%	70.7%	**
あいさつをする	75.2%	76.6%	69.1%	**
人に力を貸す	61.0%	63.7%	54.5%	**
苦手な人とうまく働く	34.8%	34.3%	34.4%	
人と交渉する	26.8%	27.3%	28.6%	
わからないことをたずねる	57.9%	61.6%	50.9%	**
人と世間話をする	44.1%	45.7%	42.1%	
人の話をささげずに聞く	57.9%	57.1%	50.2%	**
できないことは断る	45.7%	43.1%	39.9%	
友達をつくる	29.5%	27.7%	30.0%	
新たな職場環境になじむ	35.9%	34.3%	32.3%	
自分の主張をはっきり言う	35.7%	33.0%	33.1%	
なすべきことを一生懸命やる	71.0%	72.1%	58.6%	**
困難があってもあきらめない	48.8%	47.4%	42.5%	
職場の目標やルールは大事にする	68.7%	67.8%	58.7%	**
職場に必要な事柄を勉強する	67.6%	63.3%	55.3%	**
職場に必要な技術を身につける	67.6%	63.3%	54.0%	**
必要があれば新たな職場を見つける	37.9%	45.1%	30.7%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	27.3%	34.1%	26.1%	**
ビジネスマナーを理解している	38.4%	45.1%	38.3%	
自分の能力を正確に把握する	36.8%	41.2%	37.3%	
自分の長所・短所を理解する	42.8%	46.6%	41.0%	
自分の悪いところを直す	27.5%	26.2%	25.9%	
将来の計画を立てる	24.4%	24.0%	29.6%	
自分の人生設計を立てる	22.4%	23.2%	29.0%	
将来の職業生活に備える	20.4%	21.9%	23.5%	
パソコンでメールのやりとりをする	69.4%	67.6%	60.0%	**
パソコンで必要な情報を検索する	79.4%	76.2%	66.4%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	50.3%	49.1%	43.6%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

次の就職先を真剣に探している程度別に検討した結果、「次の就職先をかなり真剣に探している」および「次の就職先をやや真剣に探している」と回答した者が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。「次の就職先をかなり真剣に探している」および「次の就職先をやや真剣に探している」と回答した者が共通して割合が高かったのは、「新たな環境になじむ」「職場で必要な事柄を勉強する」「職場で必要な技術を身につける」「必要があれば新たな職場を見つける」「必要があれば就職活動をうまく行う」「パソコンでメールのやりとりをする」であった（図表3-21）。

図表3-21 自信がある生活スキル×次の就職先を真剣に探している程度

	次の就職先をかなり真剣に探している N=199	次の就職先をやや真剣に探している N=274	どちらとも言えない N=384	次の就職先をあまり真剣に探していない N=234	次の就職先をまったく探していない N=673	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	72.4%	73.4%	63.8%	70.1%	73.6%	
食事を決まった時間にきちんと取る	63.8%	61.7%	52.1%	60.3%	62.9%	**
部屋をこまめにそうじをする	38.2%	42.3%	35.7%	38.9%	37.9%	
決まったやり方でゴミを出す	66.8%	71.9%	60.2%	71.8%	66.3%	**
食事を自分で作る	58.3%	60.6%	50.0%	54.7%	57.8%	
定期的に適度な運動をする	34.2%	38.7%	28.4%	28.2%	30.6%	
家計簿をつける	42.7%	39.4%	29.7%	31.6%	35.4%	**
貯金をする	46.7%	48.5%	38.5%	49.1%	48.4%	
日々の計画を立てて、計画を守る	39.7%	44.5%	30.7%	41.9%	39.4%	**
時間に遅れない	69.8%	71.9%	61.7%	68.8%	68.4%	
人との約束を守る	78.9%	78.5%	68.5%	79.9%	77.9%	**
社会人としてのマナーを守る	77.9%	77.0%	66.9%	76.9%	76.1%	**
あいさつをする	78.4%	76.6%	65.1%	72.2%	73.7%	**
人に力を貸す	69.8%	65.3%	52.6%	57.3%	56.5%	**
苦手な人とうまく働く	40.7%	41.6%	28.4%	33.8%	33.4%	**
人と交渉する	37.2%	31.4%	20.3%	23.5%	29.3%	**
わからないことをたずねる	64.3%	59.9%	50.0%	55.1%	54.4%	**
人と世間話をする	52.3%	50.0%	38.8%	42.3%	41.6%	**
人の話をさえぎらずに聞く	54.8%	58.4%	49.7%	56.4%	53.5%	
できないことは断る	42.7%	46.7%	36.2%	42.7%	43.5%	
友達をつくる	35.2%	38.3%	22.4%	24.4%	29.4%	**
新たな職場環境になじむ	46.2%	42.0%	27.1%	31.2%	31.5%	**
自分の主張をはっきり言う	41.2%	33.6%	29.2%	33.8%	34.2%	
なすべきことを一生懸命やる	74.9%	71.5%	59.1%	69.7%	62.0%	**
困難にあってもあきらめない	60.3%	51.1%	36.7%	46.2%	43.4%	**
職場の目標やルールは大事にする	69.8%	71.9%	53.9%	66.7%	63.0%	**
職場で必要な事柄を勉強する	72.4%	70.8%	51.6%	64.1%	56.8%	**
職場で必要な技術を身につける	71.4%	69.3%	49.2%	64.5%	57.2%	**
必要があれば新たな職場を見つける	47.7%	48.2%	29.9%	41.5%	30.0%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	37.7%	38.0%	22.4%	32.5%	24.1%	**
ビジネスマナーを理解している	45.7%	44.9%	33.3%	43.2%	39.2%	**
自分の能力を正確に把握する	43.2%	38.7%	29.7%	44.9%	39.1%	**
自分の長所・短所を理解する	45.7%	43.1%	37.2%	47.9%	43.5%	
自分の悪いところを直す	33.7%	31.0%	24.5%	24.8%	23.9%	
将来の計画を立てる	34.2%	30.3%	20.8%	27.8%	26.3%	**
自分の人生設計を立てる	29.6%	30.7%	19.0%	25.6%	26.6%	**
将来の職業生活に備える	31.2%	28.8%	19.0%	22.2%	18.9%	**
パソコンでメールのやりとりをする	75.9%	71.5%	56.0%	61.1%	64.0%	**
パソコンで必要な情報を検索する	82.9%	75.9%	65.4%	76.1%	70.3%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	60.8%	50.4%	41.1%	53.0%	42.2%	**

** p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

これまでのキャリア別に検討した結果、「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者と「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者でもっとも差が大きかったのは「自分の長所・短所を理解する」であった。以下、「ビジネスマナーを理解している」「人と交渉する」「新しい道具や機能をうまく使いこなす」「友達をつくる」「新たな職場環境になじむ」「困難にあってもあきらめない」と続いていた（図表3-22）。

図表3-22 自信がある生活スキル×これまでのキャリア

	特定の分野で1つの仕事を長く経験してきている N=741	特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=403	いろいろな分野で1つの仕事を長く経験してきている N=203	いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=417	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	70.4%	74.9%	72.9%	66.4%	
食事を決まった時間にきちんと取る	60.7%	63.0%	61.6%	55.4%	
部屋をこまめにそうじをする	35.6%	41.4%	39.9%	39.1%	
決まったやり方でゴミを出す	67.1%	67.7%	64.5%	65.7%	
食事を自分で作る	55.6%	56.8%	54.2%	57.6%	
定期的に適度な運動をする	32.0%	35.0%	27.1%	29.3%	
家計簿をつける	31.7%	38.7%	39.9%	35.3%	
貯金をする	46.4%	49.9%	49.8%	40.5%	
日々の計画を立てて、計画を守る	37.2%	45.2%	38.9%	34.8%	
時間に遅れない	67.6%	68.5%	67.5%	67.1%	
人との約束を守る	77.6%	78.9%	72.9%	73.1%	
社会人としてのマナーを守る	73.8%	79.7%	71.4%	72.4%	
あいさつをする	71.5%	77.2%	68.0%	72.4%	
人に力を貸す	55.5%	64.3%	58.6%	58.8%	
苦手な人ともうまく働く	34.3%	35.7%	38.9%	31.4%	
人と交渉する	24.7%	35.7%	26.1%	26.4% **	
わからないことをたずねる	52.4%	61.8%	54.7%	55.4%	
人と世間話をする	40.9%	47.6%	44.3%	44.1%	
人の話をさえぎらずに聞く	55.7%	55.6%	51.7%	50.4%	
できないことは断る	42.0%	45.4%	35.5%	42.9%	
友達をつくる	26.9%	36.2%	28.1%	27.3% **	
新たな職場環境になじむ	30.6%	40.2%	36.5%	31.9% **	
自分の主張をはっきり言う	31.4%	40.0%	31.5%	32.9%	
なすべきことを一生懸命やる	64.8%	67.0%	62.1%	66.2%	
困難にあってもあきらめない	41.8%	52.9%	43.8%	45.3% **	
職場の目標やルールは大事にする	63.6%	67.2%	58.6%	62.8%	
職場で必要な事柄を勉強する	59.1%	63.3%	59.1%	61.2%	
職場で必要な技術を身につける	58.8%	62.8%	56.7%	60.7%	
必要があれば新たな職場を見つける	33.1%	39.7%	38.4%	37.9%	
必要があれば就職活動をうまく行う	25.8%	33.0%	28.1%	29.3%	
ビジネスマナーを理解している	37.0%	49.4%	39.4%	36.9% **	
自分の能力を正確に把握する	36.8%	45.2%	35.0%	35.5%	
自分の長所・短所を理解する	43.2%	50.4%	39.4%	36.9% **	
自分の悪いところを直す	25.6%	30.5%	27.1%	23.3%	
将来の計画を立てる	27.0%	29.5%	23.2%	25.7%	
自分の人生設計を立てる	26.2%	29.0%	23.2%	23.3%	
将来の職業生活に備える	21.6%	26.8%	19.7%	20.4%	
パソコンでメールのやりとりをする	64.0%	69.7%	64.0%	60.2%	
パソコンで必要な情報を検索する	72.7%	76.7%	69.0%	68.8%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	44.0%	55.3%	41.4%	46.0% **	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所には網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

職業能力は同業他社で通用するか否か別に検討した結果、「通用する」と回答した者が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「通用する」と回答した者と「ほとんど通用しない」と回答した者で最も大きな差があったのは「人と交渉する」であった。以下、「職場に必要な技術を身につける」「ビジネスマナーを理解している」「困難にあってもあきらめない」「自分の能力を正確に把握する」「自分の主張をはっきり言う」と続いていた（図表3-23）。

図表3-23 自信がある生活スキル×あなたの職業能力は同業他社で通用するか否か

	通用 する N=182	ある程度 通用する N=425	どちら とも 言えない N=612	あまり 通用 しない N=228	ほとんど 通用 しない N=317	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	78.6%	80.2%	72.7%	71.1%	49.8%	28.8%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	67.0%	66.1%	60.8%	63.6%	44.2%	22.8%	**
部屋をこまめにそうじをする	51.6%	42.8%	39.4%	30.3%	28.1%	23.5%	**
決まったやり方でゴミを出す	70.3%	76.7%	65.7%	73.2%	47.9%	22.4%	**
食事を自分で作る	66.5%	63.8%	57.2%	54.8%	39.1%	27.4%	**
定期的に適度な運動をする	43.4%	40.0%	31.0%	23.2%	19.9%	23.5%	**
家計簿をつける	47.8%	44.5%	31.5%	29.8%	25.9%	21.9%	**
貯金をする	54.4%	58.6%	43.5%	43.9%	31.9%	22.5%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	53.3%	49.9%	36.4%	33.3%	23.3%	30.0%	**
時間に遅れない	75.3%	74.8%	68.8%	68.4%	51.1%	24.2%	**
人との約束を守る	85.7%	87.8%	76.8%	75.0%	55.5%	30.2%	**
社会人としてのマナーを守る	85.7%	87.3%	74.5%	74.6%	51.1%	34.6%	**
あいさつをする	83.0%	84.7%	74.0%	71.1%	48.9%	34.1%	**
人に力を貸す	75.8%	77.4%	56.9%	51.3%	32.2%	43.6%	**
苦手な人ともうまく働く	57.1%	46.4%	32.5%	25.0%	16.1%	41.0%	**
人と交渉する	64.3%	40.2%	21.4%	14.5%	12.0%	52.3%	**
わからないことをたずねる	76.9%	72.5%	52.1%	48.7%	31.9%	45.0%	**
人と世間話をする	63.7%	59.1%	41.3%	33.8%	22.7%	41.0%	**
人の話をさえぎらずに聞く	69.2%	63.5%	52.0%	50.0%	39.1%	30.1%	**
できないことは断る	61.5%	50.4%	37.9%	37.3%	32.2%	29.3%	**
友達をつくる	47.8%	43.3%	26.0%	17.5%	14.5%	33.3%	**
新たな職場環境になじむ	59.3%	50.1%	30.9%	20.2%	12.6%	46.7%	**
自分の主張をはっきり言う	64.3%	47.8%	28.9%	21.1%	15.8%	48.5%	**
なすべきことを一生懸命やる	84.6%	80.7%	62.9%	62.7%	40.1%	44.5%	**
困難にあってもあきらめない	74.2%	64.0%	41.7%	28.9%	23.0%	51.2%	**
職場の目標やルールは大事にする	76.4%	79.8%	61.3%	64.9%	38.5%	37.9%	**
職場に必要な事柄を勉強する	78.6%	76.2%	60.9%	54.8%	32.5%	46.1%	**
職場に必要な技術を身につける	81.9%	76.7%	59.2%	54.8%	30.0%	51.9%	**
必要があれば新たな職場を見つける	62.6%	52.2%	32.2%	24.1%	16.7%	45.9%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	53.8%	43.3%	23.7%	18.0%	11.0%	42.8%	**
ビジネスマナーを理解している	68.1%	62.6%	31.4%	31.6%	16.7%	51.4%	**
自分の能力を正確に把握する	69.8%	56.7%	29.1%	28.5%	19.9%	49.9%	**
自分の長所・短所を理解する	70.3%	62.4%	35.1%	34.2%	22.4%	47.9%	**
自分の悪いところを直す	45.1%	39.1%	19.9%	22.4%	13.9%	31.2%	**
将来の計画を立てる	48.9%	39.3%	22.9%	18.0%	11.4%	37.5%	**
自分の人生設計を立てる	46.7%	38.6%	21.6%	16.7%	11.4%	35.3%	**
将来の職業生活に備える	45.6%	33.9%	16.8%	13.2%	10.4%	35.2%	**
パソコンでメールのやりとりをする	84.6%	79.8%	58.7%	63.6%	43.8%	40.8%	**
パソコンで必要な情報を検索する	86.3%	85.4%	67.3%	75.0%	54.3%	32.0%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	75.3%	62.8%	40.8%	35.5%	28.4%	46.9%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所と網かけ、有意に値が低い箇所と下線を付した。「差」は「通用する」-「ほとんど通用しない」。

これまでの職業生活やキャリアに対する満足感別に検討した結果、「おおむね満足している」と回答した者が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も大きな差があったのは「困難にあってもあきらめない」であった。以下、「ビジネスマナーを理解している」「自分の能力を正確に把握する」「自分の長所・短所を理解する」「わからないことをたずねる」「苦手な人ともうまく働く」と続いていた。その他、「とても満足している」と回答した者は「人と交渉する」「新たな職場環境になじむ」「将来の職業生活に備える」などにも「自信がある」と回答する割合が高かった。さらに「あまり満足していない」と回答した者は「なすべきことを一生懸命やる」と回答する割合が高かった（図表3-24）。

図表3-24 自信がある生活スキル×これまでの職業生活やキャリアに対する満足感

これまでの職業生活やキャリア	全く満足していない N=256	あまり満足していない N=394	どちらとも 言えない N=820	おおむね満足している N=268	とても満足している N=26	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	54.7%	75.4%	70.1%	82.5%	61.5%	27.8%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	47.3%	64.2%	58.0%	73.1%	53.8%	25.8%	**
部屋をこまめにそうじをする	30.5%	39.8%	35.6%	50.0%	53.8%	19.5%	**
決まったやり方でゴミを出す	59.0%	70.1%	64.1%	76.5%	65.4%	17.5%	**
食事を自分で作る	41.8%	59.6%	55.1%	66.8%	69.2%	25.0%	**
定期的に適度な運動をする	25.0%	36.0%	27.6%	41.0%	50.0%	16.0%	**
家計簿をつける	30.9%	37.6%	31.7%	44.4%	50.0%	13.5%	**
貯金をする	37.1%	51.5%	42.0%	60.1%	46.2%	23.0%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	28.5%	41.6%	36.2%	50.0%	53.8%	21.5%	**
時間に遅れない	59.0%	70.3%	66.6%	76.5%	57.7%	17.5%	**
人との約束を守る	66.0%	78.2%	74.8%	89.6%	61.5%	23.6%	**
社会人としてのマナーを守る	59.8%	74.9%	74.6%	89.2%	61.5%	29.4%	**
あいさつをする	58.2%	73.6%	72.3%	86.9%	61.5%	28.7%	**
人に力を貸す	45.7%	60.2%	57.0%	73.9%	57.7%	28.2%	**
苦手な人ともうまく働く	22.3%	33.2%	32.2%	52.6%	57.7%	30.3%	**
人と交渉する	17.2%	28.4%	25.4%	41.8%	53.8%	24.6%	**
わからないことをたずねる	41.4%	57.1%	53.3%	72.8%	61.5%	31.4%	**
人と世間話をする	30.9%	46.2%	43.3%	52.6%	46.2%	21.7%	**
人の話をさえぎらずに聞く	47.3%	55.3%	51.8%	64.6%	57.7%	17.3%	**
できないことは断る	38.7%	43.7%	37.7%	57.1%	46.2%	18.4%	**
友達をつくる	18.0%	31.0%	26.8%	42.9%	50.0%	24.9%	**
新たな職場環境になじむ	21.1%	36.8%	30.2%	50.0%	57.7%	28.9%	**
自分の主張をはっきり言う	28.1%	34.3%	30.1%	47.4%	53.8%	19.3%	**
なすべきことを一生懸命やる	51.2%	72.8%	61.6%	79.5%	61.5%	28.3%	**
困難にあってもあきらめない	30.5%	49.7%	41.0%	65.3%	61.5%	34.8%	**
職場の目標やルールは大事にする	50.4%	68.5%	60.9%	78.0%	61.5%	27.6%	**
職場で必要な事柄を勉強する	48.4%	65.0%	56.8%	76.1%	69.2%	27.7%	**
職場で必要な技術を身につける	46.9%	62.7%	57.1%	76.5%	65.4%	29.6%	**
必要があれば新たな職場を見つける	26.2%	41.4%	33.7%	46.6%	38.5%	20.4%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	16.4%	32.5%	26.5%	39.9%	34.6%	23.5%	**
ビジネスマナーを理解している	23.4%	44.2%	36.6%	57.8%	69.2%	34.4%	**
自分の能力を正確に把握する	25.8%	40.4%	33.2%	59.7%	65.4%	33.9%	**
自分の長所・短所を理解する	27.7%	44.4%	40.4%	61.6%	57.7%	33.9%	**
自分の悪いところを直す	18.0%	27.4%	24.3%	37.7%	42.3%	19.7%	**
将来の計画を立てる	18.0%	27.2%	23.3%	43.7%	46.2%	25.7%	**
自分の人生設計を立てる	16.0%	25.9%	22.9%	42.2%	42.3%	26.2%	**
将来の職業生活に備える	13.7%	22.8%	19.6%	35.4%	46.2%	21.7%	**
パソコンでメールのやりとりをする	54.3%	67.0%	62.4%	76.9%	57.7%	22.6%	**
パソコンで必要な情報を検索する	66.8%	72.8%	70.6%	83.2%	57.7%	16.4%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	37.5%	48.7%	44.5%	59.3%	50.0%	21.8%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

収入に対する満足感別に検討した結果、「おおむね満足している」と回答した者が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も大きな差があったのは「自分の人生設計を立てる」であった。以下、「貯金をする」「将来の計画を立てる」「自分の能力を正確に把握する」「自分の長所・短所を理解する」「ビジネスマナーを理解している」と続いていた。その他、「とても満足している」と回答した者は「食事を自分で作る」「定期的に適度な運動をする」「日々の計画を立てて、計画を守る」「人と交渉する」「困難にあってもあきらめない」「職場での目標やルールは大事にする」と回答する割合が高かった（図表3-25）。

図表3-25 自信がある生活スキル×収入に対する満足感

収入に対する満足感	とても満足している N=23	おおむね満足している N=237	どちらとも言えない N=515	あまり満足していない N=426	全く満足していない N=563	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	82.6%	84.4%	66.6%	73.9%	66.1%	18.3%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	78.3%	71.7%	55.9%	62.4%	56.5%	15.2%	**
部屋をこまめにそうじをする	60.9%	54.0%	34.6%	38.7%	33.7%	20.3%	**
決まったやり方でゴミを出す	91.3%	75.9%	61.7%	70.7%	63.1%	12.8%	**
食事を自分で作る	82.6%	71.3%	53.8%	57.7%	49.7%	21.6%	**
定期的に適度な運動をする	56.5%	49.4%	27.2%	33.3%	25.4%	24.0%	**
家計簿をつける	56.5%	50.6%	32.0%	36.4%	29.5%	21.1%	**
貯金をする	82.6%	66.7%	44.1%	46.5%	37.8%	28.9%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	69.6%	55.3%	39.6%	36.4%	31.3%	24.0%	**
時間に遅れない	91.3%	80.6%	64.3%	65.5%	66.1%	14.5%	**
人との約束を守る	91.3%	90.7%	71.5%	78.9%	72.1%	18.6%	**
社会人としてのマナーを守る	87.0%	89.9%	70.3%	77.2%	69.4%	20.5%	**
あいさつをする	73.9%	88.2%	70.1%	74.9%	66.6%	21.6%	**
人に力を貸す	65.2%	73.8%	54.0%	61.0%	54.4%	19.4%	**
苦手な人ともうまく働く	56.5%	48.5%	31.8%	33.8%	30.6%	17.9%	**
人と交渉する	60.9%	42.6%	25.8%	24.6%	24.3%	18.3%	**
わからないことをたずねる	69.6%	70.0%	50.9%	58.9%	50.4%	19.6%	**
人と世間話をする	47.8%	55.7%	39.6%	46.7%	39.6%	16.1%	**
人の話をささげずに聞く	69.6%	64.1%	50.3%	54.9%	51.7%	12.4%	**
できないことは断る	47.8%	51.1%	39.4%	40.4%	42.3%	8.8%	
友達をつくる	47.8%	43.5%	29.7%	28.6%	22.6%	20.9%	**
新たな職場環境になじむ	56.5%	50.6%	29.1%	34.0%	29.8%	20.8%	**
自分の主張をはっきり言う	47.8%	45.6%	31.7%	31.2%	32.0%	13.6%	**
なすべきことを一生懸命やる	82.6%	76.4%	57.9%	71.1%	62.3%	14.1%	**
困難にあってもあきらめない	73.9%	58.6%	40.4%	47.2%	41.9%	16.7%	**
職場の目標やルールは大事にする	95.7%	76.4%	59.6%	67.6%	57.7%	18.7%	**
職場に必要な事柄を勉強する	82.6%	73.0%	55.3%	63.8%	56.7%	16.3%	**
職場に必要な技術を身につける	65.2%	73.0%	54.6%	62.7%	57.0%	16.0%	**
必要があれば新たな職場を見つける	39.1%	50.6%	31.1%	40.1%	32.1%	18.5%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	43.5%	43.9%	27.2%	29.8%	21.7%	22.2%	**
ビジネスマナーを理解している	56.5%	58.2%	37.3%	42.0%	32.9%	25.3%	**
自分の能力を正確に把握する	52.2%	58.2%	34.8%	38.7%	32.0%	26.2%	**
自分の長所・短所を理解する	69.6%	61.6%	39.4%	44.1%	36.2%	25.4%	**
自分の悪いところを直す	43.5%	40.1%	24.1%	26.1%	22.2%	17.9%	**
将来の計画を立てる	47.8%	47.3%	24.5%	24.9%	21.0%	26.3%	**
自分の人生設計を立てる	52.2%	47.3%	24.3%	24.9%	17.8%	29.5%	**
将来の職業生活に備える	47.8%	39.2%	20.0%	21.6%	16.7%	22.5%	**
パソコンでメールのやりとりをする	78.3%	74.7%	58.6%	65.3%	64.1%	10.6%	**
パソコンで必要な情報を検索する	82.6%	81.9%	64.3%	73.7%	74.1%	7.8%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	56.5%	53.2%	41.7%	46.2%	48.7%	4.5%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所と網かけ、有意に値が低い箇所と下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

仕事上の地位に対する満足感別に検討した結果、「おおむね満足している」と回答した者が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も大きな差があったのは「自分の長所・短所を理解する」であった。以下、「自分の能力を正確に把握する」「貯金をする」「自分の人生設計を立てる」「わからないことをたずねる」と続いていた（図表3-26）。

図表3-26 自信がある生活スキル×仕事上の地位に対する満足感

仕事上の地位に対する満足感	とても満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	差	sig.
	N=34	N=268	N=845	N=215	N=402		
朝、決まった時間にひとりで起きる	88.2%	82.1%	68.4%	76.3%	63.9%	18.2%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	79.4%	68.7%	58.2%	67.0%	53.0%	15.7%	**
部屋をこまめに掃除をする	64.7%	49.6%	34.1%	44.2%	34.1%	15.5%	**
決まったやり方でゴミを出す	82.4%	72.0%	65.8%	68.8%	62.2%	9.8%	
食事を自分で作る	76.5%	62.7%	56.6%	56.7%	49.0%	13.7%	**
定期的に適度な運動をする	52.9%	42.2%	29.0%	31.2%	27.9%	14.3%	**
家計簿をつける	47.1%	45.9%	32.0%	39.5%	31.1%	14.8%	**
貯金をする	58.8%	61.9%	42.6%	53.5%	38.3%	23.6%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	70.6%	48.1%	36.3%	47.0%	30.1%	18.0%	**
時間に遅れない	85.3%	79.1%	65.0%	67.9%	64.2%	14.9%	**
人との約束を守る	88.2%	89.2%	74.6%	76.3%	70.4%	18.8%	**
社会人としてのマナーを守る	94.1%	88.1%	72.7%	74.0%	68.2%	19.9%	**
あいさつをする	91.2%	84.3%	71.2%	74.0%	65.4%	18.9%	**
人に力を貸す	85.3%	72.0%	54.4%	63.3%	53.7%	18.3%	**
苦手な人ともうまく働く	73.5%	47.0%	29.9%	38.6%	30.1%	16.9%	**
人と交渉する	58.8%	39.9%	22.4%	33.0%	25.6%	14.3%	**
わからないことをたずねる	76.5%	69.0%	52.5%	59.1%	49.0%	20.0%	**
人と世間話をする	61.8%	51.5%	40.7%	47.9%	40.5%	11.0%	**
人の話をさげすまずに聞く	70.6%	65.3%	52.3%	52.6%	49.3%	16.0%	**
できないことは断る	52.9%	48.1%	39.5%	43.3%	42.5%	5.6%	
友達をつくる	52.9%	39.9%	26.7%	34.4%	22.6%	17.3%	**
新たな職場環境になじむ	61.8%	47.4%	28.5%	40.0%	30.1%	17.3%	**
自分の主張をはっきり言う	55.9%	44.0%	28.8%	39.1%	32.6%	11.4%	**
なすべきことを一生懸命やる	88.2%	76.1%	61.7%	71.2%	60.7%	15.4%	**
困難にあってもあきらめない	73.5%	57.5%	39.2%	53.5%	43.8%	13.7%	**
職場の目標やルールは大事にする	91.2%	76.5%	60.1%	68.8%	57.5%	19.0%	**
職場に必要な事柄を勉強する	85.3%	71.6%	56.4%	66.0%	56.7%	14.9%	**
職場に必要な技術を身につける	79.4%	72.0%	55.6%	61.9%	58.2%	13.8%	**
必要があれば新たな職場を見つける	61.8%	45.5%	30.1%	44.7%	36.8%	8.7%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	58.8%	36.6%	24.7%	34.9%	25.1%	11.5%	**
ビジネスマナーを理解している	58.8%	53.0%	36.1%	49.3%	33.3%	19.7%	**
自分の能力を正確に把握する	67.6%	54.5%	35.4%	38.1%	30.8%	23.7%	**
自分の長所・短所を理解する	76.5%	60.8%	40.1%	41.9%	34.6%	26.2%	**
自分の悪いところを直す	52.9%	36.2%	23.6%	29.3%	21.9%	14.3%	**
将来の計画を立てる	58.8%	39.2%	23.0%	28.8%	22.9%	16.3%	**
自分の人生設計を立てる	55.9%	40.7%	22.0%	29.3%	19.4%	21.3%	**
将来の職業生活に備える	55.9%	35.1%	17.6%	26.0%	18.7%	16.4%	**
パソコンでメールのやりとりをする	88.2%	73.9%	60.1%	69.3%	62.4%	11.5%	**
パソコンで必要な情報を検索する	82.4%	82.5%	68.3%	77.2%	70.4%	12.1%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	67.6%	56.7%	41.1%	54.0%	46.5%	10.2%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

仕事内容に対する満足感別に検討した結果、「おおむね満足している」と回答した者が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も大きな差があったのは「自分の長所・短所を理解する」であった。以下、「自分の能力を正確に把握する」「貯金をする」「職場の目標やルールは大切にすると続いていた（図表3-27）。

図表3-27 自信がある生活スキル×仕事内容に対する満足感

仕事内容に対する満足感	とても満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	差	sig.
	N=43	N=349	N=804	N=212	N=356		
朝、決まった時間にひとりで起きる	93.0%	79.7%	68.0%	75.5%	62.9%	16.8%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	74.4%	68.8%	58.6%	61.3%	52.5%	16.3%	**
部屋をこまめにそうじをする	62.8%	47.9%	33.6%	41.0%	34.8%	13.1%	**
決まったやり方でゴミを出す	74.4%	74.5%	65.2%	66.5%	61.2%	13.3%	**
食事を自分で作る	76.7%	66.5%	55.0%	54.7%	47.2%	19.3%	**
定期的に適度な運動をする	60.5%	39.8%	27.7%	33.5%	27.0%	12.8%	**
家計簿をつける	58.1%	42.7%	33.5%	34.9%	28.7%	14.0%	**
貯金をする	69.8%	59.9%	41.3%	53.3%	36.8%	23.1%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	67.4%	47.6%	35.6%	42.9%	30.9%	16.7%	**
時間に遅れない	81.4%	78.5%	63.9%	70.3%	62.4%	16.1%	**
人との約束を守る	88.4%	90.0%	73.8%	74.5%	68.3%	21.7%	**
社会人としてのマナーを守る	90.7%	87.1%	72.5%	73.1%	65.7%	21.4%	**
あいさつをする	90.7%	84.8%	70.0%	74.5%	63.2%	21.6%	**
人に力を貸す	81.4%	73.4%	53.6%	60.4%	51.7%	21.7%	**
苦手な人ともうまく働く	65.1%	46.1%	30.0%	37.7%	27.5%	18.6%	**
人と交渉する	67.4%	37.2%	21.9%	32.1%	24.4%	12.8%	**
わからないことをたずねる	79.1%	68.2%	51.7%	57.1%	47.8%	20.4%	**
人と世間話をする	65.1%	55.9%	37.9%	48.1%	39.0%	16.9%	**
人の話をささげらずに聞く	76.7%	66.2%	49.5%	55.2%	48.6%	17.6%	**
できないことは断る	65.1%	51.9%	36.7%	41.5%	43.0%	8.9%	**
友達をつくる	58.1%	40.1%	25.2%	34.9%	20.8%	19.3%	**
新たな職場環境になじむ	60.5%	47.9%	27.6%	37.3%	28.7%	19.2%	**
自分の主張をはっきり言う	55.8%	45.6%	28.2%	34.4%	31.5%	14.1%	**
なすべきことを一生懸命やる	86.0%	79.7%	59.2%	72.2%	58.4%	21.3%	**
困難にあってもあきらめない	83.7%	59.9%	37.9%	50.9%	40.2%	19.7%	**
職場の目標やルールは大事にする	86.0%	77.4%	59.3%	67.0%	55.3%	22.1%	**
職場に必要な事柄を勉強する	88.4%	73.9%	55.2%	62.7%	54.8%	19.1%	**
職場に必要な技術を身につける	81.4%	71.9%	55.0%	60.4%	56.5%	15.4%	**
必要があれば新たな職場を見つける	65.1%	45.8%	30.8%	39.2%	34.3%	11.5%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	58.1%	37.2%	25.1%	30.7%	22.8%	14.4%	**
ビジネスマナーを理解している	67.4%	51.0%	35.8%	45.8%	32.3%	18.7%	**
自分の能力を正確に把握する	76.7%	53.9%	33.2%	36.8%	30.3%	23.6%	**
自分の長所・短所を理解する	83.7%	61.9%	37.7%	39.6%	33.1%	28.8%	**
自分の悪いところを直す	60.5%	38.1%	21.6%	26.4%	21.3%	16.8%	**
将来の計画を立てる	69.8%	40.7%	21.6%	25.5%	20.5%	20.2%	**
自分の人生設計を立てる	62.8%	38.4%	21.6%	26.9%	17.7%	20.7%	**
将来の職業生活に備える	58.1%	33.2%	16.7%	25.5%	18.0%	15.2%	**
パソコンでメールのやりとりをする	88.4%	74.2%	58.2%	69.8%	62.6%	11.6%	**
パソコンで必要な情報を検索する	90.7%	81.4%	66.8%	76.4%	71.1%	10.3%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	69.8%	58.2%	39.3%	53.8%	45.5%	12.7%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所と網かけ、有意に値が低い箇所と下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

職場の人間関係に対する満足感別に検討した結果、「おおむね満足している」と回答した者が、概して「自信がある」と回答する割合が高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も大きな差があったのは「自分の長所・短所を理解する」であった。以下、「苦手な人ともうまく働く」「わからないことをたずねる」「ビジネスマナーを理解している」「人に力を貸す」「あいさつをする」と続いていた（図表3-28）。

図表3-28 自信がある生活スキル×職場の人間関係に対する満足感

職場の人間関係に対する満足感	とても満足している N=73	おおむね満足している N=348	どちらとも言えない N=813	あまり満足していない N=186	全く満足していない N=344	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	86.3%	80.5%	67.7%	78.5%	61.0%	19.5%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	67.1%	71.8%	57.9%	62.9%	50.3%	21.5%	**
部屋をこまめにそうじをする	46.6%	46.6%	33.9%	46.2%	34.0%	12.6%	**
決まったやり方でゴミを出す	76.7%	74.7%	64.2%	71.5%	59.3%	15.4%	**
食事を自分で作る	75.3%	65.8%	53.6%	60.8%	45.9%	19.9%	**
定期的に適度な運動をする	37.0%	41.7%	28.0%	35.5%	25.9%	15.8%	**
家計簿をつける	41.1%	42.5%	32.7%	37.6%	30.5%	12.0%	**
貯金をする	61.6%	57.8%	41.2%	57.5%	36.9%	20.9%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	52.1%	48.0%	35.5%	45.2%	30.2%	17.8%	**
時間に遅れない	79.5%	74.7%	64.7%	72.0%	62.8%	11.9%	**
人との約束を守る	91.8%	89.7%	72.4%	76.9%	68.3%	21.4%	**
社会人としてのマナーを守る	93.2%	87.6%	71.5%	75.8%	64.0%	23.6%	**
あいさつをする	91.8%	86.8%	68.9%	73.7%	62.5%	24.3%	**
人に力を貸す	82.2%	74.4%	53.1%	59.7%	50.0%	24.4%	**
苦手な人ともうまく働く	57.5%	50.9%	29.9%	32.3%	25.0%	25.9%	**
人と交渉する	45.2%	40.5%	21.9%	30.6%	23.5%	17.0%	**
わからないことをたずねる	67.1%	70.1%	52.3%	57.5%	44.8%	25.3%	**
人と世間話をする	54.8%	57.8%	39.4%	43.5%	36.9%	20.9%	**
人の話をさえぎらずに聞く	71.2%	66.1%	50.8%	54.3%	45.3%	20.8%	**
できないことは断る	49.3%	48.3%	38.0%	46.8%	42.2%	6.1%	**
友達をつくる	45.2%	42.5%	26.0%	31.2%	19.2%	23.3%	**
新たな職場環境になじむ	54.8%	49.1%	28.5%	33.9%	26.2%	22.9%	**
自分の主張をはっきり言う	46.6%	45.1%	28.8%	36.6%	29.7%	15.4%	**
なすべきことを一生懸命やる	86.3%	77.3%	60.8%	70.4%	56.7%	20.6%	**
困難にあってもあきらめない	65.8%	59.5%	39.7%	47.8%	39.0%	20.5%	**
職場の目標やルールは大事にする	84.9%	77.0%	58.9%	69.4%	53.8%	23.2%	**
職場に必要な事柄を勉強する	78.1%	74.7%	54.7%	65.6%	53.5%	21.2%	**
職場に必要な技術を身につける	82.2%	71.6%	54.6%	61.8%	54.9%	16.7%	**
必要があれば新たな職場を見つける	53.4%	43.4%	31.5%	43.0%	33.4%	10.0%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	45.2%	38.2%	25.2%	31.2%	21.5%	16.7%	**
ビジネスマナーを理解している	50.7%	55.2%	35.4%	46.8%	29.9%	25.3%	**
自分の能力を正確に把握する	58.9%	53.2%	33.3%	39.8%	29.4%	23.8%	**
自分の長所・短所を理解する	72.6%	58.6%	38.4%	42.5%	31.7%	26.9%	**
自分の悪いところを直す	46.6%	38.5%	21.6%	26.9%	20.6%	17.9%	**
将来の計画を立てる	52.1%	40.8%	21.0%	27.4%	20.6%	20.2%	**
自分の人生設計を立てる	49.3%	38.5%	21.3%	28.0%	17.4%	21.1%	**
将来の職業生活に備える	42.5%	31.6%	16.9%	28.5%	18.0%	13.6%	**
パソコンでメールのやりとりをする	78.1%	75.9%	58.2%	68.3%	62.5%	13.4%	**
パソコンで必要な情報を検索する	82.2%	83.6%	66.4%	75.8%	70.6%	13.0%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	56.2%	61.5%	39.1%	52.2%	45.1%	16.4%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

生活スキルが収入および満足感に与える影響を検討するために重回帰分析を行った。①収入に最も影響を与える生活スキルは、性別・年代・就労状況を含むモデルⅠでは「定期的に適度な運動をする」、性別・年代・就労状況を含まないモデルⅡでは「ビジネスマナーを理解している」であった。ただし、モデルⅠ・モデルⅡともに「食事を自分で作る」のマイナスの影響も大きかった。②満足感に最も影響を与える職業スキルは、モデルⅠでは「苦手な人ともうまく働く」「自分の能力を正確に把握する」「社会人としてのマナーを守る」であった。モデルⅡもおおむね同様であったが「ビジネスマナーを理解している」「自分の人生設計を立てる」も影響を与えていた。

図表3-29 生活スキルが収入・満足感に与える影響(重回帰分析結果)

	収入		満足感	
	モデルⅠ	モデルⅡ	モデルⅠ	モデルⅡ
性別(1=男性、2=女性)	-0.173		0.087	
年代	.117		.127	
就労状況(正社員か否か)	.615		.131	
朝、決まった時間にひとりで起きる		.109		
食事を決まった時間にきちんと取る				
部屋をこまめにそうじをする				
決まったやり方でゴミを出す		-0.084		
食事を自分で作る	-0.070	-0.190		
定期的に適度な運動をする	0.079	0.107		
家計簿をつける				
貯金をする	0.050	0.051		
日々の計画を立てて、計画を守る				
時間に遅れない				
人との約束を守る				
社会人としてのマナーを守る			0.053	0.070
あいさつをする				
人に力を貸す				
苦手な人ともうまく働く			0.084	0.088
人と交渉する	0.044	0.124		
わからないことをたずねる				
人と世間話をする				
人の話をさえぎらずに聞く	-0.049	-0.076		
できないことは断る				
友達をつくる				
新たな職場環境になじむ				
自分の主張をはっきり言う				
なすべきことを一生懸命やる				
困難にあってもあきらめない		0.064		
職場の目標やルールは大事にする				
職場に必要な事柄を勉強する				
職場に必要な技術を身につける				
必要があれば新たな職場を見つける		-0.112		
必要があれば就職活動をうまく行う				
ビジネスマナーを理解している	0.078	0.155		0.074
自分の能力を正確に把握する			0.084	
自分の長所・短所を理解する				
自分の悪いところを直す				
将来の計画を立てる				
自分の人生設計を立てる				0.058
将来の職業生活に備える				
パソコンでメールのやりとりをする				
パソコンで必要な情報を検索する				
新しい道具や機能をうまく使いこなす				
調整済みR ²	.473	.089	.079	.042

※ステップワイズ法による変数選択式の重回帰分析を行った。最終的に5%水準で統計的に有意な変数のみ回帰式に含まれた。モデルⅠは性別・年代・就労状況を含む。モデルⅡは性別・年代・就労状況を含まない。

生活スキルの主成分分析を行った結果、おおむね第1主成分にまとまった。第1主成分に最も負荷量が高かったのは「職場に必要な事柄を勉強する」であった。以下、「職場に必要な技術を身につける」「人に力を貸す」「なすべきことを一生懸命やる」「困難にあってもあきらめない」「自分の長所・短所を理解する」「職場の目標やルールは大事にする」と続いていた。第7主成分までの累積説明率は61.0%であった（図表3-30）。

図表3-30 生活スキルの主成分分析

	1	2	3	4	5	6	7
職場に必要な事柄を勉強する	.72						
職場に必要な技術を身につける	.71						
人に力を貸す	.69						
なすべきことを一生懸命やる	.69						
困難にあってもあきらめない	.68						
自分の長所・短所を理解する	.68						
職場の目標やルールは大事にする	.68						
わからないことをたずねる	.68						
社会人としてのマナーを守る	.68	.45					
ビジネスマナーを理解している	.67						
将来の計画を立てる	.67						
自分の能力を正確に把握する	.66						
あいさつをする	.66						
人と世間話をする	.65						
自分の人生設計を立てる	.65	-.41					
新たな職場環境になじむ	.64						
自分の悪いところを直す	.64						
人との約束を守る	.64	.48					
必要があれば新たな職場を見つける	.64					.42	
将来の職業生活に備える	.62	-.42					
必要があれば就職活動をうまく行う	.62					.47	
人と交渉する	.61						
日々の計画を立てて、計画を守る	.60		.45				
友達をつくる	.60						
苦手な人ともうまく働く	.60						
パソコンでメールのやりとりをする	.59			-.42	.42		
自分の主張をはっきり言う	.59						
人の話をさえぎらずに聞く	.58						
新しい道具や機能をうまく使いこなす	.57						
時間に遅れない	.55	.42					
パソコンで必要な情報を検索する	.55			-.45	.45		
決まったやり方でゴミを出す	.54						
食事を自分で作る	.54						
朝、決まった時間にひとりで起きる	.51	.42					
部屋をこまめにそうじをする	.51		.40				
食事を決まった時間にきちんと取る	.50						
できないことは断る	.50						
定期的に適度な運動をする	.45						
家計簿をつける	.47		.50				
貯金をする	.47		.48				
説明率	37.3%	6.8%	4.8%	3.8%	3.0%	2.6%	2.6%

※主成分分析。負荷量.40以上を表に記載。

生活スキルの因子分析（主因子法バリマックス回転）を行った。その結果、第1因子は「友達をつくる」「新たな職場環境になじむ」「人と世間話をする」の負荷量が高かった。第2因子は「人との約束を守る」「社会人としてのマナーを守る」「時間に遅れない」の負荷量が高かった。第3因子は「自分の人生設計を立てる」「将来の計画を立てる」「将来の職業生活に備える」の負荷量が高かった。以下、第4因子は生活面での規律、第5因子は職場に関連するスキル、第6因子はパソコンその他のスキル、第7因子は就職活動に関連するスキルの項目の負荷量がそれぞれ高かった。8因子までの累積説明率は53.8%であった(図表3-31)。

図表3-31 生活スキルの因子分析(主因子法バリマックス回転)

	1	2	3	4	5	6	7
友達をつくる	.68						
新たな職場環境になじむ	.65						
人と世間話をする	.63						
人と交渉する	.59						
苦手な人ともうまく働く	.57						
自分の主張をはっきり言う	.56						
わからないことをたずねる	.53						
人に力を貸す	.46	.44					
できないことは断る	.42						
ビジネスマナーを理解している	.42						
人の話をさえぎらずに聞く							
人との約束を守る		.75					
社会人としてのマナーを守る		.73					
時間に遅れない		.65					
あいさつをする		.61					
朝、決まった時間にひとりで起きる		.55					
食事を決まった時間にきちんと取る		.46		.43			
決まったやり方でゴミを出す		.43					
食事を自分で作る							
自分の人生設計を立てる			.77				
将来の計画を立てる			.75				
将来の職業生活に備える			.62				
自分の能力を正確に把握する			.48				
自分の悪いところを直す	.40		.46				
自分の長所・短所を理解する			.43				
部屋をこまめにそうじをする				.55			
家計簿をつける				.55			
日々の計画を立てて、計画を守る				.51			
貯金をする				.49			
定期的に適度な運動をする				.42			
職場に必要な事柄を勉強する					.72		
職場に必要な技術を身につける					.66		
職場の目標やルールは大事にする					.57		
なすべきことを一生懸命やる					.53		
困難にあってもあきらめない	.42				.43		
パソコンで必要な情報を検索する						.81	
パソコンでメールのやりとりをする						.72	
新しい道具や機能をうまく使いこなす						.47	
必要があれば就職活動をうまく行う							.75
必要があれば新たな職場を見つける							.66
説明率	12.9%	10.6%	8.3%	6.6%	6.6%	5.1%	3.7%

※主因子法バリマックス回転。因子負荷量.30以上を表に記載。

生活スキルの因子分析（最尤法プロマックス回転）を行った。その結果、第1因子は「人との約束を守る」「時間に遅れない」「社会人としてのマナーを守る」の負荷量が高かった。第2因子は「友達をつくる」「新たな職場環境になじむ」「人と世間話をする」の負荷量が高かった。第3因子は「自分の人生設計を立てる」「将来の計画を立てる」「将来の職業生活に備える」の負荷量が高かった。以下、第4因子は職場に関連するスキル、第5因子はパソコンその他のスキル、第6因子は自己理解、第7因子は就職活動に関連するスキルの項目の負荷量がそれぞれ高かった。因子分析結果は主因子法バリマックス回転と最尤法プロマックス回転で同一であった（図表3-32）。

図表3-32 生活スキルの因子分析(最尤法プロマックス回転)

	1	2	3	4	5	6	7
人との約束を守る	.80						
時間に遅れない	.80						
社会人としてのマナーを守る	.72						
朝、決まった時間にひとりで起きる	.72						
食事を決まった時間にきちんと取る	.68						
決まったやり方でゴミを出す	.58						
あいさつをする	.58						
食事を自分で作る	.50						
部屋をこまめにそうじをする	.41						
貯金をする							
家計簿をつける							
定期的に適度な運動をする							
友達をつくる		.92					
新たな職場環境になじむ		.81					
人と世間話をする		.75					
苦手な人ともうまく働く		.71					
人と交渉する		.66					
自分の主張をはっきり言う		.59					
わからないことをたずねる		.53					
できないことは断る		.42					
人に力を貸す		.42					
人の話をささげらずに聞く							
自分の人生設計を立てる			.99				
将来の計画を立てる			.90				
将来の職業生活に備える			.68				
日々の計画を立てて、計画を守る			.42				
職場に必要な事柄を勉強する				.98			
職場に必要な技術を身につける				.91			
職場の目標やルールは大事にする				.64			
なすべきことを一生懸命やる				.53			
困難にあってもあきらめない							
パソコンで必要な情報を検索する					.96		
パソコンでメールのやりとりをする					.82		
新しい道具や機能をうまく使いこなす					.47		
自分の能力を正確に把握する						.99	
自分の長所・短所を理解する						.78	
ビジネスマナーを理解している						.47	
自分の悪いところを直す							
必要があれば就職活動をうまく行う							.92
必要があれば新たな職場を見つける							.74
因子間相関	.62						
	.44	.61					
	.69	.68	.45				
	.56	.53	.39	.62			
	.52	.70	.63	.63	.53		
	.38	.61	.54	.49	.37	.56	

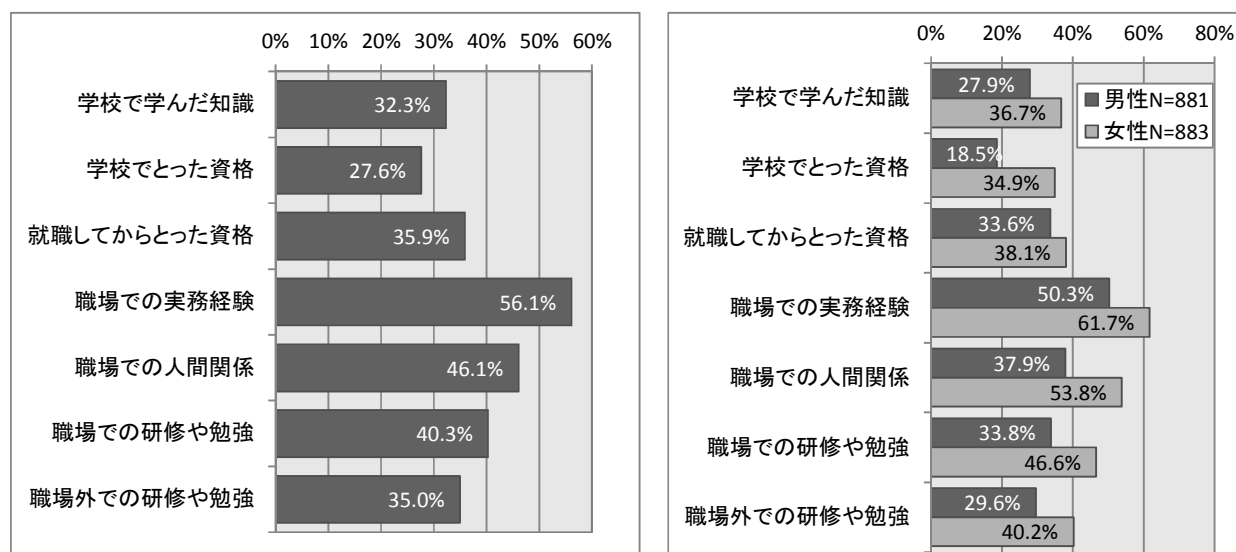
※最尤法プロマックス回転。因子負荷量。回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

第4章 成人の学習経験

調査回答者が「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合が最も高かったのは「職場での実務経験」(32.9%)であった。以下、「職場での人間関係」(46.1%)、「職場での研修や勉強」(40.3%)と続いていた(図表4-1左)。

性別に検討した結果、女性の方が、概して「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合が高かった。特に「職場での人間関係」「学校でとった資格」「職場での研修や勉強」などが役立ったと回答する割合が高かった(図表4-1右および図表4-2)。

図表4-1 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの
(かなり役立ったと思う+やや役立ったと思うに回答した者の割合)(左)および
これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×性別①(右)



図表4-2 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×性別②

	男性 N=881	女性 N=883	差	sig.
学校で学んだ知識	27.9%	36.7%	8.8%	**
学校でとった資格	18.5%	34.9%	16.4%	**
就職してからとった資格	33.6%	38.1%	4.5%	
職場での実務経験	50.3%	61.7%	11.4%	**
職場での人間関係	37.9%	53.8%	15.9%	**
職場での研修や勉強	33.8%	46.6%	12.8%	**
職場外での研修や勉強	29.6%	40.2%	10.6%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は女性-男性の値。

年齢別に検討した結果、年齢が高い方が、概して「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合が高かった。50代と20代で最も差が大きかったのは、「就職してからとった資格」であり、次いで「職場での実務経験」と続いていた（図表4-3）。ただし、おおむね年齢にしたがってU字型に推移しており、「職場での人間関係」「職場での研修や勉強」「職場外での研修や勉強」「学校で学んだ知識」は30代を底とするU字型となっていた。また、「学校でとった資格」は40代を底とするU字型となっていた（図表4-4）。

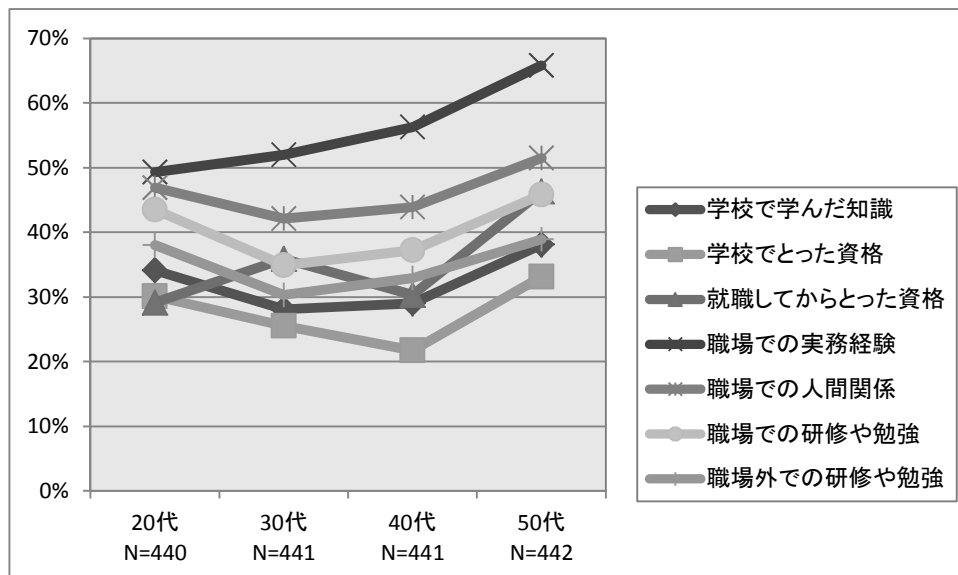
図表4-3 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×年齢①

	20代 N=440	30代 N=441	40代 N=441	50代 N=442	sig.
学校で学んだ知識	34.1%	28.1%	29.0%	38.1%	**
学校でとった資格	30.1%	25.5%	21.7%	33.1%	
就職してからとった資格	29.1%	35.9%	30.3%	46.3%	**
職場での実務経験	49.3%	52.0%	56.3%	65.8%	**
職場での人間関係	46.9%	42.1%	43.9%	51.5%	
職場での研修や勉強	43.5%	34.9%	37.2%	45.8%	
職場外での研修や勉強	38.0%	30.3%	32.9%	38.9%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

図表4-4 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×年齢②

（図表4-3を図示）



最終学歴別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①大学大学院卒は「学校で学んだ知識」が役立ったとする割合が高かった。②専門専修各種学校は「学校でとった資格」の割合が高かった。③高校卒は「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」の割合が低かった。④中学卒は「学校で学んだ知識」「職場での実務経験」が役立ったとする割合が低かった（図表4-5）。

図表4-5 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×最終学歴

	大学 大学院卒 N=729	短大 高専卒 N=196	専門専修 各種 学校卒 N=223	高校卒 N=548	中学校卒 N=60	sig.
学校で学んだ知識	36.8%	34.2%	39.0%	25.1%	8.3%	**
学校でとった資格	27.1%	31.2%	40.1%	20.8%	13.3%	**
就職してからとった資格	38.8%	38.3%	32.4%	32.7%	23.8%	
職場での実務経験	58.3%	59.9%	56.5%	54.8%	24.4%	**
職場での人間関係	47.1%	49.5%	43.9%	46.9%	22.2%	
職場での研修や勉強	41.9%	41.1%	40.5%	39.0%	21.2%	
職場外での研修や勉強	36.5%	38.4%	36.8%	31.7%	23.3%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

大学・短大・高専における学部・学科別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①社会科学系は「学校で学んだ知識」が役立ったとする割合が低かった。②工学系は「学校でとった資格」の割合が低かった。③農学系および教育系は「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった。④医療系は「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった（図表4-6）。

図表4-6 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの
×大学・短大・高専における学部・学科

	人文 科学系 N=213	社会 科学系 N=248	理学系 N=60	工学系 N=132	農学系 N=18	医療系 N=36	福祉系 N=21	家政系 N=52	教育系 N=43	芸術系 N=37	その他 N=60	sig.
学校で学んだ知識	34.8%	27.9%	44.6%	34.4%	41.2%	79.4%	41.2%	25.5%	55.8%	40.5%	35.6%	**
学校でとった資格	23.0%	21.3%	34.2%	10.8%	66.7%	77.4%	46.7%	19.0%	58.5%	24.1%	26.5%	**
就職してからとった資格	43.3%	38.9%	37.2%	38.5%	50.0%	63.6%	40.0%	30.8%	48.0%	8.3%	31.7%	
職場での実務経験	61.1%	54.4%	51.8%	64.1%	68.8%	85.3%	52.9%	51.0%	67.5%	46.9%	50.0%	
職場での人間関係	52.7%	45.2%	37.5%	47.7%	43.8%	61.8%	44.4%	40.8%	59.5%	40.6%	42.9%	
職場での研修や勉強	41.1%	38.7%	35.2%	44.4%	50.0%	57.6%	38.9%	31.1%	52.5%	38.7%	46.2%	
職場外での研修や勉強	38.2%	32.1%	38.0%	32.5%	35.7%	62.1%	33.3%	24.4%	50.0%	38.5%	42.2%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

専修学校・専門学校・各種学校における学科別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①医療関係および衛生関係では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった。②教育・社会福祉関係では「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった（図表4-7）。

図表4-7 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの

× 専修学校・専門学校・各種学校における学科

	医療 関係 N=50	文化・ 教養 関係 その他 N=69	情報 処理 関係 N=104	工業 関係 N=48	衛生 関係 N=19	商業 実務 関係 N=57	教育・ 社会 福祉 関係 N=39	服飾・ 家政 関係 N=26	その他 N=90	sig.
学校で学んだ知識	71.4%	33.3%	35.0%	36.2%	73.7%	32.1%	59.5%	30.8%	35.6%	**
学校でとった資格	74.4%	23.9%	28.0%	27.3%	70.6%	39.6%	66.7%	20.0%	30.8%	**
就職してからとった資格	56.2%	30.2%	31.7%	50.0%	50.0%	40.0%	52.2%	37.5%	41.0%	
職場での実務経験	70.8%	56.9%	53.1%	61.7%	77.8%	51.0%	83.3%	65.2%	56.0%	
職場での人間関係	64.6%	46.2%	38.8%	42.6%	55.6%	34.6%	64.9%	56.5%	49.4%	
職場での研修や勉強	61.7%	41.0%	38.5%	44.4%	61.1%	34.7%	62.9%	42.9%	45.6%	
職場外での研修や勉強	61.7%	40.0%	38.3%	40.5%	58.8%	25.6%	61.3%	50.0%	42.3%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。なお、医療関係は(看護、理学・作業療法、歯科衛生など)、文化・教養関係その他は(受験・補習、デザイン、法律行政、音楽、動物など)、情報処理関係は(プログラマ、システムエンジニア、Webデザインなど)、工業関係は(自動車整備、土木・建築など)、衛生関係は(美容、調理、製菓・製パンなど)、商業実務関係は(経理・簿記、ビジネス、旅行など)、教育・社会福祉関係は(介護福祉、保育士、社会福祉など)、服飾・家政関係は(和洋裁、ファッションビジネス、家政など)を含む。

高校の学科別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①普通科では「学校でとった資格」が役立ったとする割合が低かった。②商業科では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった（図表4-8）。

図表4-8 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×高校の学科

	普通科 N=1274	工業科 N=94	商業科 N=127	その他 N=163	sig.
学校で学んだ知識	32.3%	30.8%	47.2%	33.8%	**
学校でとった資格	25.4%	18.9%	47.9%	33.3%	**
就職してからとった資格	36.3%	46.8%	35.1%	35.6%	
職場での実務経験	58.0%	48.3%	63.0%	56.2%	
職場での人間関係	47.0%	46.0%	53.3%	44.9%	
職場での研修や勉強	40.7%	41.0%	44.1%	42.6%	
職場外での研修や勉強	34.5%	35.9%	37.4%	42.6%	

** p<.01. 残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

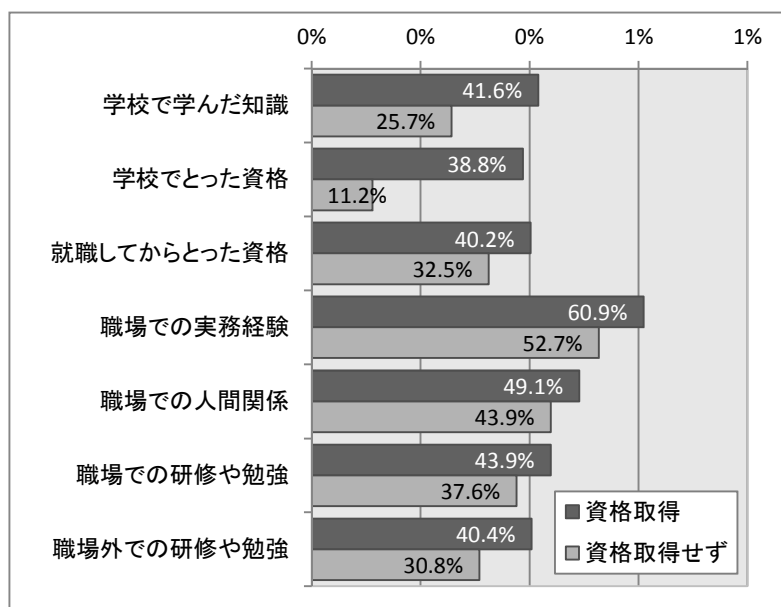
学校時代の資格の有無別に検討した結果、資格を取得した者の方が、概して「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合が高かった。資格を取得した者と取得しなかった者で最も差が大きかったのは、「学校でとった資格」であり、次いで「学校で学んだ知識」「職場外での研修や勉強」と続いていた（図表4-9および図表4-10）。

図表4-9 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×
学校時代の資格取得の有無①

	学校 時代に 資格を 取得 N=722	学校 時代に 資格を 取得 せず N=1042	差	sig.
学校で学んだ知識	41.6%	25.7%	15.9%	**
学校でとった資格	38.8%	11.2%	27.6%	**
就職してからとった資格	40.2%	32.5%	7.7%	**
職場での実務経験	60.9%	52.7%	8.2%	**
職場での人間関係	49.1%	43.9%	5.2%	
職場での研修や勉強	43.9%	37.6%	6.3%	**
職場外での研修や勉強	40.4%	30.8%	9.6%	**

** p<0.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。

図表4-10 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×
学校時代の資格取得の有無②(図表4-9を図示)



学校時代に取得した資格別に検討した結果、資格を取得した者の方が、概して「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合が高かった。特に、医療保険衛生関係の資格を取得した者は、取得しなかった者と比べて、「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「就職してからとった資格」「職場での実務経験」「職場での人間関係」「職場での研修や勉強」「職場外での研修や勉強」のすべての面で役立ったと回答した。その他、技術・情報処理関係、社会福祉関係、事務処理関連（簿記・パソコンなど）、海外・国際関係の資格を取得した者は、取得しなかった者と比べて、「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「就職してからとった資格」が役立ったと回答する割合が高かった（図表4-11）。

図表4-11 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×学校時代に取得した資格

技術・情報処理関係	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	31.4%	43.5%	**
学校でとった資格	26.1%	40.0%	**
就職してからとった資格	35.6%	39.8%	
職場での実務経験	56.1%	56.5%	
職場での人間関係	46.0%	47.2%	
職場での研修や勉強	39.6%	48.7%	
職場外での研修や勉強	34.3%	42.6%	

医療保健衛生	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	31.1%	77.3%	**
学校でとった資格	25.6%	79.5%	**
就職してからとった資格	34.9%	68.8%	**
職場での実務経験	55.3%	84.1%	**
職場での人間関係	45.2%	77.3%	**
職場での研修や勉強	39.3%	75.6%	**
職場外での研修や勉強	33.9%	68.3%	**

社会福祉	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	31.7%	64.7%	
学校でとった資格	26.5%	64.7%	
就職してからとった資格	35.3%	59.3%	
職場での実務経験	56.1%	59.4%	
職場での人間関係	45.8%	61.8%	
職場での研修や勉強	40.1%	53.1%	
職場外での研修や勉強	34.5%	56.2%	

事務処理関係(簿記・パソコンなど)	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	30.6%	40.3%	**
学校でとった資格	23.3%	40.1%	**
就職してからとった資格	35.7%	36.6%	
職場での実務経験	54.8%	61.9%	
職場での人間関係	45.0%	50.8%	
職場での研修や勉強	40.3%	40.7%	
職場外での研修や勉強	35.1%	34.6%	

営業・販売・サービス・保安関係	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	32.1%	50.0%	
学校でとった資格	27.3%	41.7%	
就職してからとった資格	35.8%	40.0%	
職場での実務経験	56.0%	65.2%	
職場での人間関係	46.0%	52.2%	
職場での研修や勉強	40.2%	50.0%	
職場外での研修や勉強	34.7%	50.0%	

運輸(運転・操縦)、通信関係	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	31.8%	44.1%	
学校でとった資格	26.9%	40.6%	
就職してからとった資格	35.8%	38.5%	
職場での実務経験	55.7%	65.7%	
職場での人間関係	46.1%	47.1%	
職場での研修や勉強	40.3%	42.2%	
職場外での研修や勉強	35.0%	34.5%	

製造関連技能	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	32.2%	43.5%	
学校でとった資格	27.4%	36.4%	
就職してからとった資格	35.7%	47.6%	
職場での実務経験	56.1%	60.9%	
職場での人間関係	45.9%	56.5%	
職場での研修や勉強	40.2%	47.8%	
職場外での研修や勉強	34.8%	47.8%	

定置機関(ボイラー・クレーンなど)、建設機械 運転、電気・建設、土木工事、その他関連	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	32.5%	25.6%	
学校でとった資格	27.7%	23.7%	
就職してからとった資格	35.7%	42.4%	
職場での実務経験	56.6%	36.8%	
職場での人間関係	46.4%	31.6%	
職場での研修や勉強	40.6%	30.6%	
職場外での研修や勉強	35.3%	21.2%	

海外・国際関係	資格	資格	sig.
	なし	あり	
学校で学んだ知識	31.7%	45.9%	**
学校でとった資格	26.8%	39.7%	
就職してからとった資格	34.9%	54.1%	**
職場での実務経験	55.7%	65.2%	
職場での人間関係	45.9%	50.0%	
職場での研修や勉強	40.2%	42.6%	
職場外での研修や勉強	34.4%	47.6%	

** p<.01. 残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけを付した。

おもな家計負担者別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①「おもに自分」では「職場での実務経験」「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった。②「おもに配偶者」では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「職場での実務経験」「職場での人間関係」「職場での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった。③「おもに親」では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「職場での実務経験」「職場での人間関係」「職場での研修や勉強」「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が低かった（図表4-12）。

図表4-12 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×おもな家計負担者

	おもに 自分 N=619	おもに 配偶者 N=477	自分と 配偶者 半々 N=103	おもに 親 N=476	その他 N=89	sig.
学校で学んだ知識	34.3%	39.3%	28.2%	24.9%	23.5%	**
学校でとった資格	28.5%	36.2%	22.8%	19.9%	12.2%	**
就職してからとった資格	35.9%	39.9%	43.0%	29.0%	33.9%	
職場での実務経験	62.0%	62.9%	59.8%	39.3%	53.8%	**
職場での人間関係	48.5%	57.7%	47.1%	30.2%	40.0%	**
職場での研修や勉強	40.8%	51.2%	40.8%	26.7%	40.0%	**
職場外での研修や勉強	39.4%	39.7%	35.6%	22.6%	30.3%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、年収が高い者の方が、概して「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は高かった。特に、①「600万以上」では「就職してからとった資格」「職場での実務経験」「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった。②「～600万」では「学校で学んだ知識」「職場での実務経験」「職場での人間関係」「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった。③「～400万」では「職場での実務経験」「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった。④「収入なし」および「～100万」では「就職してからとった資格」「職場での実務経験」「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が低かった（図表4-13）。

図表4-13 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×最近1年間の税込個人年収

	収入 なし N=523	～100万 N=408	～200万 N=253	～300万 N=196	～400万 N=143	～600万 N=126	600万～ N=115	sig.
学校で学んだ知識	28.9%	30.8%	28.4%	30.4%	39.4%	44.4%	41.4%	**
学校でとった資格	26.8%	22.4%	28.4%	27.7%	32.1%	32.6%	35.4%	
就職してからとった資格	29.4%	28.8%	40.4%	36.2%	41.2%	46.9%	48.9%	**
職場での実務経験	50.6%	48.6%	55.4%	54.7%	68.1%	72.2%	74.1%	**
職場での人間関係	42.7%	41.4%	48.6%	42.9%	50.7%	59.5%	54.5%	**
職場での研修や勉強	38.4%	33.2%	38.9%	42.6%	48.5%	47.6%	50.9%	
職場外での研修や勉強	27.2%	28.7%	36.5%	34.0%	49.6%	47.4%	47.5%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

現在の立場・身分別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は、概して「正社員」が高く、「無業者」で低かった。「正社員」と「無業者」で最も差が大きかったのは「職場での実務経験」であり、ついで「職場外での研修や勉強」が続いていた（図表4-14）。

図表4-14 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×現在の立場・身分

	正社員 N=439	非正社員 N=442	求職者 N=413	無業者 N=455	差	sig.
学校で学んだ知識	40.6%	26.8%	32.9%	28.8%	11.8%	**
学校でとった資格	34.1%	23.5%	23.9%	27.6%	6.5%	
就職してからとった資格	45.0%	30.1%	34.1%	32.7%	12.3%	**
職場での実務経験	68.9%	50.2%	55.5%	49.0%	19.9%	**
職場での人間関係	51.3%	47.5%	44.9%	39.7%	11.6%	**
職場での研修や勉強	47.2%	36.7%	38.2%	37.7%	9.5%	**
職場外での研修や勉強	44.0%	33.5%	33.5%	26.7%	17.3%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所には網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は正社員－無業者。

勤務先の業種別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①医療、福祉では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「就職してからとった資格」が役立ったとする割合が高かった。②教育、学習支援業では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった（図表4-15）。

図表4-15 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×勤務先の業種

	建設業 N=33	製造業 N=142	情報 通信業 N=47	運輸業 N=42	卸売・ 小売業 N=116	金融・ 保険業 N=23	飲食店 宿泊業 N=31	医療、 福祉 N=73	教育、 学習 支援業 N=57	その他 のサー ビス業 N=171	公務 N=31	その他 N=93	sig.
学校で学んだ知識	51.6%	32.4%	34.0%	10.0%	24.6%	28.6%	35.5%	55.7%	63.2%	28.2%	45.2%	27.0%	**
学校でとった資格	20.0%	25.6%	29.6%	12.5%	15.9%	23.5%	20.8%	50.8%	58.7%	26.4%	40.0%	25.4%	**
就職してからとった資格	56.5%	37.2%	38.7%	31.2%	25.8%	57.1%	26.3%	54.9%	50.0%	36.6%	37.5%	24.5%	**
職場での実務経験	64.5%	67.9%	57.4%	42.9%	52.3%	60.9%	54.8%	65.3%	70.4%	59.4%	73.3%	45.9%	
職場での人間関係	50.0%	49.6%	34.0%	40.5%	45.5%	54.5%	61.3%	54.2%	54.7%	53.6%	60.0%	40.0%	
職場での研修や勉強	35.5%	45.2%	29.5%	30.0%	36.6%	40.9%	55.6%	45.7%	47.1%	45.7%	56.7%	35.1%	
職場外での研修や勉強	37.9%	40.2%	43.6%	28.9%	33.7%	36.4%	45.8%	48.5%	45.8%	41.0%	48.1%	25.0%	

** p<.01。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所には網かけを付した。

現在の職業別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①専門的・技術的職業では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「就職してからとった資格」「職場での実務経験」「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった。②販売の職業では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「職場での実務経験」が役立ったとする割合が低かった。③サービスの職業では「職場での実務経験」が役立ったとする割合が低かった。④「運輸・通信の職業」では「学校でとった資格」が役立ったとする割合が低かった。⑥生産工程・建設軽作業などの職業では「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」が役立ったとする割合が低かった（図表4-16）。

図表4-16 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×現在の職業

	専門的 技術的 職業 N=194	管理的 職業 N=37	事務的 職業 N=244	販売の 職業 N=75	サービ スの 職業 N=93	運輸 通信の 職業 N=25	生産 工程 建設 軽作業 などの 仕事 N=79	sig.
学校で学んだ知識	55.0%	37.8%	36.4%	21.6%	24.2%	12.5%	17.3%	**
学校でとった資格	45.7%	40.7%	32.0%	11.3%	22.7%	0.0%	10.5%	**
就職してからとった資格	52.8%	50.0%	39.8%	23.1%	26.7%	30.0%	29.3%	**
職場での実務経験	73.5%	78.4%	66.4%	44.4%	50.0%	48.0%	50.7%	**
職場での人間関係	58.8%	59.5%	49.0%	44.4%	48.9%	44.0%	50.7%	
職場での研修や勉強	50.6%	52.8%	45.3%	39.1%	36.6%	33.3%	38.5%	
職場外での研修や勉強	53.8%	55.6%	38.6%	32.7%	32.9%	20.0%	33.3%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所は網かけ、有意に値が低い箇所は下線を付した。なお、専門的・技術的職業は「教師・看護師・エンジニア・デザイナーなど」、管理的職業は「会社や役所での課長・部長以上など」、事務的職業は「会社や役所での一般事務・経理、内勤の営業など」、販売の職業は「小売店やコンビニなどでの販売や外勤のセールス、不動産売買など」、サービスの職業は「接客、飲食物調理、理容師・美容師、パチンコ店店員など」、運輸・通信の職業は「鉄道運転、自動車運転、郵便の集配・配達など」、生産工程・建設・軽作業などの仕事は「工場のオペレーターや組立工、電気工事、軽作業など」。

勤務先の従業員数別に検討した結果、統計的に差はみられなかった（図表4-17）。

図表4-17 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×勤務先の従業員数

	30人 未満 N=334	100人 未満 N=169	1000人 未満 N=211	1000人 以上 N=180	sig.
学校で学んだ知識	32.3%	29.8%	41.2%	32.2%	
学校でとった資格	27.1%	28.2%	35.7%	25.6%	
就職してからとった資格	33.6%	36.5%	41.8%	42.1%	
職場での実務経験	56.5%	54.6%	63.7%	65.0%	
職場での人間関係	48.6%	42.9%	52.0%	53.4%	
職場での研修や勉強	41.6%	34.7%	44.0%	48.5%	
職場外での研修や勉強	36.6%	33.6%	47.6%	38.9%	

※統計的に有意な違いなし。

勤務先の職位別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①「係長・主任」は「学校で学んだ知識」が役立ったと回答した割合が高かった。②「役員、部長」は「職場での実務経験」「職場外での研修や勉強」が役立ったと回答した割合が高かった（図表4-18）。

図表4-18 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×勤務先の職位

	一般社員・職員 N=471	係長・主任 N=51	課長、課長補佐 N=38	役員、部長 N=30	その他 N=304	sig.
学校で学んだ知識	34.5%	50.0%	47.4%	36.7%	28.0%	**
学校でとった資格	30.6%	33.3%	29.6%	44.4%	24.8%	
就職してからとった資格	40.8%	50.0%	41.9%	58.3%	27.7%	**
職場での実務経験	62.7%	73.5%	71.1%	83.3%	48.1%	**
職場での人間関係	49.6%	55.1%	47.4%	70.0%	46.0%	
職場での研修や勉強	43.4%	46.9%	50.0%	65.5%	36.2%	
職場外での研修や勉強	40.6%	46.7%	39.4%	67.9%	31.1%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

転職回数別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合について、以下の結果がみられた。①「転職3回」「転職4回以上」の者は「職場での実務経験」が役立ったと回答した割合が高かった。②「転職なし」は「職場での実務経験」「職場での研修や勉強」が役立ったと回答した割合が低かった（図表4-19）。

図表4-19 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×転職回数

	転職なし N=796	転職1回 N=221	転職2回 N=216	転職3回 N=230	転職4回以上 N=299	sig.
学校で学んだ知識	34.0%	36.9%	29.0%	33.3%	26.0%	
学校でとった資格	27.8%	27.0%	27.8%	32.0%	23.7%	
就職してからとった資格	31.0%	42.4%	30.9%	41.7%	40.0%	
職場での実務経験	46.7%	61.6%	60.8%	64.0%	64.1%	**
職場での人間関係	40.4%	50.0%	53.1%	51.1%	47.4%	**
職場での研修や勉強	38.1%	42.2%	42.2%	44.3%	39.0%	
職場外での研修や勉強	29.7%	38.8%	35.9%	41.1%	38.1%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

失業・休職経験の有無別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は、概して「過去に失業・休職を経験」した者が高く、「失業・休職の経験なし」の者が低かった。特に、「職場での実務経験」「職場での人間関係」「職場外での研修や勉強」で統計的に有意な差がみられた（図表4-20）。

図表4-20 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×失業・休職の経験の有無

	現在、 失業中 休職中 N=451	過去に 失業・ 休職を 経験 N=466	失業・ 休職の 経験 なし N=847	sig.
学校で学んだ知識	29.4%	31.9%	34.2%	
学校でとった資格	24.2%	30.7%	27.5%	
就職してからとった資格	36.8%	39.1%	33.7%	
職場での実務経験	55.5%	63.5%	52.0% **	
職場での人間関係	43.3%	53.4%	43.2% **	
職場での研修や勉強	37.4%	43.9%	39.8%	
職場外での研修や勉強	32.7%	42.0%	32.2% **	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

次の就職先を真剣に探している程度別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は、概して「どちらとも言えない」と回答した者が低かった。特に、「次の就職先をまったく探していない」者は「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった。また、「次の就職先をやや真剣に探している」者は「職場外での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった（図表4-21）。

図表4-21 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの
× 次の就職先を真剣に探している程度

	次の 就職先を かなり 真剣に 探して いる N=199	次の 就職先を やや 真剣に 探して いる N=274	どちら とも 言え ない N=384	次の 就職先を あまり 真剣に 探して いない N=234	次の 就職先を まったく 探して いない N=673	sig.
学校で学んだ知識	29.9%	34.6%	26.9%	34.8%	34.4%	
学校でとった資格	21.6%	28.8%	20.0%	31.8%	32.3% **	
就職してからとった資格	37.2%	41.9%	25.1%	37.8%	39.1% **	
職場での実務経験	56.4%	58.2%	48.0%	63.1%	57.4% **	
職場での人間関係	50.3%	47.3%	39.3%	47.7%	47.8%	
職場での研修や勉強	34.3%	42.4%	33.9%	43.7%	44.2% **	
職場外での研修や勉強	33.1%	43.3%	28.4%	41.2%	34.2% **	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

これまでのキャリア別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は、概して「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者で高かった。特に、①「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」者は「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「職場での実務経験」「職場での研修や勉強」が役立ったとする割合が高かった。②「特定の分野で1つの仕事を長く経験してきている」者は「学校でとった資格」が役立ったとする割合が高かった。③「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」者は「学校で学んだ知識」「学校でとった資格」「職場での実務経験」が役立ったとする割合が低かった。(図表4-22)。

図表4-22 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの×これまでのキャリア

	特定の分野で1つの仕事を長く経験してきている N=741	特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=403	いろいろな分野で1つの仕事を長く経験してきている N=203	いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=417	sig.
学校で学んだ知識	35.1%	38.5%	25.5%	24.6%	**
学校でとった資格	32.9%	33.7%	20.1%	16.1%	**
就職してからとった資格	35.3%	41.2%	27.7%	35.7%	
職場での実務経験	58.0%	65.3%	44.3%	49.6%	**
職場での人間関係	46.2%	51.7%	39.9%	43.4%	
職場での研修や勉強	40.5%	47.0%	34.3%	36.0%	**
職場外での研修や勉強	35.4%	40.1%	33.1%	29.9%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

職業能力が同業他社で通用するか否か別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は、概して「通用する」と回答した者で高く、「ほとんど通用しない」と回答した者で低かった。「通用する」と「ほとんど通用しない」と回答した者で最も差が大きかったのは「職場での実務関係」であり、以下、「職場外での研修や勉強」「職場での人間関係」と続いていた(図表4-23)。

図表4-23 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの
×あなたの職業能力は同業他社で通用するか否か

	通用する N=182	ある程度通用する N=425	どちらとも言えない N=612	あまり通用しない N=228	ほとんど通用しない N=317	差	sig.
学校で学んだ知識	42.6%	49.0%	25.7%	27.0%	19.3%	23.3%	**
学校でとった資格	40.0%	44.7%	20.8%	21.2%	12.7%	27.3%	**
就職してからとった資格	50.8%	53.6%	26.5%	30.5%	17.2%	33.6%	**
職場での実務経験	81.7%	79.6%	48.9%	50.0%	19.8%	61.9%	**
職場での人間関係	64.8%	62.7%	41.2%	42.3%	19.3%	45.5%	**
職場での研修や勉強	57.3%	57.0%	33.8%	37.6%	15.0%	42.3%	**
職場外での研修や勉強	62.5%	53.2%	24.4%	25.3%	13.1%	49.4%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「通用する」-「ほとんど通用しない」。

これまでの職業生活やキャリアに対する満足感別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は、「おおむね満足している」と回答した者で高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も差が大きかったのは「職場での実務経験」であった。以下、「職場での人間関係」「職場での研修や勉強」「就職してからとった資格」と続いていた（図表4-24）。

図表4-24 これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思うもの
×これまでの職業生活やキャリアに対する満足感

	全く満足していない N=256	あまり満足していない N=394	どちらとも言えない N=820	おおむね満足している N=268	とても満足している N=26	差	sig.
学校で学んだ知識	13.7%	33.7%	29.5%	53.6%	47.6%	39.9%	**
学校でとった資格	10.0%	30.6%	22.8%	48.7%	47.4%	38.7%	**
就職してからとった資格	18.3%	42.2%	28.8%	60.0%	35.3%	41.7%	**
職場での実務経験	31.9%	56.8%	53.0%	83.0%	63.2%	51.1%	**
職場での人間関係	28.2%	47.8%	40.8%	72.5%	52.6%	44.3%	**
職場での研修や勉強	20.8%	41.4%	35.8%	64.9%	55.6%	44.1%	**
職場外での研修や勉強	21.4%	34.7%	30.4%	58.1%	44.4%	36.7%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

収入に対する満足感別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は「おおむね満足している」と回答した者で高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も差が大きかったのは「職場での研修や勉強」であった。以下、「職場での人間関係」「学校で学んだ知識」と続いていた（図表4-25）。

図表4-25 これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思うもの
×収入に対する満足感

収入に対する満足感	とても満足している N=23	おおむね満足している N=237	どちらとも言えない N=515	あまり満足していない N=426	全く満足していない N=563	差	sig.
学校で学んだ知識	65.0%	50.9%	30.3%	34.6%	22.8%	28.1%	**
学校でとった資格	52.9%	45.2%	22.6%	28.4%	21.0%	24.2%	**
就職してからとった資格	50.0%	57.0%	25.8%	37.4%	35.2%	21.8%	**
職場での実務経験	66.7%	77.8%	49.3%	59.2%	49.9%	27.9%	**
職場での人間関係	50.0%	66.1%	42.1%	50.2%	37.0%	29.1%	**
職場での研修や勉強	68.8%	63.1%	34.6%	41.0%	33.5%	29.6%	**
職場外での研修や勉強	43.8%	58.6%	27.4%	35.5%	30.9%	27.7%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

仕事上の地位に対する満足感別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は「おおむね満足している」と回答した者で高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も差が大きかったのは「職場での人間関係」であった。以下、「職場での実務経験」「職場での研修や勉強」と続いていた（図表4-26）。

図表4-26 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの
× 仕事上の地位に対する満足感

仕事上の地位に対する満足感	とても満足している N=34	おおむね満足している N=268	どちらとも言えない N=845	あまり満足していない N=215	全く満足していない N=402	差	sig.
学校で学んだ知識	59.4%	52.7%	29.9%	30.4%	21.7%	31.0%	**
学校でとった資格	57.7%	44.0%	23.6%	28.7%	19.0%	25.0%	**
就職してからとった資格	63.2%	53.6%	32.8%	31.6%	29.7%	23.9%	**
職場での実務経験	72.4%	80.2%	52.4%	53.6%	46.2%	34.0%	**
職場での人間関係	69.0%	71.1%	41.7%	44.9%	35.4%	35.7%	**
職場での研修や勉強	64.3%	65.7%	34.1%	37.9%	33.5%	32.2%	**
職場外での研修や勉強	67.9%	59.4%	27.1%	33.3%	31.2%	28.2%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

仕事内容に対する満足感別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は「おおむね満足している」と回答した者で高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も差が大きかったのは「職場での実務経験」であった。以下、「職場での人間関係」「職場外での研修や勉強」と続いていた（図表4-27）。

図表4-27 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの
× 仕事内容に対する満足感

仕事内容に対する満足感	とても満足している N=43	おおむね満足している N=349	どちらとも言えない N=804	あまり満足していない N=212	全く満足していない N=356	差	sig.
学校で学んだ知識	57.5%	48.4%	30.3%	26.7%	20.8%	27.6%	**
学校でとった資格	51.5%	42.5%	23.5%	26.0%	17.6%	24.9%	**
就職してからとった資格	54.5%	54.1%	30.2%	32.7%	29.6%	24.5%	**
職場での実務経験	71.1%	80.9%	49.2%	58.5%	42.0%	38.9%	**
職場での人間関係	63.2%	69.1%	40.1%	45.1%	33.4%	35.7%	**
職場での研修や勉強	74.3%	60.7%	31.9%	42.7%	31.8%	28.9%	**
職場外での研修や勉強	73.5%	59.5%	23.6%	36.0%	28.9%	30.6%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

職場の人間関係に対する満足感別に検討した結果、「これまでの職業生活やキャリアで役立ったと思う」と回答した割合は「おおむね満足している」と回答した者で高かった。「おおむね満足している」と回答した者と「全く満足していない」と回答した者で最も差が大きかったのは「職場での人間関係」であった。以下、「職場での実務経験」「職場での研修や勉強」と続いていた（図表4-28）。

図表4-28 これまでの職業生活やキャリアで役だったと思うもの
× 職場の人間関係に対する満足感

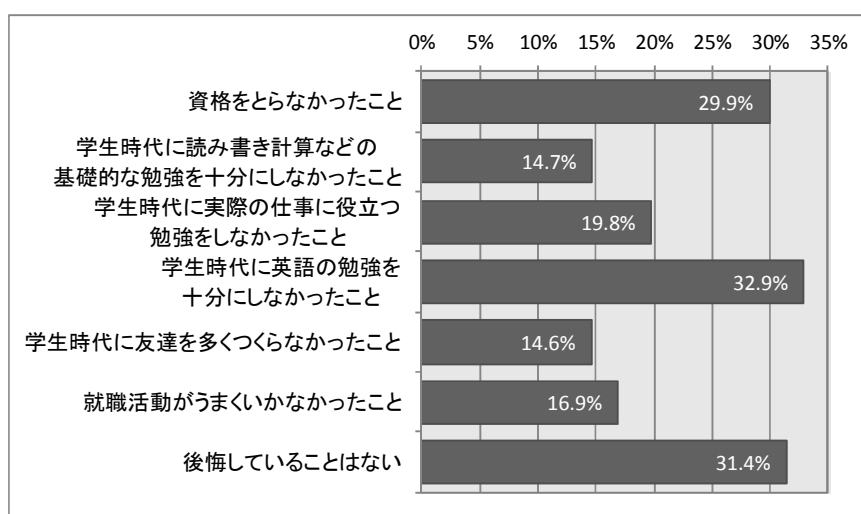
職場の人間関係に対する満足感	とても満足している N=73	おおむね満足している N=348	どちらとも言えない N=813	あまり満足していない N=186	全く満足していない N=344	差	sig.
学校で学んだ知識	42.9%	50.9%	29.7%	24.7%	20.8%	30.1%	**
学校でとった資格	41.5%	45.3%	22.9%	24.3%	17.0%	28.3%	**
就職してからとった資格	47.6%	53.0%	29.2%	34.8%	31.2%	21.8%	**
職場での実務経験	75.0%	77.6%	50.2%	56.7%	41.7%	35.9%	**
職場での人間関係	79.1%	72.0%	39.0%	37.6%	31.6%	40.4%	**
職場での研修や勉強	69.4%	63.4%	32.1%	35.5%	30.4%	33.0%	**
職場外での研修や勉強	60.8%	60.1%	24.0%	34.8%	28.4%	31.7%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「おおむね満足している」-「全く満足していない」。

第5章 成人の後悔

図表5-1に示した質問項目で、成人の職業・キャリア上の後悔についてたずねた。最も多かった回答は「学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと」(32.9%)であり、以下、「資格をとらなかったこと」(29.9%)、「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」(19.8%)と続いていた。なお、「後悔していることはない」(31.4%)も多かった。

図表5-1 後悔すること



性別に検討した結果、男性は、女性よりも「就職活動がうまくいかなかったこと」に後悔していた。

図表5-2 後悔すること×性別

	男性 N=881	女性 N=883	sig.
資格をとらなかったこと	27.8%	32.0%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	15.2%	14.2%	
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	18.4%	21.3%	
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	30.6%	35.1%	
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	16.3%	12.9%	
就職活動がうまくいかなかったこと	19.6%	14.2%	**
後悔していることはない	33.0%	29.8%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。

年齢別に検討した結果、年齢が若い方が、概して「後悔する」と回答した割合が高かった。20代は50代に比べて「学生時代に友達を多くつくらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」で後悔する割合が高かった。また、50代は「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかったこと」で後悔する割合が低かった（図表2-3）。

図表5-3 後悔すること×年齢

	20代 N=440	30代 N=441	40代 N=441	50代 N=442	sig.
資格をとらなかったこと	28.9%	32.2%	29.9%	28.7%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかったこと	18.4%	15.9%	14.3%	10.2%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	22.5%	21.8%	20.2%	14.9%	
学生時代に英語の勉強を十分にしなかったこと	30.0%	32.0%	32.4%	37.1%	
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	20.5%	17.7%	10.7%	9.7%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	25.0%	20.2%	13.8%	8.6%	**
後悔していることはない	33.4%	29.0%	31.1%	32.1%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

既婚・未婚別に検討した結果、未婚者の方が、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、未婚者は「学生時代に友人を多くつくらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」で後悔する割合が高かった（図表5-4）。

図表5-4 後悔すること×既婚・未婚

	既婚 N=789	未婚 N=975	sig.
資格をとらなかったこと	28.9%	30.8%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかったこと	12.3%	16.6%	
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	17.5%	21.7%	
学生時代に英語の勉強を十分にしなかったこと	34.1%	31.9%	
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	11.7%	17.0%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	8.0%	24.1%	**
後悔していることはない	33.0%	30.2%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。

最終学歴別に検討した結果、学歴が低い方が、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、①「高校卒」は「資格をとらなかったこと」で後悔する割合が高かった。②「中学校卒」は「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと」で後悔する割合が高かった。③「大学・大学院卒」は「資格をとらなかったこと」「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと」で後悔する割合が低かった。(図表5-5)。

図表5-5 後悔すること×最終学歴

	大学 大学院卒 N=729	短大 高専卒 N=196	専門専修 各種 学校卒 N=223	高校卒 N=548	中学校卒 N=60	sig.
資格をとらなかったこと	24.3%	29.6%	32.3%	36.5%	31.7%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	10.6%	12.8%	17.0%	17.9%	35.0%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	18.9%	23.5%	19.7%	20.4%	15.0%	
学生時代に英語の勉強を十分に できなかったこと	33.3%	35.7%	38.6%	29.9%	26.7%	
学生時代に友達を多くつくらなかった こと	14.8%	8.7%	18.8%	15.0%	15.0%	
就職活動がうまくいかなかったこと	18.9%	16.3%	17.0%	15.0%	13.3%	
後悔していることはない	32.9%	29.6%	24.2%	31.9%	36.7%	

** p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所を網かけ、有意に値が低い箇所を下線を付した。

大学・短大・高専における学部・学科別に検討した結果、統計的に有意な結果はあまりみられなかった。ただし、①「福祉系」で「学生時代に友達を多くつくらなかったこと」を後悔する割合が高かった。②「医療系」で「資格をとらなかったこと」を後悔する割合が低かった(図表5-6)

図表5-6 後悔すること×大学・短大・高専における学部・学科

	人文 科学系 N=213	社会 科学系 N=248	理学系 N=60	工学系 N=132	農学系 N=18	医療系 N=36	福祉系 N=21	家政系 N=52	教育系 N=43	芸術系 N=37	その他 N=60	sig.
資格をとらなかったこと	30.5%	30.2%	25.0%	19.7%	16.7%	2.8%	19.0%	15.4%	11.6%	35.1%	33.3%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	10.3%	10.5%	11.7%	13.6%	0.0%	8.3%	14.3%	5.8%	9.3%	16.2%	15.0%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	22.1%	20.6%	16.7%	16.7%	11.1%	13.9%	23.8%	19.2%	16.3%	24.3%	26.7%	
学生時代に英語の勉強を十分に できなかったこと	36.6%	34.3%	26.7%	36.4%	22.2%	22.2%	19.0%	32.7%	44.2%	40.5%	30.0%	
学生時代に友達を多くつくらなかった こと	9.4%	16.5%	16.7%	16.7%	0.0%	13.9%	33.3%	1.9%	9.3%	10.8%	16.7%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	18.8%	24.2%	16.7%	11.4%	11.1%	8.3%	9.5%	15.4%	11.6%	24.3%	25.0%	
後悔していることはない	31.5%	28.6%	35.0%	38.6%	50.0%	47.2%	23.8%	42.3%	27.9%	24.3%	20.0%	

** p<0.1。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所を網かけ、有意に値が低い箇所を下線を付した。

専修学校・専門学校・各種学校における学科別に検討した結果、統計的に有意な差はみられなかった（図表5-7）。

図表5-7 後悔すること×専修学校・専門学校・各種学校における学科

	医療 関係 N=50	文化・ 教養 関係 その他 N=69	情報 処理 関係 N=104	工業 関係 N=48	衛生 関係 N=19	商業 実務 関係 N=57	教育・ 社会 福祉 関係 N=39	服飾・ 家政 関係 N=26	その他 N=90	sig.
資格をとらなかったこと	18.0%	37.7%	28.8%	29.2%	21.1%	17.5%	25.6%	34.6%	25.6%	
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	16.0%	20.3%	20.2%	16.7%	15.8%	12.3%	12.8%	11.5%	15.6%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	16.0%	29.0%	23.1%	16.7%	10.5%	14.0%	23.1%	42.3%	21.1%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかったこと	46.0%	47.8%	33.7%	31.3%	42.1%	45.6%	35.9%	30.8%	31.1%	
学生時代に友達を多くつづらなかつた こと	22.0%	23.2%	17.3%	18.8%	26.3%	10.5%	23.1%	19.2%	14.4%	
就職活動がうまくいかなかったこと	14.0%	23.2%	23.1%	8.3%	10.5%	8.8%	15.4%	23.1%	17.8%	
後悔していることはない	26.0%	17.4%	26.9%	39.6%	10.5%	28.1%	23.1%	23.1%	33.3%	

統計的に有意な違いなし。なお、医療関係は（看護、理学・作業療法、歯科衛生など）、文化・教養関係その他は（受験・補習、デザイン、法律行政、音楽、動物など）、情報処理関係は（プログラマ、システムエンジニア、Webデザインなど）、工業関係は（自動車整備、土木・建築など）、衛生関係は（美容、調理、製菓・製パンなど）、商業実務関係は（経理・簿記、ビジネス、旅行など）、教育・社会福祉関係は（介護福祉、保育士、社会福祉など）、服飾・家政関係は（和洋裁、ファッションビジネス、家政など）を含む。

高校の学科別に検討した結果、「普通科」では「資格をとらなかったこと」を後悔する割合が高かった。一方、「商業科」では「資格をとらなかったこと」を後悔する割合が低かった（図表5-8）

図表5-8 後悔すること×高校の学科別

	普通科 N=1274	工業科 N=94	商業科 N=127	その他 N=163	sig.
資格をとらなかったこと	32.6%	28.7%	18.9%	23.3%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	13.7%	13.8%	15.7%	17.8%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	20.8%	18.1%	15.7%	19.6%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかったこと	35.1%	26.6%	31.5%	28.2%	
学生時代に友達を多くつづらなかつた こと	14.6%	16.0%	15.0%	16.6%	
就職活動がうまくいかなかったこと	17.9%	19.1%	12.6%	16.0%	
後悔していることはない	29.4%	42.6%	27.6%	32.5%	

** p<.01。残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

学校時代の資格取得の有無別に検討した結果、「学校時代に資格を取得しなかった」者は「資格をとらなかつたこと」を後悔する割合が高かつた（図表5－9）。

図表5－9 後悔すること×学校時代の資格取得の有無

	学校 時代に 資格を 取得 N=722	学校 時代に 資格を 取得 せず N=1042	sig.
資格をとらなかつたこと	22.0%	35.4%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	14.4%	14.9%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかつたこと	18.4%	20.8%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかつたこと	35.0%	31.4%	
学生時代に友達を多くつくらなかつた こと	16.8%	13.1%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	17.9%	16.2%	
後悔していることはない	28.4%	33.5%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。

学校時代に取得した資格別に検討した結果、医療保険衛生関連の資格を取得した者と取得しなかつた者で統計的に有意な差がみられた。「資格なし」の者は「資格をとらなかつたこと」を後悔する割合が高かつた（図表5－10）。

図表5－10 後悔すること×学校時代に取得した資格

医療保健衛生	資格 なし	資格 あり	sig.
資格をとらなかつたこと	30.4%	11.4%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	14.5%	22.7%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかつたこと	19.7%	25.0%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかつたこと	32.7%	38.6%	
学生時代に友達を多くつくらなかつたこと	14.5%	20.5%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	16.7%	22.7%	
後悔していることはない	31.6%	25.0%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。

おもな家計負担者別に検討した結果、「おもに親」の者が「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、①「おもに親」と回答した者は「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかったこと」「学生時代に友達を多くつくらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔する割合が高かった。②「おもに自分」「おもに配偶者」「自分と配偶者半々」と回答した者は「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔する割合が低かった（図表5-11）。

図表5-11 後悔すること×おもな家計負担者

	おもに 自分 N=619	おもに 配偶者 N=477	自分と 配偶者 半々 N=103	おもに 親 N=476	その他 N=89	sig.
資格をとらなかったこと	26.7%	32.9%	22.3%	33.2%	28.1%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかったこと	13.4%	13.0%	9.7%	19.7%	11.2%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	16.6%	20.3%	14.6%	23.5%	25.8%	
学生時代に英語の勉強を十分にしなかったこと	32.5%	32.5%	39.8%	31.5%	37.1%	
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	12.6%	12.4%	10.7%	20.2%	15.7%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	13.4%	9.2%	3.9%	31.7%	18.0%	**
後悔していることはない	32.6%	31.9%	32.0%	29.4%	30.3%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、年収の低い方が、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、①「収入なし」の者は「資格をとらなかったこと」「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかったこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」を後悔する割合が高かった。②「～100万円」の者は「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔する割合が高かった。③「600万円～」の者は「資格をとらなかったこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔する割合が低かった（図表5-12）。

図表5-12 後悔すること×最近1年間の税込み個人年収

	収入 なし N=523	～100万 N=408	～200万 N=253	～300万 N=196	～400万 N=143	～600万 N=126	600万～ N=115	sig.
資格をとらなかったこと	35.2%	30.4%	33.6%	30.6%	25.2%	18.3%	13.9%	**
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかったこと	18.9%	15.4%	16.2%	11.2%	9.1%	8.7%	8.7%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	23.7%	21.6%	20.6%	16.3%	13.3%	18.3%	10.4%	**
学生時代に英語の勉強を十分にしなかったこと	33.7%	31.4%	34.0%	33.2%	25.9%	34.9%	38.3%	
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	16.1%	15.4%	14.6%	15.8%	13.3%	12.7%	7.0%	
就職活動がうまくいかなかったこと	18.5%	22.5%	19.0%	15.3%	9.8%	9.5%	4.3%	**
後悔していることはない	30.6%	27.5%	29.2%	31.6%	36.4%	34.9%	43.5%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

現在の立場・身分別に検討した結果、「求職者」は、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、①「求職者」は「資格をとらなかつたこと」「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔する割合が高かつた。②「非正社員」は「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔する割合が高かつた。③「正社員」「無業者」は「後悔していることはない」と回答する割合が高かつた（図表5-13）。

図表5-13 後悔すること×現在の立場・身分

	正社員 N=439	非正社員 N=442	求職者 N=413	無業者 N=455	sig.
資格をとらなかつたこと	18.2%	33.7%	43.6%	25.3%	**
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	10.9%	13.3%	18.9%	16.0%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと	13.4%	18.6%	27.4%	20.4%	**
学生時代に英語の勉強を十分にしなかつたこと	33.3%	30.5%	37.8%	30.1%	
学生時代に友達を多くつくらなかつたこと	12.3%	14.5%	15.5%	15.8%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	8.2%	22.4%	24.9%	12.7%	**
後悔していることはない	37.1%	30.5%	18.4%	38.9%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に関ヶ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

勤務先の業種別に検討した結果、統計的に有意な差はみられなかつた（図表5-14）。

図表5-14 後悔すること×勤務先の業種

	建設業 N=33	製造業 N=142	情報 通信業 N=47	運輸業 N=42	卸売・ 小売業 N=116	金融・ 保険業 N=23	飲食店 宿泊業 N=31	医療、 福祉 N=73	教育、 学習 支援業 N=57	その他 のサー ビス業 N=171	公務 N=31	その他 N=93	sig.
資格をとらなかつたこと	39.4%	21.8%	19.1%	45.2%	26.7%	26.1%	35.5%	20.5%	14.0%	31.0%	22.6%	23.7%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	18.2%	12.0%	14.9%	16.7%	8.6%	13.0%	16.1%	16.4%	10.5%	10.5%	6.5%	12.9%	
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと	15.2%	14.8%	14.9%	19.0%	18.1%	21.7%	25.8%	16.4%	8.8%	17.5%	12.9%	14.0%	
学生時代に英語の勉強を十分にしなかつたこと	33.3%	33.8%	34.0%	33.3%	29.3%	17.4%	41.9%	31.5%	35.1%	32.2%	35.5%	28.0%	
学生時代に友達を多くつくらなかつたこと	15.2%	13.4%	10.6%	11.9%	23.3%	8.7%	9.7%	17.8%	7.0%	12.9%	6.5%	12.9%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	6.1%	15.5%	12.8%	26.2%	20.7%	21.7%	12.9%	15.1%	7.0%	16.4%	6.5%	16.1%	
後悔していることはない	33.3%	29.6%	40.4%	26.2%	30.2%	34.8%	32.3%	35.6%	36.8%	33.9%	41.9%	37.6%	

※統計的に有意な違いなし。

現在の職業別に検討した結果、①「生産工程・建設・軽作業などの仕事」では「資格をとらなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」に「後悔する」割合が高かつた。②「運輸・通信の職業」では「資格をとらなかつたこと」に「後悔する」割合が高かつた。③「販売の職業」では「就職活動がうまくいかなかつたこと」に「後悔する」割合が高かつた（図表5-15）。

図表5-15 後悔すること×現在の職業

	専門的 技術的 職業 N=194	管理的 職業 N=37	事務的 職業 N=244	販売の 職業 N=75	サービ スの 職業 N=93	運輸 通信の 職業 N=25	生産 工程 建設 軽作業 などの 仕事 N=79	sig.
資格をとらなかつたこと	14.4%	18.9%	29.1%	22.7%	31.2%	52.0%	39.2%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	12.4%	5.4%	13.5%	8.0%	12.9%	20.0%	12.7%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかつたこと	11.9%	24.3%	17.2%	21.3%	17.2%	20.0%	15.2%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかつたこと	33.5%	48.6%	35.7%	25.3%	32.3%	28.0%	26.6%	
学生時代に友達を多くつくらなかつた こと	11.3%	16.2%	14.3%	16.0%	15.1%	12.0%	17.7%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	9.3%	8.1%	11.1%	25.3%	19.4%	12.0%	26.6%	**
後悔していることはない	40.7%	29.7%	32.0%	33.3%	30.1%	28.0%	24.1%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。なお、専門的・技術的職業は「教師・看護師・エンジニア・デザイナーなど」、管理的職業は「会社や役所での課長・部長以上など」、事務的職業は「会社や役所での一般事務・経理、内勤の営業など」、販売の職業は「小売店やコンビニなどでの販売や外勤のセールス、不動産売買など」、サービスの職業は「接客、飲食物調理、理容師・美容師、パチンコ店店員など」、運輸・通信の職業は「鉄道運転、自動車運転、郵便の集配・配達など」、生産工程・建設・軽作業などの仕事は「工場のオペレーターや組立工、電気工事、軽作業など」。

勤務先の従業員数別に検討した結果、統計的に有意な差はみられなかつた（図表5-16）。

図表5-16 後悔すること×勤務先の従業員数

	30人 未満 N=334	100人 未満 N=169	1000人 未満 N=211	1000人 以上 N=180	sig.
資格をとらなかつたこと	29.9%	27.8%	23.7%	19.4%	
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	12.0%	15.4%	11.8%	8.9%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかつたこと	14.4%	17.8%	15.2%	18.3%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかつたこと	31.4%	30.2%	30.3%	36.1%	
学生時代に友達を多くつくらなかつた こと	12.9%	16.0%	13.7%	12.2%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	15.3%	17.8%	15.2%	12.8%	
後悔していることはない	30.5%	30.8%	37.4%	37.8%	

※統計的に有意な違いなし。

勤務先の職位別に検討した結果、統計的に有意な差はみられなかった（図表5-17）。

図表5-17 後悔すること×勤務先の職位

	一般 社員・ 職員 N=471	係長・ 主任 N=51	課長、 課長 補佐 N=38	役員、 部長 N=30	その他 N=304	sig.
資格をとらなかったこと	25.1%	17.6%	10.5%	23.3%	30.9%	
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	12.1%	13.7%	2.6%	6.7%	13.2%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	15.3%	13.7%	10.5%	20.0%	17.8%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかったこと	31.6%	47.1%	36.8%	40.0%	28.3%	
学生時代に友達を多くつくらなかった こと	14.2%	17.6%	7.9%	10.0%	12.8%	
就職活動がうまくいかなかったこと	13.4%	13.7%	2.6%	10.0%	20.4%	
後悔していることはない	34.8%	29.4%	36.8%	33.3%	32.2%	

※統計的に有意な違いなし。

転職回数別に検討した結果、転職回数が多い方が、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、「転職4回以上」の者は「資格をとらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔する割合が高かった。一方、「転職なし」の者は「資格をとらなかったこと」「学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと」を後悔する割合が低く、「後悔していることはない」と回答する割合が高かった（図表5-18）。

図表5-18 後悔すること×転職回数

	転職 なし N=796	転職 1回 N=221	転職 2回 N=216	転職 3回 N=230	転職 4回 以上 N=299	sig.
資格をとらなかったこと	26.1%	24.0%	36.6%	31.7%	38.5%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	13.4%	17.2%	12.0%	15.2%	17.7%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	18.6%	19.5%	19.0%	20.4%	23.7%	
学生時代に英語の勉強を十分に しなかったこと	27.6%	39.8%	38.9%	33.9%	36.5%	**
学生時代に友達を多くつくらなかった こと	13.8%	12.2%	15.7%	13.0%	18.7%	
就職活動がうまくいかなかったこと	15.6%	14.5%	15.3%	16.5%	23.7%	**
後悔していることはない	38.7%	28.5%	25.9%	27.0%	21.7%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所¹に網かけ、有意に値が低い箇所²に下線を付した。

失業・休職の有無別に検討した結果、「現在、失業中・休職中」の者は、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、「現在、失業中・休職中」の者は「失業・休職の経験なし」の者に比べて「資格をとらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」に「後悔する」割合が高かった（図表5-19）

図表5-19 後悔すること×失業・休職の有無

	現在、 失業中 休職中 N=451	過去に 失業・ 休職を 経験 N=466	失業・ 休職の 経験 なし N=847	差	sig.
資格をとらなかったこと	38.8%	33.7%	23.1%	15.7%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	19.5%	15.0%	11.9%	7.6%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	27.7%	21.2%	14.9%	12.8%	**
学生時代に英語の勉強を十分に しなかったこと	39.2%	35.6%	28.0%	11.2%	**
学生時代に友達を多くつくらなかった こと	18.4%	17.8%	10.9%	7.5%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	26.8%	17.8%	11.1%	15.7%	
後悔していることはない	19.5%	22.5%	42.6%	-23.1%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「現在、失業中・休職中」-「失業・休職の経験なし」。

次の就職先を真剣に探している程度別に検討した結果、「就職先を真剣に探している」ほど、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、「資格をとらなかったこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」で「後悔する」割合が高かった（図表5-20）。

図表5-20 後悔すること×次の就職先を真剣に探している程度

	次の 就職先を かなり 真剣に 探して いる N=199	次の 就職先を やや 真剣に 探して いる N=274	どちら とも 言え ない N=384	次の 就職先を あまり 真剣に 探して いない N=234	次の 就職先を まったく 探して いない N=673	sig.
資格をとらなかったこと	45.2%	43.4%	32.8%	29.5%	18.4%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にできなかったこと	18.1%	18.6%	16.4%	13.7%	11.4%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかったこと	27.6%	28.8%	19.8%	20.5%	13.7%	**
学生時代に英語の勉強を十分に しなかったこと	36.7%	40.5%	32.6%	35.5%	27.9%	**
学生時代に友達を多くつくらなかった こと	19.1%	17.5%	14.1%	16.7%	11.7%	
就職活動がうまくいかなかったこと	34.7%	24.5%	17.7%	19.7%	7.1%	**
後悔していることはない	18.1%	15.0%	30.7%	31.6%	42.3%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

これまでのキャリア別に検討した結果、統計的に有意な差はみられなかった（図表5－21）。

図表5－21 後悔すること×これまでのキャリア

	特定の分野で1つの仕事を長く経験している N=741	特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験している N=403	いろいろな分野で1つの仕事を長く経験している N=203	いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験している N=417	sig.
資格をとらなかったこと	28.5%	29.0%	31.5%	32.6%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	15.4%	14.9%	12.3%	14.4%	
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	19.2%	18.4%	19.7%	22.5%	
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	32.9%	37.0%	31.0%	29.7%	
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	13.0%	17.1%	13.8%	15.6%	
就職活動がうまくいかなかったこと	13.8%	18.6%	20.2%	19.2%	
後悔していることはない	34.1%	27.5%	31.0%	30.5%	

※統計的に有意な違いなし。

職業能力が同業他社で通用するか否か別に検討した結果、①「ある程度通用する」と回答した者は「学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと」に「後悔する」割合が高かった。②「あまり通用しない」と回答した者は「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」に「後悔する」割合が高かった。③「通用する」「ほとんど通用しない」と回答した者は「後悔していることはない」と回答する割合が高かった（図表5－22）。

図表5－22 後悔すること×あなたの職業能力は同業他社で通用するか否か

	通用する N=182	ある程度通用する N=425	どちらとも 言えない N=612	あまり通用しない N=228	ほとんど通用しない N=317	sig.
資格をとらなかったこと	23.6%	28.7%	30.6%	36.0%	29.7%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	7.1%	12.0%	15.0%	21.1%	17.4%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	12.1%	19.1%	19.9%	25.0%	21.5%	
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	25.8%	40.0%	34.3%	36.0%	22.4%	**
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	13.7%	16.5%	10.8%	18.9%	17.0%	
就職活動がうまくいかなかったこと	6.6%	14.6%	17.0%	22.8%	21.5%	**
後悔していることはない	39.6%	26.4%	32.0%	21.1%	39.7%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所を網かけ、有意に値が低い箇所を下線を付した。

これまでの職業生活に対する満足感別に検討した結果、「満足していない」と回答した者ほど、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に、「全く満足していない」と回答した者と「おおむね満足している」と回答した者で、差が最も大きかったのは「就職活動がうまくいかなかったこと」であった。以下、「資格をとらなかったこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」と続いていた。なお、「後悔する」と回答する割合が、概して低かったのは、「どちらとも言えない」と回答した者であった（図表5-23）。

図表5-23 後悔すること×これまでの職業生活やキャリアに対する満足感

これまでの職業生活やキャリア	全く満足していない N=256	あまり満足していない N=394	どちらとも言えない N=820	おおむね満足している N=268	とても満足している N=26	差	sig.
資格をとらなかったこと	46.5%	39.3%	25.4%	16.4%	7.7%	30.1%	**
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	25.8%	20.1%	12.1%	5.6%	0.0%	20.2%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	32.0%	29.7%	15.1%	9.7%	3.8%	22.3%	**
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	36.3%	40.9%	29.4%	30.2%	15.4%	6.1%	**
学生時代に友達を多くつづらなかつたこと	22.7%	21.3%	11.0%	9.0%	7.7%	13.7%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	39.5%	21.8%	11.6%	5.6%	3.8%	33.9%	**
後悔していることはない	17.2%	15.5%	38.7%	44.0%	53.8%	-26.8%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「全く満足していない」-「おおむね満足している」。

収入に対する満足感別に検討した結果、「全く満足していない」と回答した者ほど、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に「全く満足していない」と回答した者と「おおむね満足している」と回答した者で、差が最も大きかったのは「資格をとらなかったこと」であった。以下、「就職活動がうまくいかなかったこと」「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと」と続いていた（図表5-24）。

図表5-24 後悔すること×収入に対する満足感

収入に対する満足感	とても満足している N=23	おおむね満足している N=237	どちらとも言えない N=515	あまり満足していない N=426	全く満足していない N=563	差	sig.
資格をとらなかったこと	17.4%	16.5%	23.5%	31.9%	40.5%	24.0%	**
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	4.3%	8.0%	12.4%	14.6%	20.1%	12.1%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	17.4%	13.9%	14.6%	23.2%	24.7%	10.8%	**
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	30.4%	25.7%	25.4%	40.6%	36.9%	11.2%	**
学生時代に友達を多くつづらなかつたこと	17.4%	8.4%	10.1%	16.4%	19.9%	11.5%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	13.0%	6.3%	11.1%	17.4%	26.5%	20.2%	**
後悔していることはない	30.4%	45.1%	42.5%	23.2%	21.7%	-23.4%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「全く満足していない」-「おおむね満足している」。

仕事上の地位に対する満足感別に検討した結果、「全く満足していない」と回答した者ほど、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に「全く満足していない」と回答した者と「おおむね満足している」と回答した者で、差が最も大きかったのは「資格をとらなかったこと」であった。以下、「就職活動がうまくいかなかったこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」と続いていた（図表5-25）。

図表5-25 後悔すること×仕事上の地位に対する満足感

仕事上の地位に対する満足感	とても満足している N=34	おおむね満足している N=268	どちらとも言えない N=845	あまり満足していない N=215	全く満足していない N=402	差	sig.
資格をとらなかったこと	26.5%	19.8%	25.4%	34.9%	43.8%	24.0%	**
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	11.8%	8.6%	14.7%	16.3%	18.2%	9.6%	
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	26.5%	13.8%	16.0%	27.4%	27.4%	13.6%	**
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	32.4%	29.1%	30.9%	39.1%	36.3%	7.2%	
学生時代に友達を多くつづらなかつたこと	14.7%	12.7%	11.7%	16.3%	21.1%	8.4%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	5.9%	5.2%	13.5%	20.0%	31.1%	25.9%	**
後悔していることはない	23.5%	42.2%	36.1%	19.5%	21.4%	-20.8%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「全く満足していない」-「おおむね満足している」。

仕事内容に対する満足感別に検討した結果、「全く満足していない」と回答した者ほど、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に「全く満足していない」と回答した者と「おおむね満足している」と回答した者で、差が最も大きかったのは「資格をとらなかったこと」であった。以下、「就職活動がうまくいかなかったこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」と続いていた（図表5-26）。

図表5-26 後悔すること×仕事内容に対する満足感

仕事内容に対する満足感	とても満足している N=43	おおむね満足している N=349	どちらとも言えない N=804	あまり満足していない N=212	全く満足していない N=356	差	sig.
資格をとらなかったこと	23.3%	21.5%	25.6%	37.3%	44.4%	22.9%	**
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	9.3%	12.9%	12.9%	16.0%	20.2%	7.3%	
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	14.0%	13.8%	17.4%	27.8%	27.2%	13.4%	**
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	23.3%	33.8%	30.0%	39.6%	35.7%	1.9%	
学生時代に友達を多くつづらなかつたこと	18.6%	12.0%	12.2%	16.5%	21.1%	9.1%	**
就職活動がうまくいかなかったこと	4.7%	8.6%	14.2%	21.7%	29.8%	21.2%	**
後悔していることはない	34.9%	37.2%	36.6%	16.5%	22.5%	-14.7%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「全く満足していない」-「おおむね満足している」。

職場の人間関係に対する満足感別に検討した結果、「全く満足していない」と回答した者ほど、概して「後悔する」と回答する割合が高かった。特に「全く満足していない」と回答した者と「おおむね満足している」と回答した者で、差が最も大きかったのは「資格をとらなかったこと」であった。以下、「就職活動がうまくいかなかったこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」と続いていた（図表5-27）。

図表5-27 後悔すること×職場の人間関係に対する満足感

職場の人間関係に対する満足感	とても満足している N=73	おおむね満足している N=348	どちらとも言えない N=813	あまり満足していない N=186	全く満足していない N=344	差	sig.
資格をとらなかったこと	28.8%	19.5%	27.1%	38.2%	43.0%	23.5% **	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	13.7%	8.9%	14.9%	14.0%	20.6%	11.7% **	
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	15.1%	13.5%	17.3%	28.5%	28.5%	15.0% **	
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	35.6%	34.2%	30.0%	37.6%	35.2%	1.0%	
学生時代に友達を多くつづらなかったこと	11.0%	12.4%	11.4%	21.0%	21.8%	9.4% **	
就職活動がうまくいかなかったこと	11.0%	10.3%	12.8%	24.7%	30.2%	19.9% **	
後悔していることはない	37.0%	35.1%	36.8%	17.7%	21.2%	-13.9% **	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「全く満足していない」-「おおむね満足している」。

第6章 成人の自尊感情・抑うつ傾向

成人の自尊感情および抑うつ傾向は、自尊感情尺度（桜井，2000）およびSDS（Zung，1965）で測定した（図表6-1、図表6-2）。逆転項目の方向を揃えて合計得点を求めて、それぞれ自尊感情得点および抑うつ得点を算出し、後の分析に用いた。

図表6-1 自尊感情尺度

自尊感情尺度	
私は自分に満足している	25.3%
私は自分がだめな人間だと思う	39.9%
私は自分には見どころがあると思う	26.9%
私はたいていの人がやれる程度には物事ができる	48.0%
私には得意に思うところがない	25.9%
私は自分が役立たずだと感じる	27.8%
私は自分が、少なくとも他人ぐらいは価値のある人間だと思う	38.3%
もう少し自分を尊敬できたらと思う	39.6%
自分を失敗者だと思いがちである	34.1%
私は自分に対して、前向きな態度をとっている	32.7%

※数値は「あてはまる」+「あてはまらない」の割合。尺度の出典は、桜井茂男(2000).ローゼンバーグ自尊感情尺度日本語版の検討 筑波大学発達臨床心理学研究12 65-71。

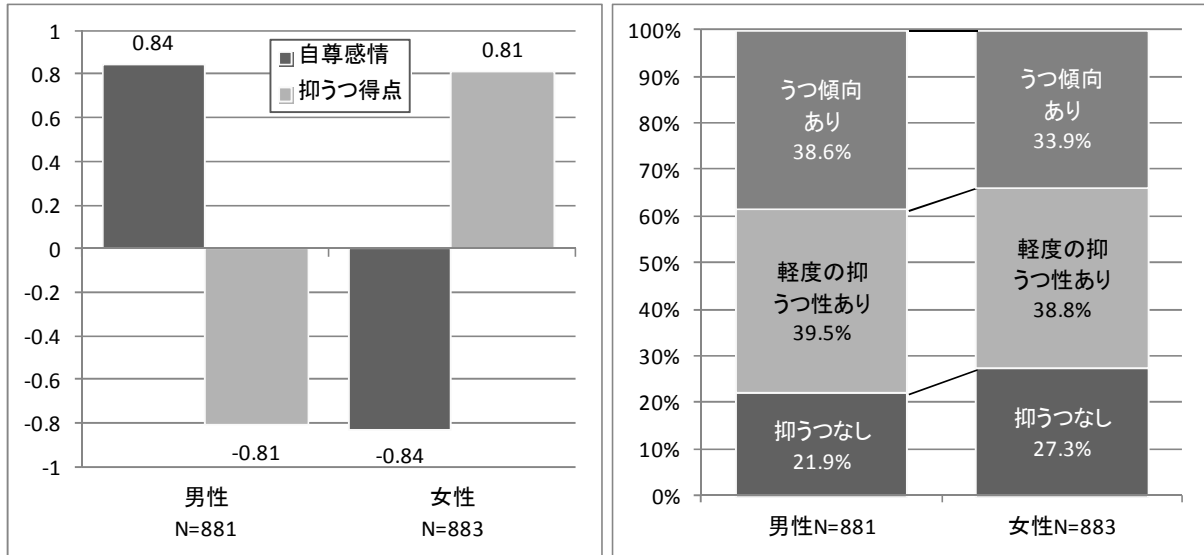
図表6-2 SDS(自己評定式抑うつ尺度)

SDS(自己評定式抑うつ尺度)	
気が沈んで憂うつだ	16.8%
朝がたは、いちばん気分がよい	19.8%
泣いたり、泣きたくなる	11.3%
夜よく眠れない	17.5%
食欲はふつうだ	65.6%
異性に対する関心がある	33.7%
やせてきたことに気づく	10.7%
便秘している	15.7%
ふだんよりも動悸がする	8.3%
何となく疲れる	34.1%
気持ちはいつもさっぱりしている	30.7%
いつもとかわりなく仕事をやれる	50.5%
落ち着かず、じっとしていられない	9.7%
将来に希望がある	21.7%
いつもよりいらいらする	18.3%
たやすく決断できる	26.2%
役に立つ、働ける人間だと思う	27.6%
生活はかなり充実している	25.1%
自分が死んだほうがほかの者は楽に暮らせると思う	14.4%
日頃していることに満足している	26.8%

※数値は「ほとんどいつも」+「かなりのあいだ」の割合。尺度の出典は、Zung, W. W. K. (1965). A self-rating depression scale. Archives of General Psychiatry, 12, 63-70.

性別に検討した結果、自尊感情得点および抑うつ得点に差がみられた。男性は女性に比べて自尊感情得点が高く、抑うつ得点が低かった。抑うつ傾向には統計的に有意な差がみられなかった（図表6-3）。

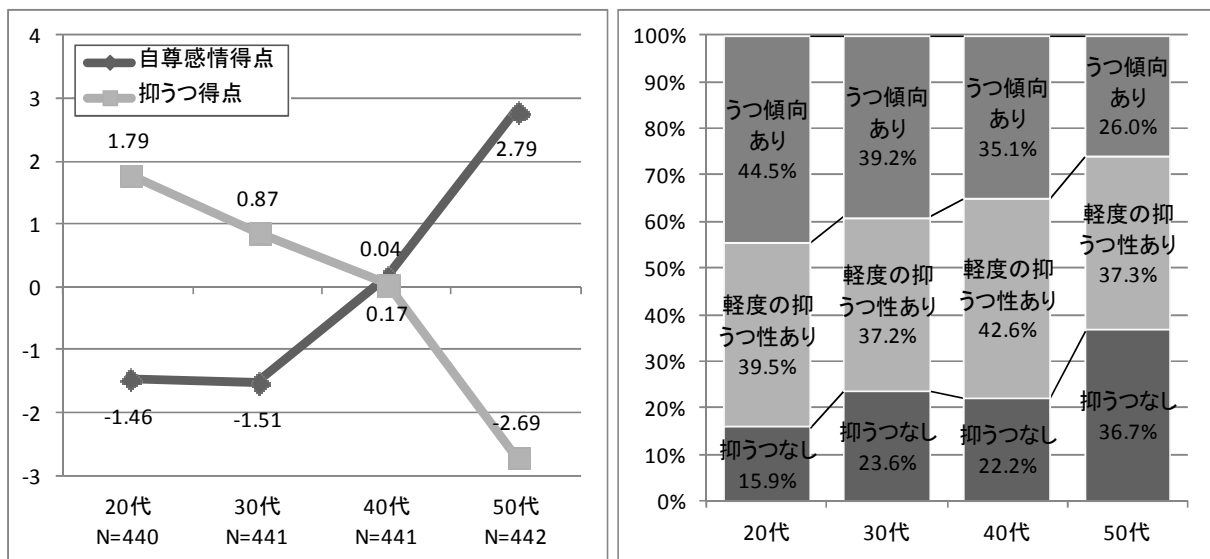
図表6-3 自尊感情得点、抑うつ得点(SDS得点)の平均値および抑うつ傾向の判定



※自尊感情得点および抑うつ得点は1%水準で有意。

年齢別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果がみられた。①年齢が高いほど、自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。②年齢が低いほど「うつ傾向あり」の者の割合が高かった（図表6-4）。

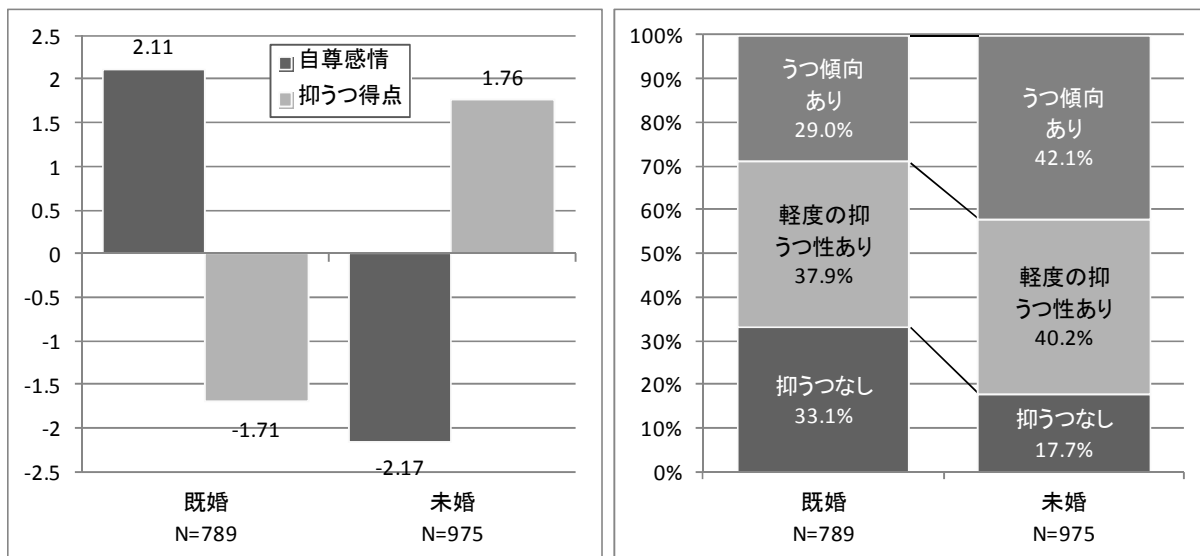
図表6-4 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×年代



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

既婚・未婚別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果がみられた。①既婚者は、自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。②未婚者の方が「うつ傾向あり」の者の割合が高かった（図表6-5）。

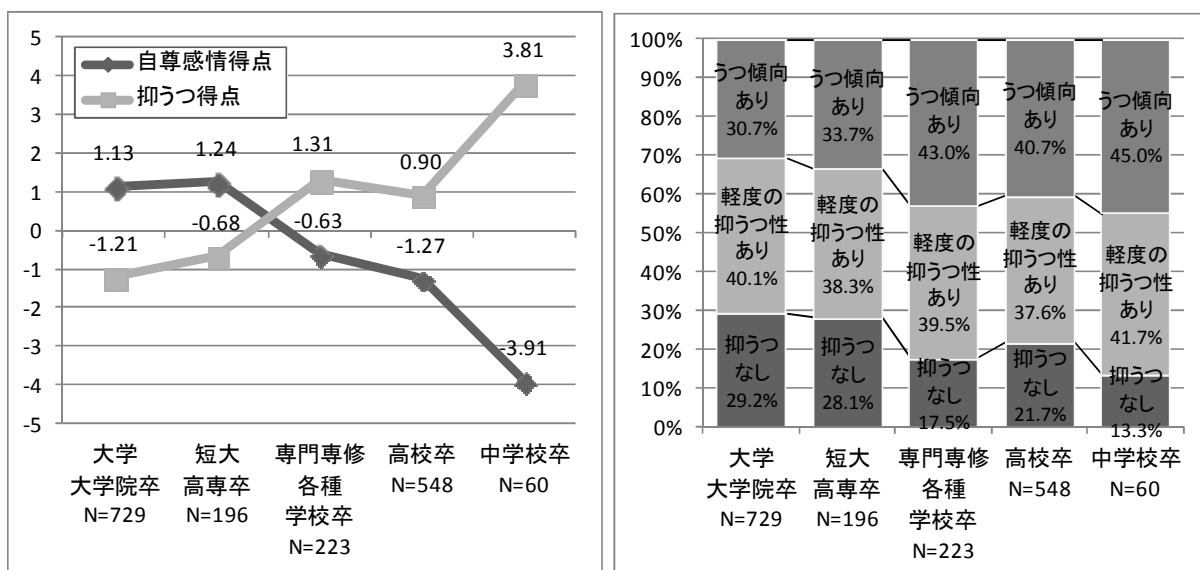
図表6-5 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×既婚・未婚



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

最終学歴別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果がみられた。①学歴が高いほど、自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。②学歴が低い方が「うつ傾向あり」の者の割合が高かった（図表6-6）。

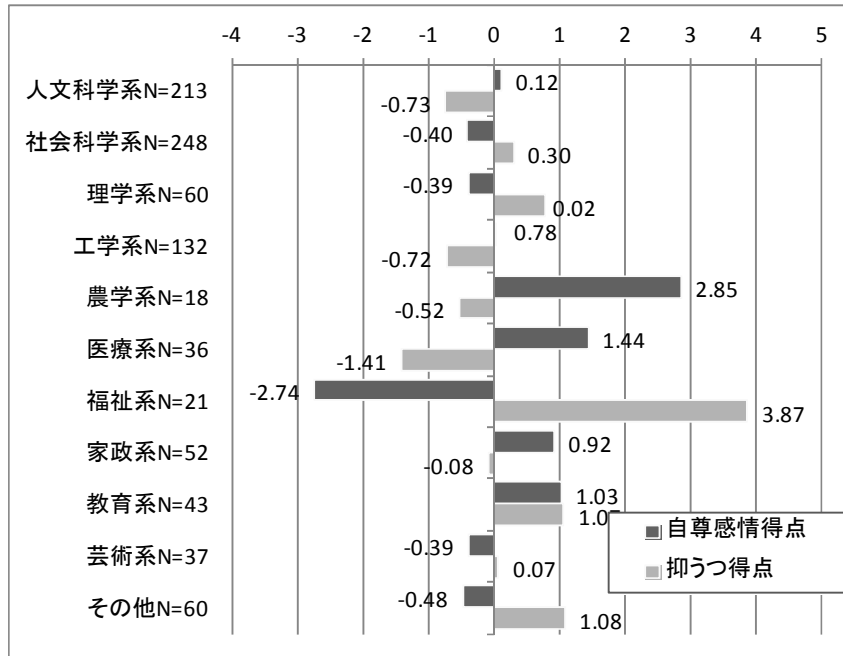
図表6-6 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×最終学歴



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

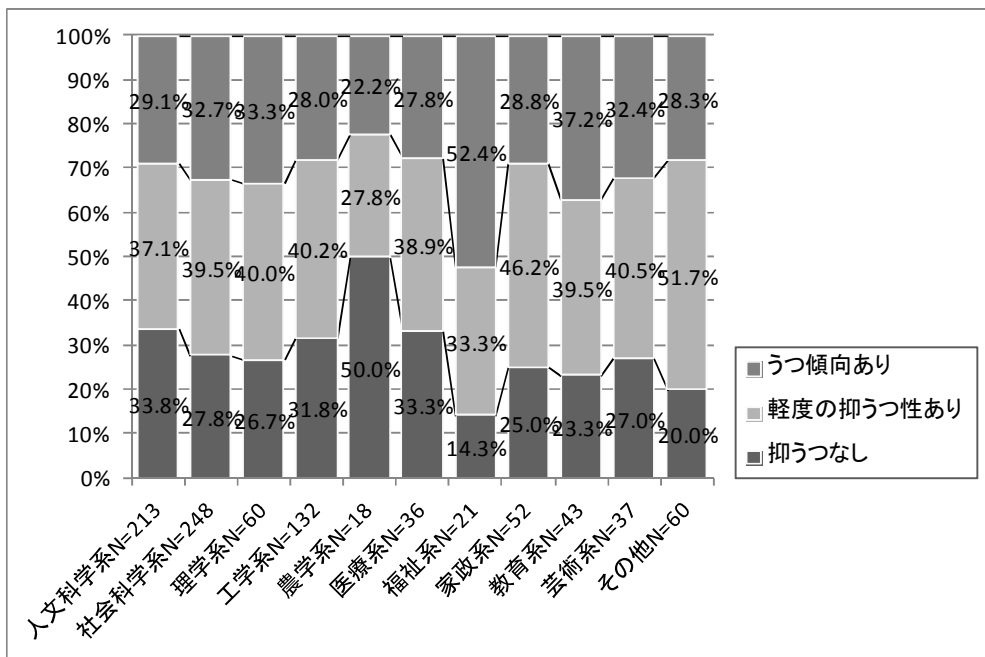
大学・短大・高専における学部・学科別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向に、統計的に有意な差はみられなかった（図表6－7よび図表6－8）。

図表6－7 自尊感情得点、抑うつ得点 × 大学・短大・高専における学部・学科



※有意差なし。

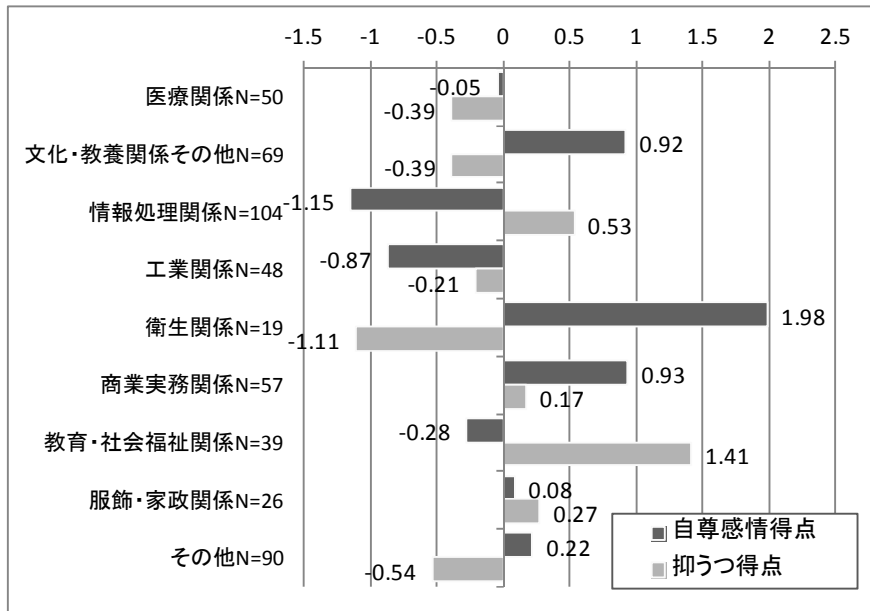
図表6－8 抑うつ傾向 × 大学・短大・高専における学部・学科



※有意差なし

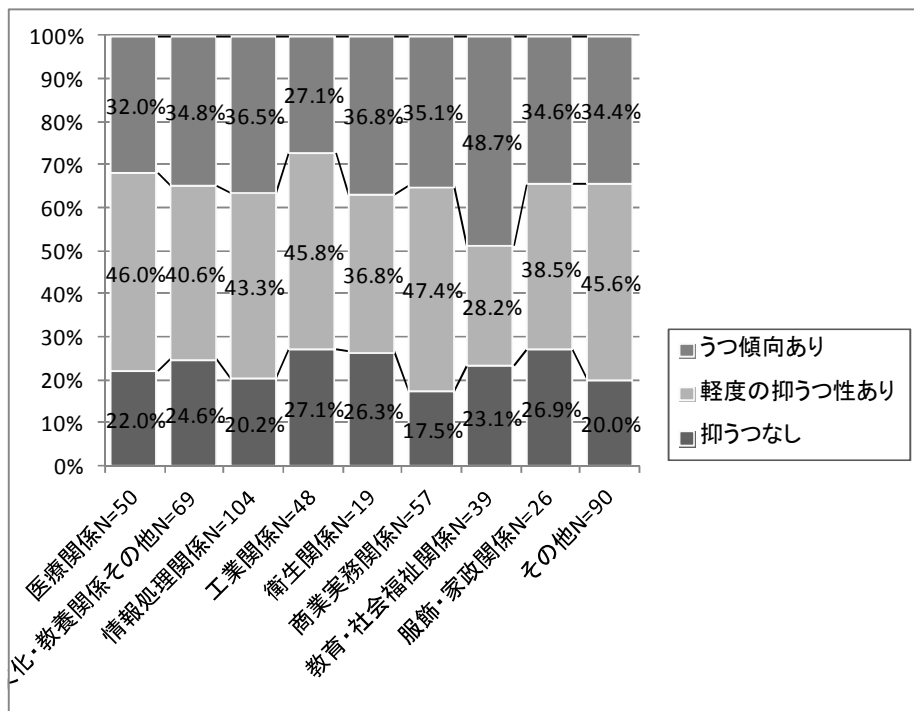
専修学校・専門学校・各種学校における学科別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向に、統計的に有意な差はみられなかった（図表6－9および図表6－10）。

図表6－9 自尊感情得点、抑うつ得点×専修学校・専門学校・各種学校における学科



※有意差なし

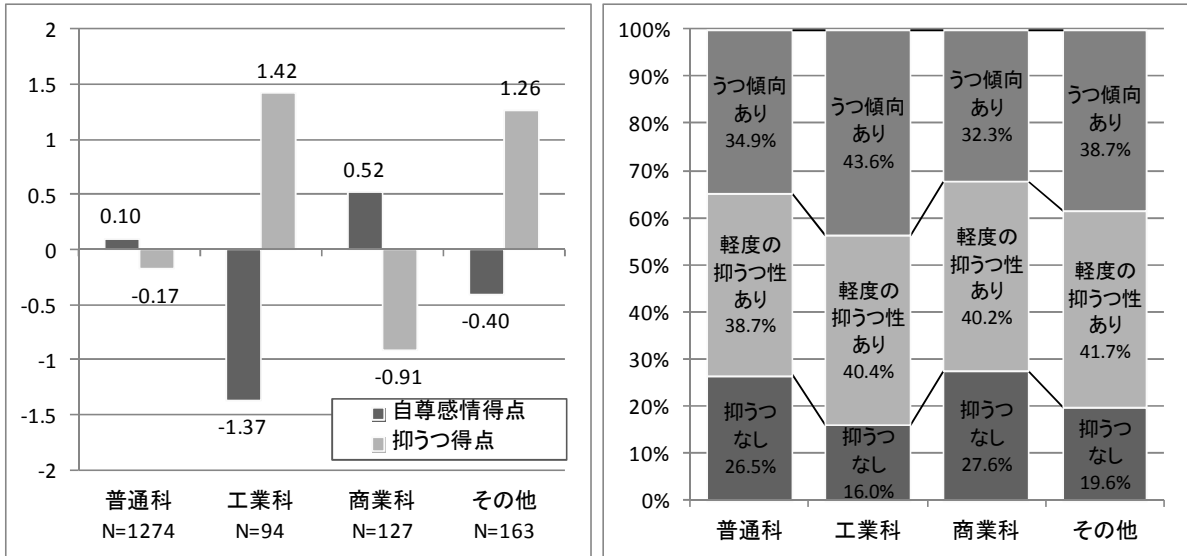
図表6－10 抑うつ傾向×専修学校・専門学校・各種学校における学科



※有意差なし

高校の学科別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向に、統計的に有意な差はみられなかった（図表6-11）。

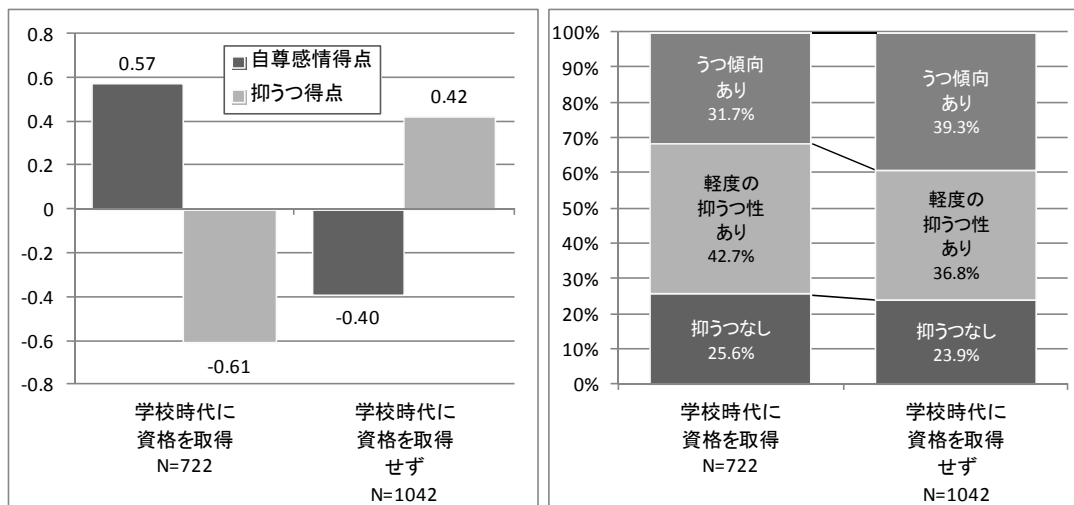
図表6-11 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×高校の学科別



※有意差なし

学校時代の資格取得の有無別に検討した結果、自尊感情得点および抑うつ傾向で、統計的に有意な結果がみられた。①学校時代に資格を取得した者は、自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。②学校時代に資格を取得しなかった者は、「うつ傾向あり」の者の割合が高かった（図表6-12）。

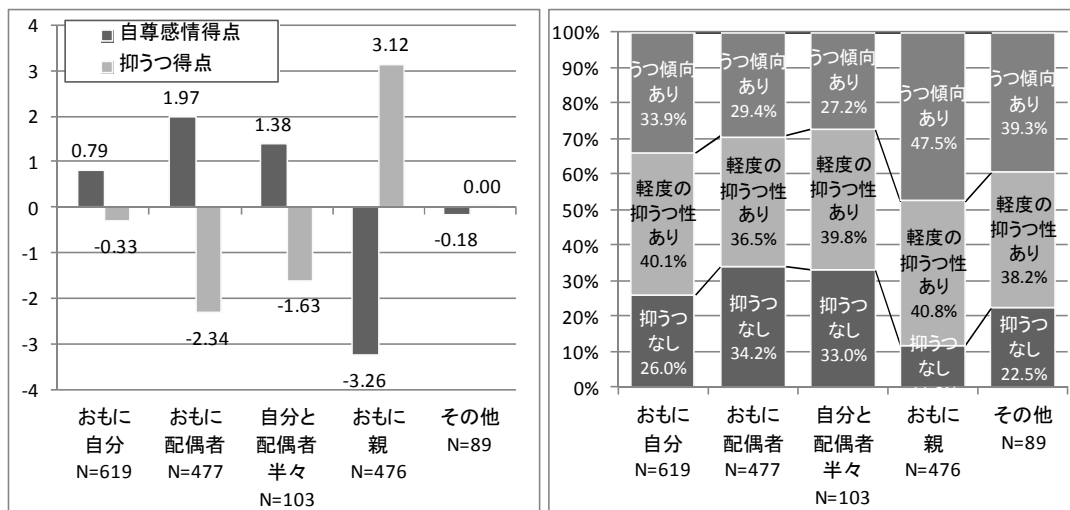
図表6-12 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)
×学校時代の資格取得の有無



※自尊感情 1%水準で有意。抑うつ傾向 1%水準で有意。

おもな家計負担者別に検討した結果、自尊感情自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果がみられた。①「おもに親」の者は、自尊感情得点が低く、抑うつ得点は高かった。②「おもに親」の者は、「うつ傾向あり」の者の割合が高かった（図表6-13）。

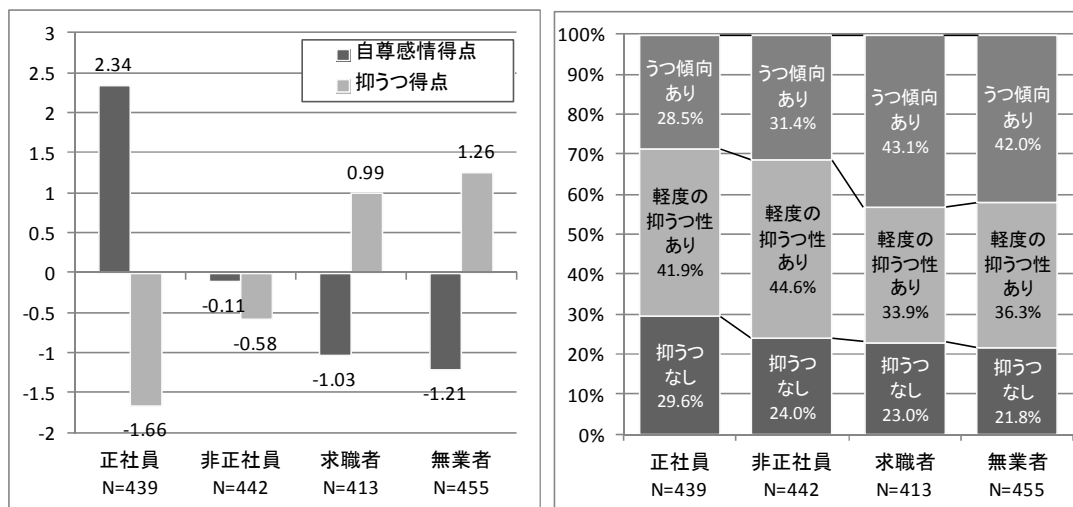
図表6-13 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×おもな家計負担者



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

現在の立場・身分別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果がみられた。①「正社員」は自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。また、「求職者」および「無業者」は、自尊感情得点は低く、抑うつ得点は高かった。②「正社員」は「うつ傾向あり」の者の割合が低かった（図表6-14）。

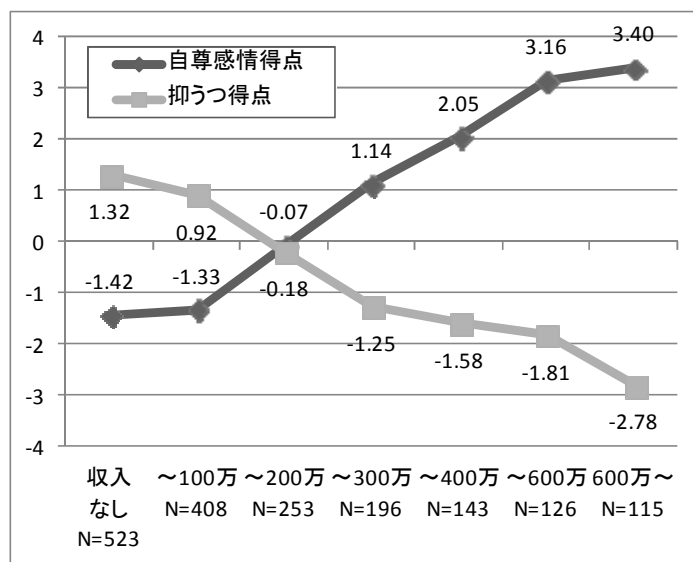
図表6-14 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×現在の立場・身分



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

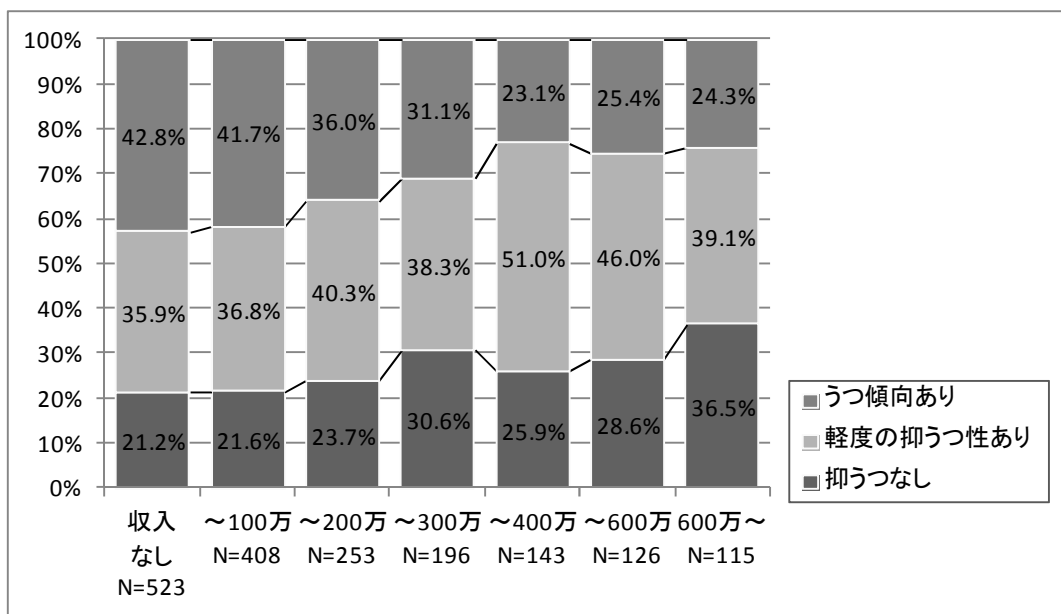
最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果がみられた。①年収が高いほど、自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。②年収が低いほど、「うつ傾向あり」の者の割合が高かった(図表6-15、図表6-16)。

図表6-15 自尊感情得点、抑うつ得点×最近1年間の税込み個人年収



※自尊感情、抑うつ得点 1%水準で有意。

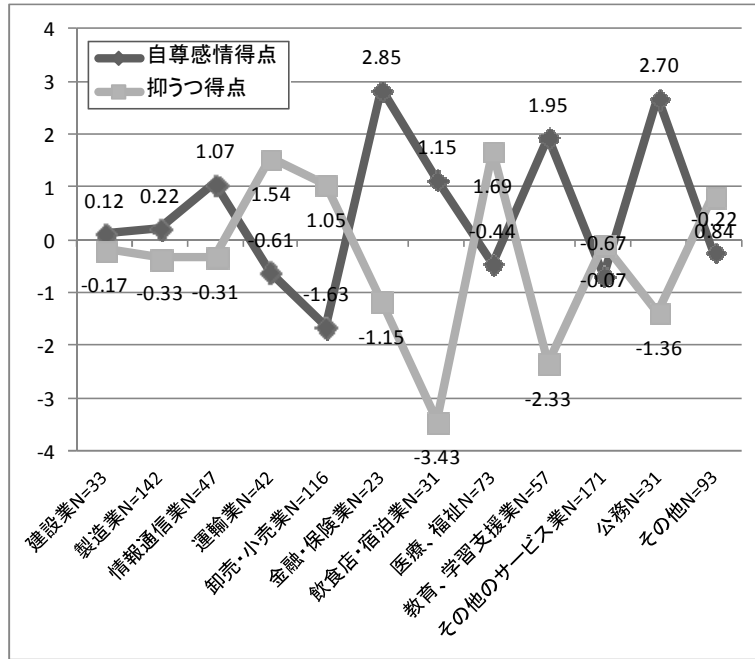
図表6-16 抑うつ傾向×最近1年間の税込み個人年収



※抑うつ傾向 1%水準で有意。

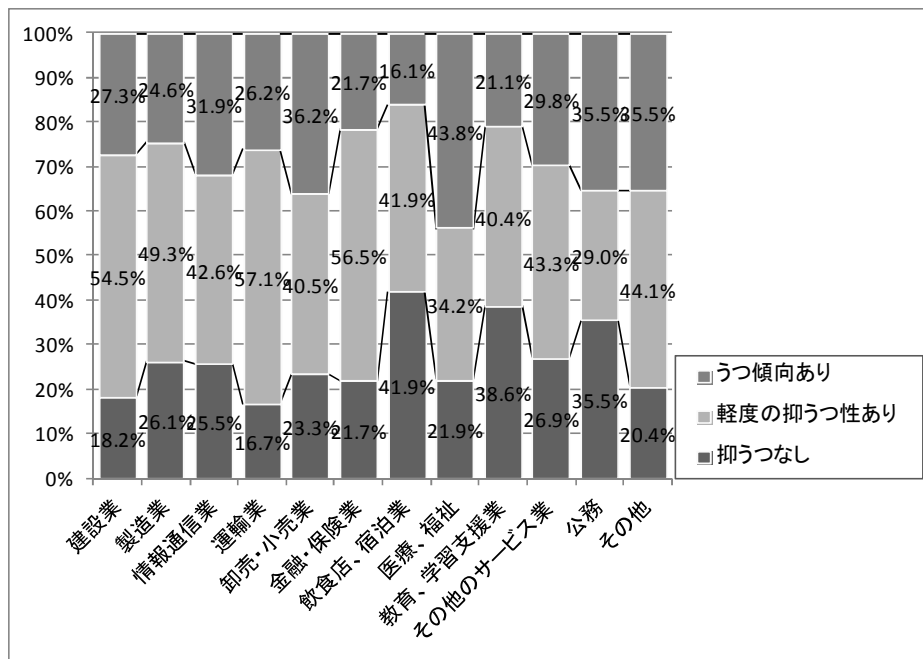
勤務先の業種別に検討した結果、自尊感情得点でのみ、統計的に有意な結果がみられた。「金融・保険業」「公務」「教育、学習支援業」で高く、「卸売・小売業」「その他のサービス業」「運輸業」で低かった（図表6-17、図表6-18）

図表6-17 自尊感情得点、抑うつ得点×勤務先の業種



※自尊感情 1%水準で有意。

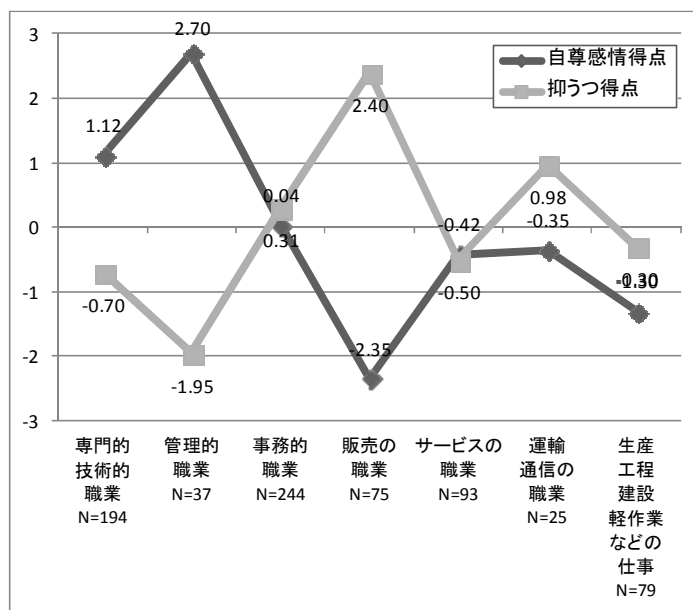
図表6-18 抑うつ傾向×勤務先の業種



※有意差なし

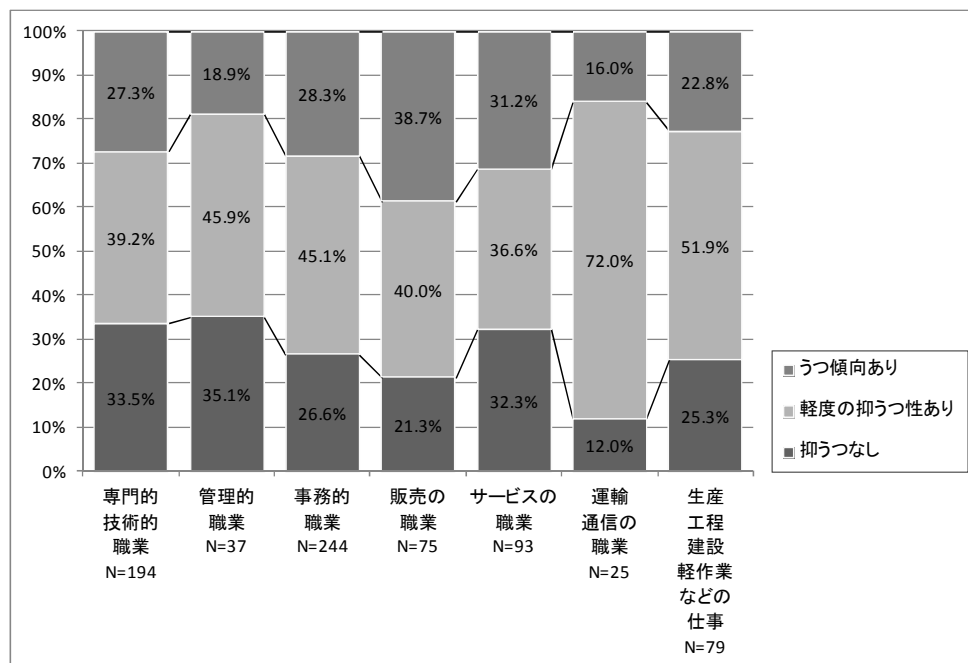
現在の職業別に検討した結果、自尊感情得点および抑うつ傾向で統計的に有意な結果がみられた。①「専門的・技術的職業」「管理的職業」に就いている者は自尊感情得点が高かった（図表6-19）。②「販売の職業」「サービスの職業」に就いている者は「うつ傾向あり」の割合が高かった（図表6-20）。

図表6-19 自尊感情得点、抑うつ得点×現在の職業



※自尊感情 1%水準で有意

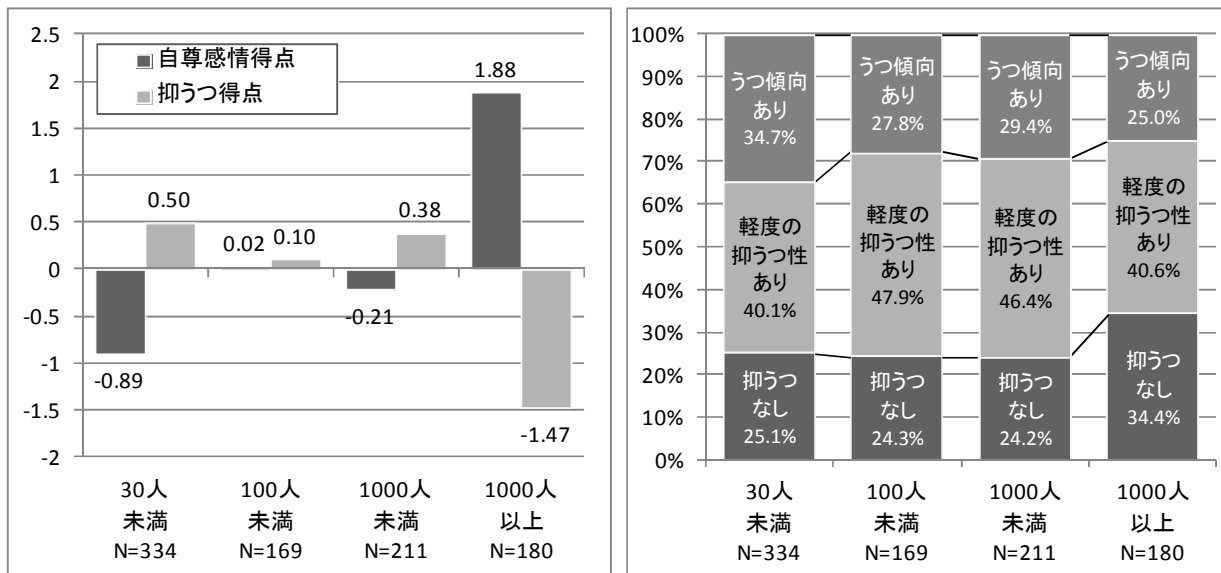
図表6-20 抑うつ傾向×現在の職業



※1%水準で有意

勤務先の従業員別に検討した結果、自尊感情得点でのみ統計的に有意な結果がみられた。勤務先の従業員数が「1000人以上」の者は自尊感情得点が高かった（図表6-21）。

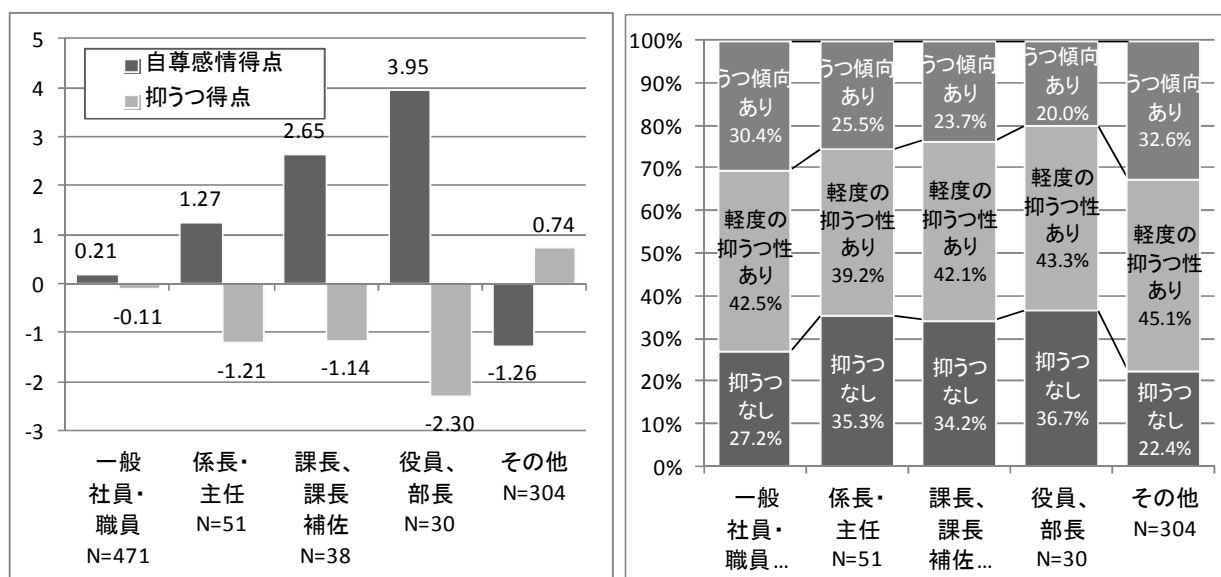
図表6-21 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×勤務先の従業員数



※自尊感情得点のみ1%水準で有意。

勤務先の職位別に検討した結果、自尊感情得点でのみ統計的に有意な結果がみられた。職位が高いほど自尊感情は高かった（図表6-22）。

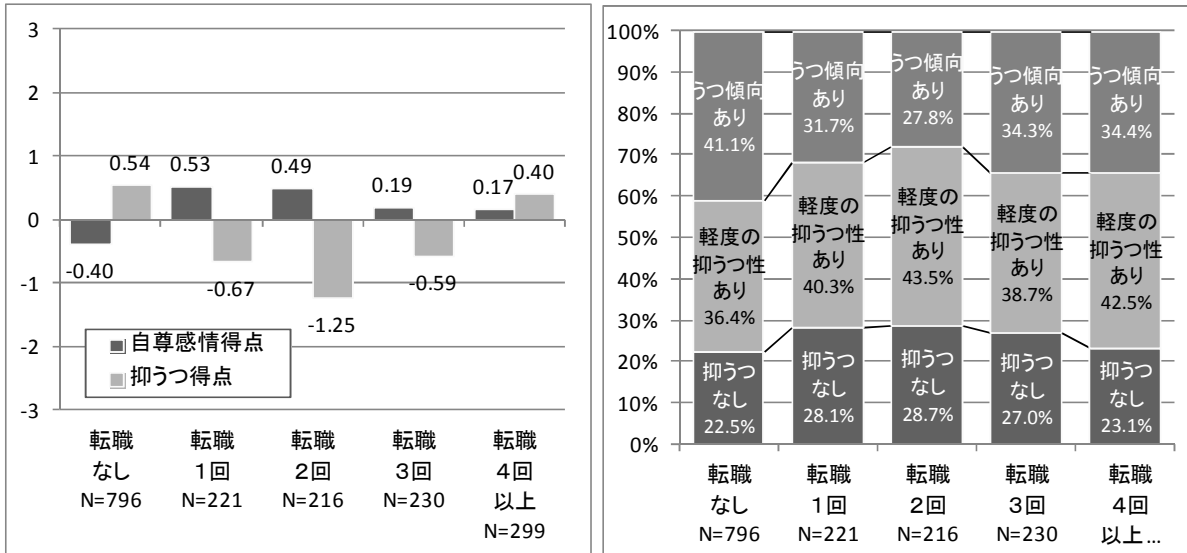
図表6-22 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×勤務先の職位



※自尊感情得点のみ1%水準で有意。

転職回数別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向に、統計的に有意な差はみられなかった（図表6-23）。

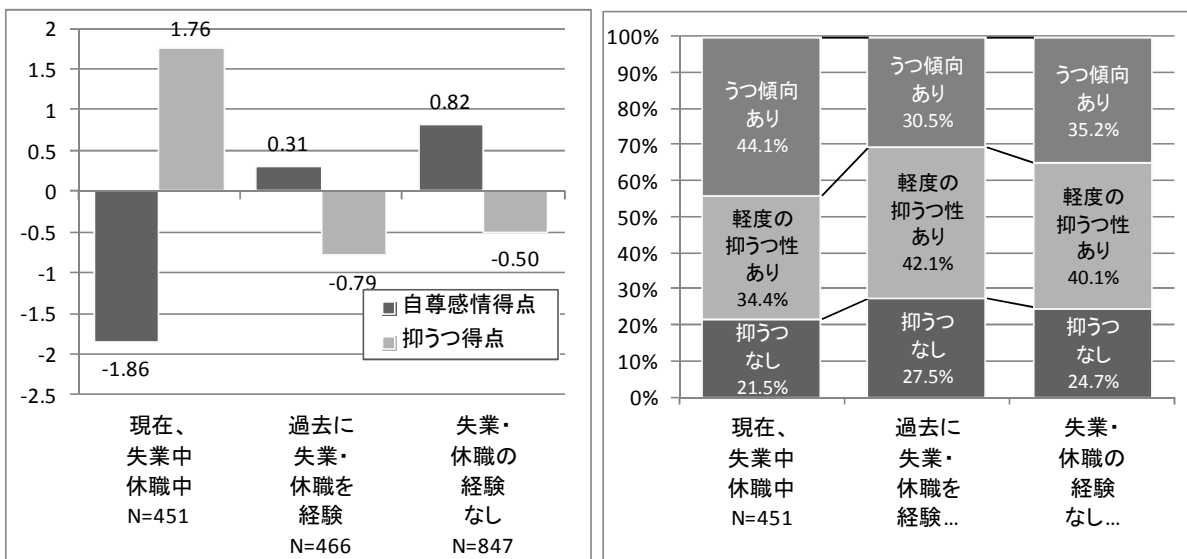
図表6-23 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×転職回数



※有意差なし

失業・休職の有無別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果がみられた。①「現在、失業中・休職中」の者は自尊感情得点が低く、抑うつ得点は高かった。②「現在、失業中・休職中」の者は「うつ傾向あり」の者の割合が高かった（図表6-24）。

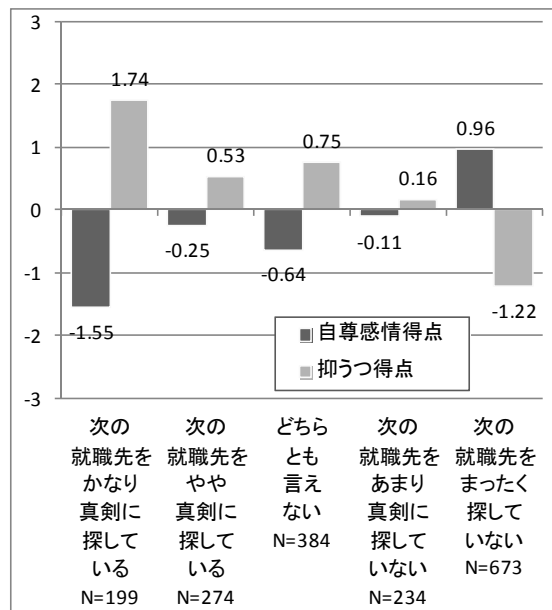
図表6-24 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×失業・休職の有無



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

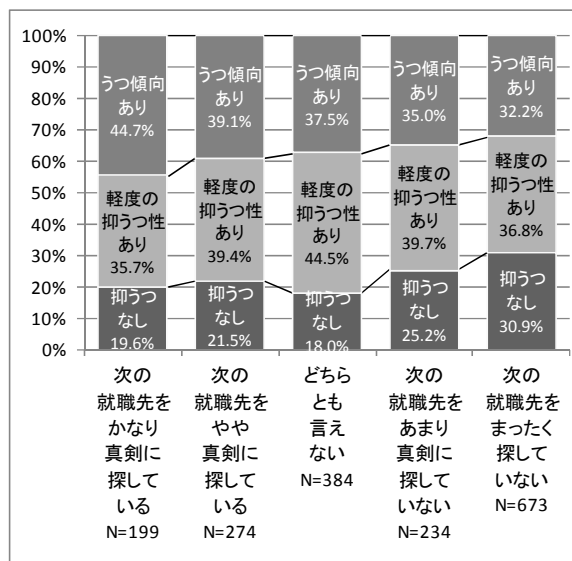
次の就職先を真剣に探している程度別別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果が示された。①「次の就職先をかなり真剣に探している」者は自尊感情得点が低く、「次の就職先をまったく探していない」者は自尊感情得点が高かった。②「次の就職先をかなり真剣に探している」者は抑うつ得点が低く、「次の就職先をまったく探していない」者は抑うつ得点が高かった。③「次の就職先をかなり真剣に探している」者は抑うつ傾向が高かった（図表6-25、図表6-26）。

図表6-25 自尊感情得点、抑うつ得点×次の就職先を真剣に探している程度



※自尊感情、抑うつ得点とも1%水準で有意。

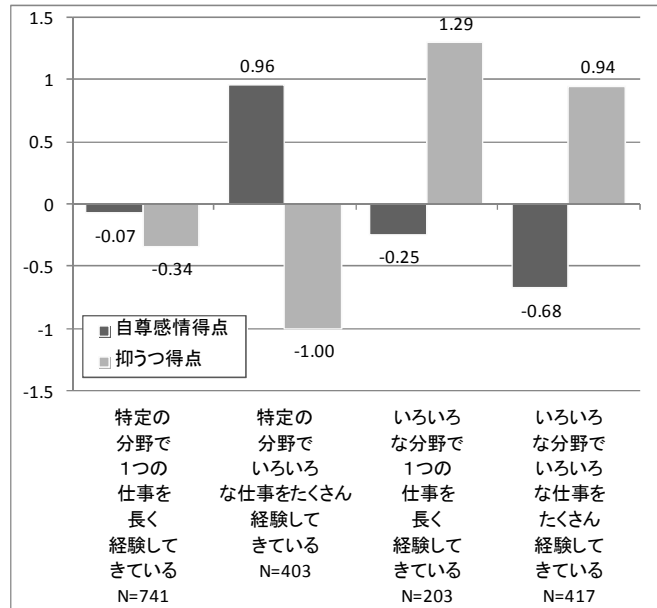
図表6-26 抑うつ傾向×次の就職先を真剣に探している程度



※1%水準で有意。

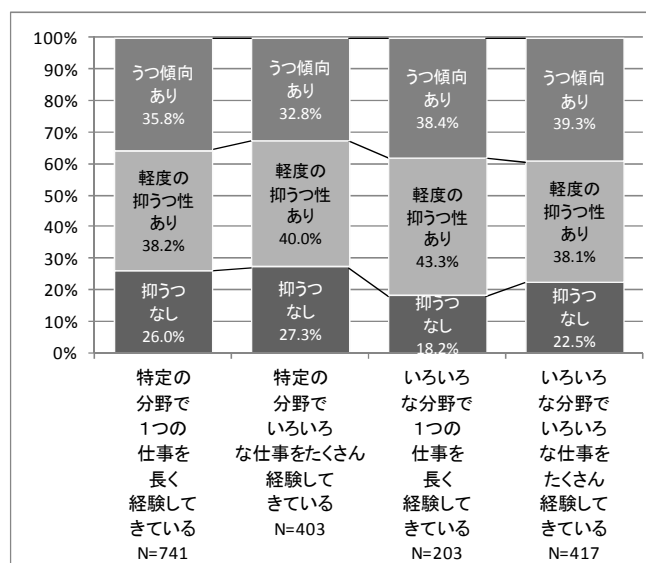
これまでのキャリア別に検討した結果、抑うつ得点でのみ統計的に有意な結果がみられた。「いろいろな分野で1つの仕事を長く経験してきている」「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者ほど抑うつ得点が高く、「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者は抑うつ得点が低かった（図表6-27）。ただし、抑うつ傾向では違いがみられなかった（図表6-28）。

図表6-27 自尊感情得点、抑うつ得点×これまでのキャリア



※抑うつ得点のみ1%水準で有意

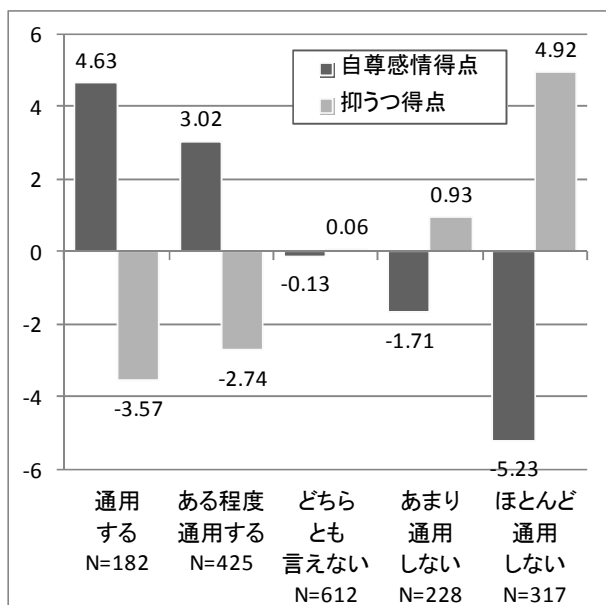
図表6-28 抑うつ傾向×これまでのキャリア



※有意差なし

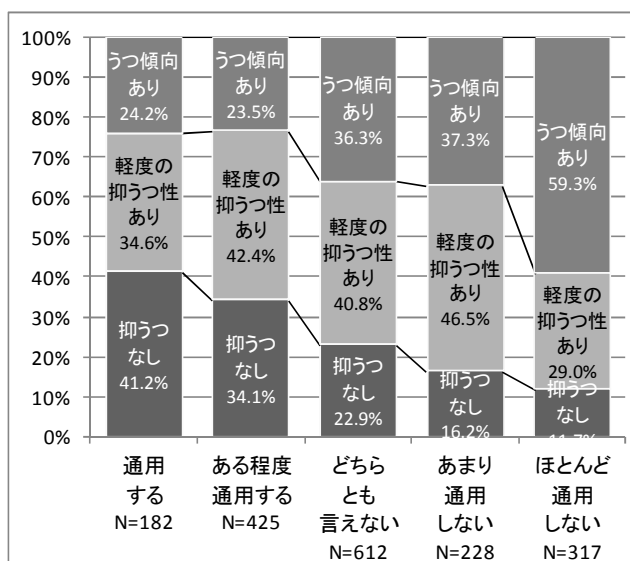
職業能力が同業他社で通用するか否か別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果が示された。①「通用する」と回答した者は自尊感情得点が高く、「ほとんど通用しない」と回答した者は自尊感情得点が低かった。②「ほとんど通用しない」と回答した者は抑うつ得点が高く、「通用する」「ある程度通用する」と回答した者は抑うつ得点が低かった（図表6-29）。③「ほとんど通用しない」と回答した者は抑うつ傾向が高かった（図表6-30）。

図表6-29 自尊感情得点、抑うつ得点×あなたの職業能力は同業他社で通用するか否か



※自尊感情、抑うつ得点とも1%水準で有意。

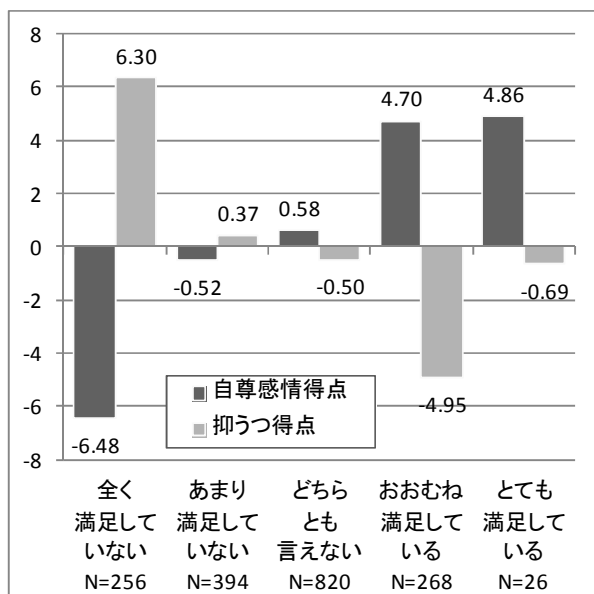
図表6-30 抑うつ傾向×あなたの職業能力は同業他社で通用するか否か



※1%水準で有意。

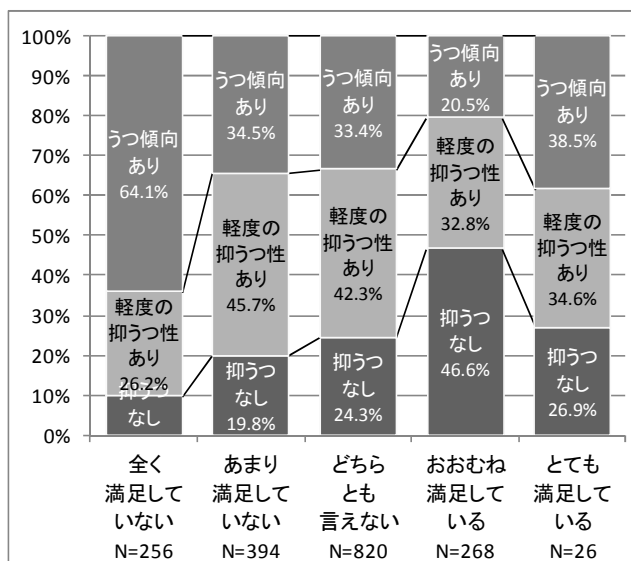
これまでの職業生活やキャリアに対する満足感別に検討した結果、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果が示された。①「とても満足している」「おおむね満足している」者は自尊感情得点が高く、「全く満足していない」者は自尊感情得点が低かった（図表6-31）。②「全く満足していない」者は抑うつ得点が高く、「おおむね満足している」者は抑うつ得点が低かった。③「全く満足していない」者は抑うつ傾向が高かった（図表6-32）。

図表6-31 自尊感情得点、抑うつ得点×これまでの職業生活やキャリアに対する満足感



※自尊感情、抑うつ得点とも1%水準で有意。

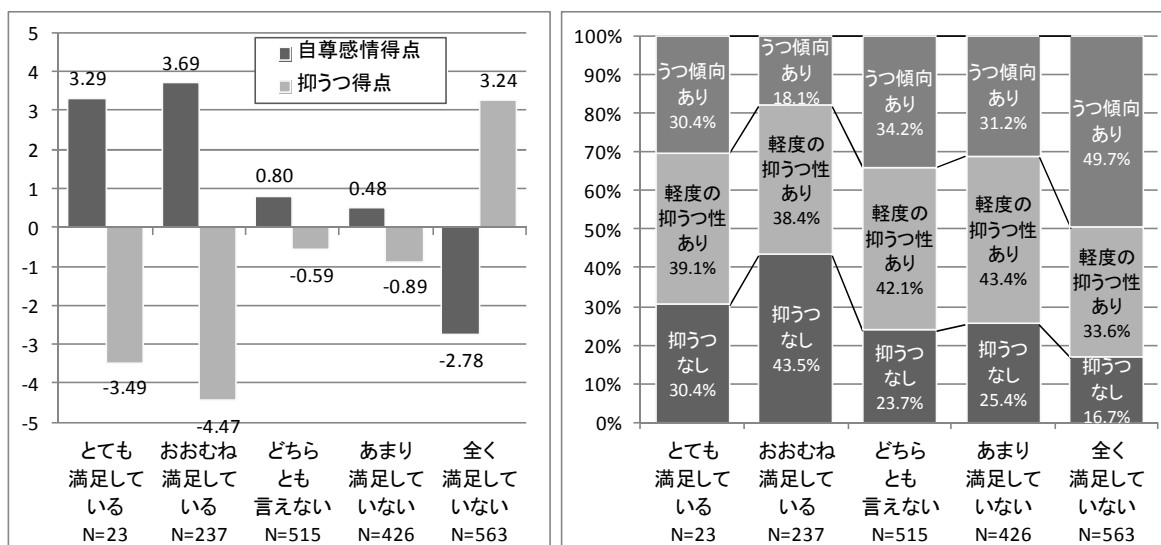
図表6-32 抑うつ傾向(右)×これまでの職業生活やキャリアに対する満足感



※1%水準で有意。

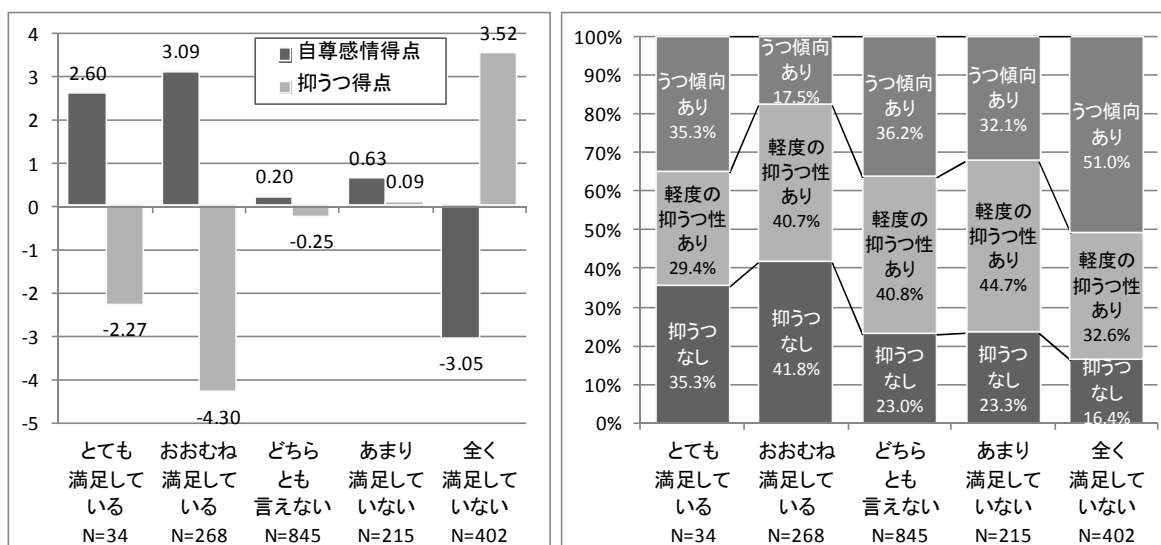
収入に対する満足感別(図表6-33)、仕事上の地位に対する満足感別(図表6-34)、仕事内容に対する満足感別(図表6-35)、職場の人間関係に対する満足感別(図表6-36)に検討した結果はいずれも同様の結果であり、自尊感情得点、抑うつ得点、抑うつ傾向ともに、統計的に有意な結果が示された。いずれも、①「とても満足している」「おおむね満足している」者は自尊感情得点が高く、「全く満足していない」者は自尊感情得点が低かった。②「全く満足していない」者は抑うつ得点が高く、「とても満足している」「おおむね満足している」者は抑うつ得点が低かった。③「全く満足していない」者は抑うつ傾向が高かった。

図表6-33 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)×収入に対する満足感



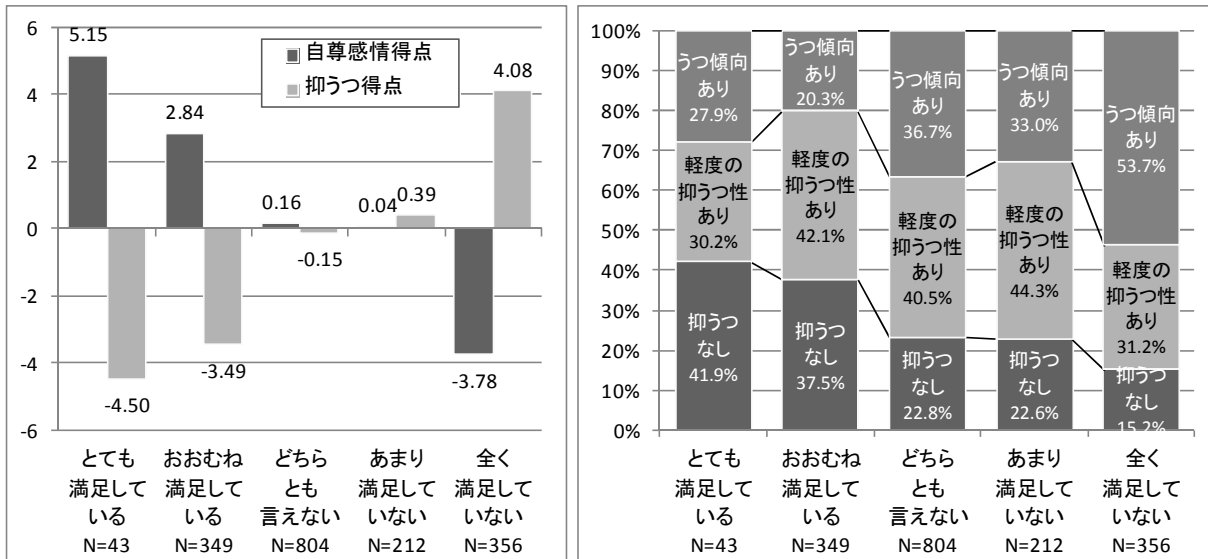
※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

図表6-34 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)
×仕事上の地位に対する満足感



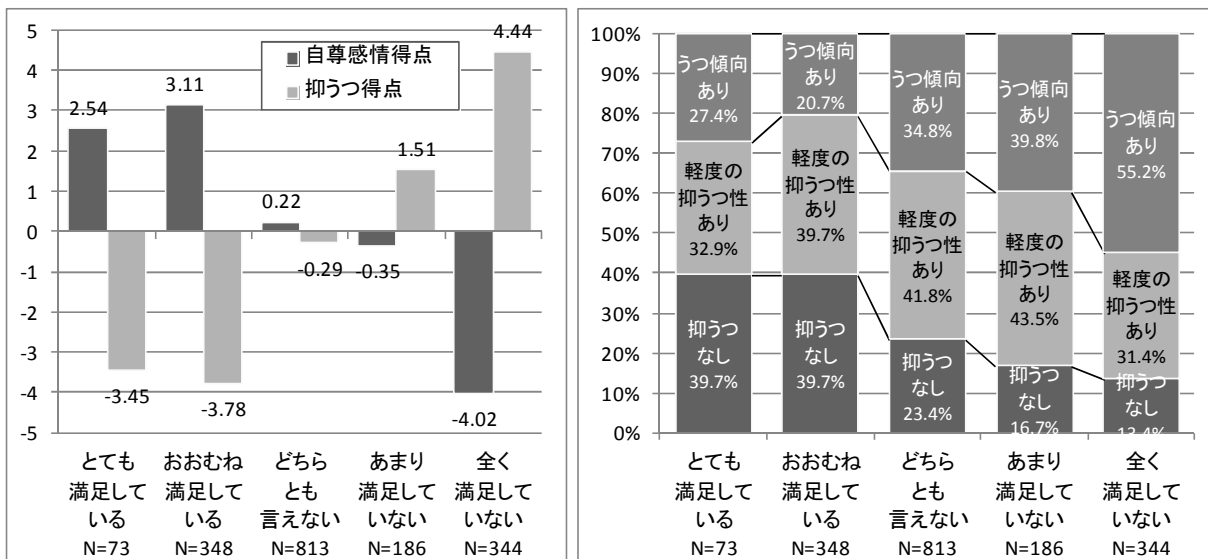
※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも1%水準で有意。

図表6-35 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)
× 仕事内容に対する満足感



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも 1%水準で有意。

図表6-36 自尊感情得点、抑うつ得点(左)および抑うつ傾向(右)
× 職場の人間関係に対する満足感



※自尊感情、抑うつ得点、抑うつ傾向とも 1%水準で有意。